

ユーザーマニュアル

ご使用前にお読みください

Blu-ray Disc Player BDP-103D(JP)



目次

重要なお知らせ	
安全上の重要なお願い	1
注意	2
FCC Statement	2
商標	3
互換ディスク種類	3
再生できないディスク	4
BD-ROMの互換性に関して	
ディスクのお手入れと取り扱い	4
著作権保護	
Cinaviaに関して	4
Gracenoteに関して	5
リージョン管理情報	5
付属品	5
設置	c
	
本体前面	
前面表示窓 背面のコネクター	
月回のコネクターリモートコントロール	
リモートコ <i>ン</i> トロール	
サモコンのパダン	
ョーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ	
电池の取り刊り	
リモートコードの変更	
グセードコードの复史 バックライト照明の変更	
- イックライト照明の复史 一般的な接続方法	
ー版可る接続ガスHDMIケーブルを使ったA/Vレシーバーへの接続	
デュアルHDMIを使ったテレビとA/Vレシーバーへの接続	
, ゴ	
HDMIによる2台のテレビへの接続	
DVIによるテレビへの接続	
オーディオの代替接続法	
プーティオの代目技術A	
BDP-103DへのHDMI / MHL入力	
インターネットへの接続	
イーサネットケーブルを使用したインターネット接続	
無線LANアダプタを使用したインターネット接続	
カスタムな設置	
カヘノムな改造	
RS232制御	
N3232前頃	
フイックペメードがイド 電源の投入と再生	
電源の投入と哲士	
最過な山力解像度の選択	
エベイン・フィス中化トロイス人と	∠೨

基本操作	24
ディスクの再生	24
OPTIONメニュー	24
早送り再生	
一時停止とコマ送り/戻し	25
スロー再生	26
ブルーレイディスクメニュー再生	26
DVDメニュー再生	26
オンスクリーン表示	27
音量調節	27
消音	28
オーディオ言語/トラックの選択	28
字幕選択	28
HDMI / MHL INPUTの選択	29
オーディオリターンチャンネル (ARC) 選択	29
BD-Live	30
高度な操作	9.1
同及る採1F 出力解像度	
西刀畔隊侵 拡大/縮小、横縦比の制御	
拡入/縮小、	
字幕の上下移動	
子帯のエトや動 繰り返し再生	
株り返じ時生 指定箇所の繰り返し再生	
ョた回州の保り返し丹王シャッフル、ランダム再生	
チャプター、トラック番号を指定して再生	
特定箇所からの再生	
NVD、ブルーレイディスク	
CD、SACDディスク	
メモリー、自動続き再生	
フェブ 、 ロ動派と行工	
Pure Audio モード	
メディアファイルの再生	
USBフラッシュドライブからの再生	
家庭内ネットワークのメディア共有	41
HOMEメニューのインターネットストリーミング	
音楽ファイルの再生	
ムービーファイルの再生	
写真ファイルの再生	
バックグラウンドミュージックの再生	4/
SETUPメニューのオプション	48
Setupメニューシステムの使用	
Playback Setup	
Video Setup	53
Picture Adjustment	
HDMI Options	61
Audio Format Setup	63

オーディオ信号参照表	65
推奨のオーディオフォーマットオプション	66
Audio Processing Setup	68
Speaker Configuration	68
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
Device Setup	74
Network Setup	78
参考情報	82
ご注意	82
困ったときには	82
仕様	84
言語コード一覧	85
Gracenote Terms of Use	86
DARBEEVISION, INC.LICENSE AGREEMENT	87
OPPO Digital Japan 製品保証書	89

重要なお知らせ





CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.



正三角形の中の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体に人体 に危険なレベルの感電を及ぼす可能性がある、絶縁され ていない「危険な電圧」が存在することをユーザーに警 告するためのものです。



正三角形の中の感嘆符は、この電気器具に付属の説明書 に操作や管理に関する重要な指示があることをユーザ ーに知らせるためのものです。

警告:

火災や感電の危険を避けるために、この電気器具を雨や水分にさ らさないでください。筐体内には危険な高電圧が存在します。キ ャビネットを開けないでください。修理は資格のある専門家に任 せてください。

本機に水がかかったり濡れたりしないようにしてください。また、 上に花瓶のような水が入ったものを置かないでください。

安全上の重要なお願い

- 1) 以下の説明を読んでください。
- 2) 説明を保管しておいてください。
- 3) すべての警告に留意してください。
- 4) すべての指示に従ってください。
- 5) 本機を水のそばで使用しないでください
- 6) 拭き取りは乾いた布で行ってください
- 通風口をふさがないでください。メーカーの指示に従って設 置してください。
- 8) ヒーター、ストーブその他の (アンプを含む) 熱を発生する機 器等、熱源のそばに設置しないでください。
- 9) 極性や接地があるプラグの安全性を無効にしないでください。 極性のあるプラグは端子の1つの幅が他の端子より広くなっ ているものです。接地があるプラグは2つの平たい端子と1つ の接地端子があるものです。これらの幅広の端子や3番目の接 地端子は、安全のために使われています。付属のプラグがコ ンセント形状に合わない場合には、電気工に旧型コンセント の交換を相談してください。
- 10) 電源コード、特にプラグ、コンセント、機器との接続の部分 が踏まれたりつぶされたりしないように保護してください。

注意:

電池を間違って取り付けると爆発する危険性があります。電池は 同一または同等のものと交換してください。

この製品はレーザーを使用しています。本文章中で説明されてい る以外の調整、調節、手順を実行すると、有害な光線照射を受け るかも知れません。カバーを開けたり、自分で修理しようとしな いでください。修理は資格のある専門家に任せてください。

CLASS I LASER PRODUCT

CAUTION CLASS 3R VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID DIRECT EYE EXPOSURE.

KLASSE 3R SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN GEÖFFNET. UNMITTELBAREN AUGENKONTAKT VERMEIDEN. VORSICHT

SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING AF KLASSE 3R VED ÅBNING. UNDGÅ AT SE DIREKTE PÅ STRÅLEN.

SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING I KLASSE 3R NÅR DEKSEL ÅPNES. Unngå direkte eksponering av øynene. Klass 3r synlig och osynlig laserstrålning när denna del är öppnad. Undvik att direkt exponera ögonen för strålningen. ADVARSEL

VARNING

AVATTUNA LUOKAN 3R NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖNTÄ LASERSÄTEILYÄ. VÄLTÄ KATSEEN SUORAA ALTISTAMISTA. VARO!

警告 打开时有3R类可见和不可见激光辐射,避免眼睛受到直射的照射

このラベルは製品内部のレーザーの保護カバーに貼られ ています。

- 11) メーカーの指定した付属品、アクセサリーのみを使用するよ うにしてください。
- 12) 製品と一緒に販売されているか、メーカーの指定したカート、 スタンド、三脚、ブラケット、テーブルとのみ使用するよう にしてください。カートを使用する際には、 カートと機器を組み合わせて動かす際に躓 いて怪我をしないように注意してください。
- 13) 雷嵐のときや長期間使用しない場合は、機 器をコンセントから外してください。
- 14) 修理はすべて資格のある専門家に任せてく ださい。電源コードやプラグの破損等、機 器が破損した場合や、液体がかかった場合、上にものを落と した場合、雨や水分にさらされた場合、正常動作しない場合、 落としてしまった場合等には修理が必要です。
- 15) 電池 (電池パックや取り付けられた電池) は、太陽光や火のよ うな異常な高温にさらさないでくださ

重要なお知らせ

注意

- AC電源コードを電気器具に接続する前に、器具の電圧 指定が供給電圧に一致していることを確認してください。電源が対応しているか不明の場合には、電力会社 に問い合わせるようにしてください。対応電源入力範 囲はAC~100V-240V、50/60Hzです。
- CLASS I構造の機器は保護接地接続がある商用電力コンセントに接続してください。
- プレーヤーはコンセントに接続されている間は、電源 が切られていてもAC電源から電力が供給されています。
- 長期間製品を使わない場合にはコンセントから電源コードを外しておいてください。プラグを抜くときはコードを引っ張らずにプラグを持って外してください。
- 主プラグは電源を切るための手段として使用されますので、簡単にプラグが抜けるようにしておいてください。

- 製品に適切な換気を確保するため、製品をソファーやベッド、絨毯の上に置かないでください。壁や本棚に設置する場合には、周りに十分なスペースを確保してください:製品の上、両横、後ろには4インチ (10 cm)の空間を確保することをお薦めします。
- 高温になると装置が異常な動作をするようになります。 この装置や電池を直射日光やその他の発熱する物体の そばに放置しないでください。
- プレーヤーを冷えた場所から暖かい場所に移動したり、暖かい場所から冷えた場所に移動したりすると、プレーヤー内のレーザーのピックアップ部分に結露することがあり、その時にはプレーヤーが正常動作しなくなることがあります。このような場合には、装置の電源を入れたままディスクはセットしないで1、2時間放置して湿気が蒸発してしまうようにしてください。

FCC Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

• Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Any unauthorized changes or modifications to this equipment would void the user's authority to operate this device.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

商標

- 「ブルーレイディスク」、「ブルーレイ3D」、 「BONUSVIEW」、「BD- Live」はBlu-ray Disc Association の商標です。
- Javaおよび全てのJavaに基づく商標は、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- DVDロゴはDVDフォーマット/ロゴライセンシングの商標で、米国、日本およびその他の国において登録されています。
- スーパーオーディオCD、SACD、SACDロゴは、Sonyと Philips Electronics N.V.の共有商標です。 ダイレクトスト リームデジタル (DSD) はSonyの商標です。
- 「AVCHD」と「AVCHD」ロゴは、PanasonicとSonyの商標です。
- Designed for Windows Media、Microsoft、HDCD、HDCD ロゴはMicrosoftの米国とその他の国の商標および登録商標です。
- 480p/720p/1080i/1080p」のアップコンバート矢印ロゴ、「Source Direct」と「True 24p」ロゴはOPPO Digital, Inc.の商標です。
- 「Netflix」はNetflix, Inc. の登録商標です。

- 「Darbee」および「Darbee Visual Presence 」はDarbee Silicon Image, Inc.社の商標です。
- 「VRS ClearView」および「Video Reference Series」はDivX 社の商標です。米国特許5,956,674号、5,974,380号、 6,226,616号、6,487,535号、7,392,195号、7,272,567号、 7,333,929号、7,212,872号、または米国およびその他の国 での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき 製造されています。DTS-HD、記号、およびDTS- HDと記 号の組み合わせはDTS社の登録商標であり、また、 DTS-HD Master AudioはDTS社の商標です。製品はソフト ウェアを含んでいます。© DTS社不許複製。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing社の商標または登録商標です。
- 「DivX」および「DivX Plus」はDivX社の商標です。
- 「Pandora」はPandora社の商標です。
- 「Gracenote」はGracenote社の商標です。
 - 「Cinavia」はVerance社の商標です。
- その他の商標については当該各社が所有権を有します。

互換ディスク種類

口ゴ	機能	マニュアル中のシンボル
Bluray Disc Bluray Bluray 3D TM	BD : ブルーレイ3Dディスクを含むボーナスビューおよびBD-Liveコンテンツ付きブルーレイ。3Dの再生には3D対応のディスプレイと3D互換メガネが必要です。シングルおよびデュアルレイヤーのBD-R/REにも対応します。	BD
VIDEO TM	DVD : 市販のDVDとファイナライズされたDVD±R/RW。	Ovd
AUDIO [™]	DVD-A : 高解像度ステレオまたはマルチチャンネルオーディオ。 DVDオーディオディスクの中にはDVDビデオ部分を含むものもあります。	DVD-A
SUPER AUDIO CD	SACD: 高解像度ステレオまたはマルチチャンネルオーディオ。 SACDの中にはハイブリッドフォーマットでCDと高解像度DSDの両 方のレイヤーを使ったものがあります。	SACD
COMPACT DIGITAL AUDIO	CD : 標準のRed Book準拠CDおよびHDCDとCD-R/RW。	∠ ^{CD}
△∨○HD ™	AVCHD : 主にDVD±Rやフラッシュメモリーに記録されたハイビジョンデジタルビデオカメラのフォーマット。	

再生できないディスク

- カートリッジに入ったBD
- DVD-RAM
- HD-DVD
- CDエクストラのデータ部分
- リージョンコード以外のDVDとA以外のブルーレイ
- 一部の両面ディスク: 両面ディスクは片面にDVDビデオ、もう 片面にデジタルオーディオが記録されたディスクですが、デ ジタルオーディオ面がCDフォーマットのレッドブック仕様を 満足していないため、再生は保証されません。
- コピープロテクトのかかったオーディオディスクは再生できない場合があります。

BD-ROMの互換性に関して

コピープロテクションのかかったオーディオディスクは再生できないことがあります。

ブルーレイディスクの仕様は新しく発展中であるため、ディスクの種類、バージョン、エンコーディングによっては正常に再生できないものがあるかも知れません。また、プレーヤーの製造後に策定されたブルーレイディスク仕様の新機能が使われる可能性があります。最善の視聴環境を保証するためにはプレーヤーのファームウェアを適宜アップデートする必要があります。 OPPO Digital のウェブサイト http://www.oppodigital.jpでアップデートを確認するようにしてください。

ディスクのお手入れと取り扱い

- ディスクに傷や指紋をつけずにきれいな状態を維持するため、 ディスクは縁の部分を持って取り扱い、記録面には手を触れ ないでください。
- ブルーレイの記録データは非常に高密度で、記録レイヤーは ディスク表面のすぐ下にあります。このため、ブルーレイディスクは、DVDより埃や指紋の影響を受けやすくなっています。再生で問題が発生したディスクの表面に汚れがある場合には、クリーニングクロスで拭き取るようにしてください。 ディスクを拭く場合には、中央から外側に向けて放射方向に汚れを拭き取ります。回転方向には拭かないでください。
- レコード用の清掃スプレーやベンゼン、シンナー、帯電防止 スプレーのような溶剤は使用しないでください。
- ディスクにラベルやステッカーを貼らないでください。ディスクが反ったり厚くなりすぎて、再生に問題が発生したりドライブから取り出せなくなったりします。
- 直射日光や熱源は避けてください。
- 次のようなディスクは使わないでください:
 - ステッカーやラベルをはがして粘着物が付着している ディスク。ディスクが取り出せなくなる可能性があります。
 - o 反ったりヒビが入っているディスク。
 - o ハート型や名刺型のような不規則な形状のディスク。

著作権保護

この製品は、米国の特許およびその他の知的財産権により保護される著作権保護技術を使用しています。この著作権保護技術の使用はRovi社により許諾されなければならず、Rovi社の許諾がない場合には家庭およびその他の限定的な視聴専用です。 リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

Cinaviaに関して

商用フィルムやビデオ、そのサウンドトラックの不正な複製の使用を制限するために、本製品にはCinavia社の技術が使われています。不正な複製の禁止使用行為が検出されると、メッセージが表示されて再生や複製は中断されます。

Cinavia技術の追加情報はCinavia社のオンライン消費者情報センター (http://www.cinavia.com) でご覧ください。文書によるCinaviaに関する追加情報の要求は、返信住所を記載したはがきを次の住所まで送付してください: Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA

Gracenoteに関して

音楽およびビデオ認識技術とそれに関連するデータはGracenote®により提供されます。 Gracenoteは、音楽とビデオ認識と関連するコンテンツ配信の業界標準です。追加情報は www.gracenote.comでご覧ください。

Gracenote, Inc., 提供の CD、DVD、Blu-ray Disc および音楽・映像関連データ: copyright © 2000 to present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、 Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な 一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote ウェブサイトをご覧 ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴ とロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/また はその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

リージョン管理情報

このプレーヤーはリージョン管理情報に対応するように設計、製造されています。BDビデオやDVDディスクのリージョン番号が、プレーヤーのリージョン番号に対応していない場合には、このプレーヤーでそのディスク再生することはできません。

BDビデオ: このプレーヤーではリージョンコードAのマークがついているディスクが再生できます。





DVD-Video: このプレーヤーはリージョンコードが2のDVDを再生できます。





付属品

お買い上げのBDP-103Dパッケージに以下のパーツが付属していることを確認してください:



ユーザーマニュアル



電源ケーブル (約4.5フィート)



HDMI 1.4ケーブル (約6フィート)



USB延長ケーブル (約4.5フィート)



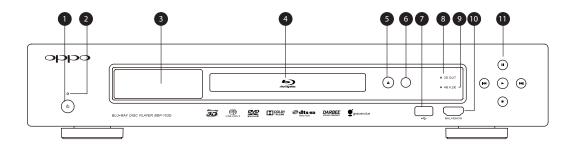
リモコン (単3電池付き)



USB 無線LANアダプタ (802.11b/g/n 対応, 2.4GHz)

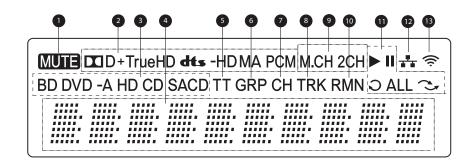
設置

本体前面



- 1. 電源ボタン
- 2. 電源ステータス表示
- 3. 前面表示窓
- 4. ディスクトレイ
- バックライト付きトレイ 開/閉ボタン
- 6. IRセンサー受光窓
- 7. USB 2.0入力
- 8. 3D出力動作インジケータ
- 9. 4k x 2k出力動作インジケーター
- 10. MHL対応HDMI入力
- 11. 再生コントロール、ナビボ タン

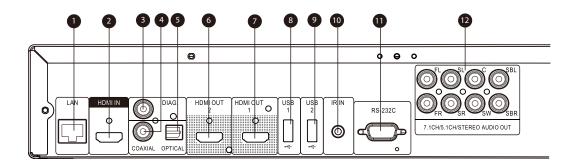
前面表示窓



- 1. 消音アイコン オーディオの消音時に表示されます
- オーディオ種類表示 再生中のオーディオトラックの種類が表示されます
- 3. ディスク種類表示 再生中のディスクの種類が表示されます
- 4. メイン表示 テキストや数字が表示されます
- 5. タイトル 点灯中の表示時間はタイトルに関するもので す
- 6. グループ— 点灯中の表示時間はグループに関するもので す
- 7. チャプター— 点灯中の表示時間はチャプターに関するも のです

- トラック― 点灯中の表示時間はトラックに関するものです
- 9. オーディオチャンネル表示 再生中のオーディオが2チャンネルのステレオかマルチチャンネルのサラウンドかが表示されます
- 10. 残り時間― 点灯中の表示は再生の残り時間です
- 11. 再生状態 再生、一時停止、繰り返し、すべて繰り返し といった再生の状態を示します
- 12. イーサネット イーサネットケーブルが接続されて動作 状態の時に表示されます
- **13.** ワイヤレス プレーヤーが無線ネットワークに接続状態 の時に表示されます

背面のコネクター



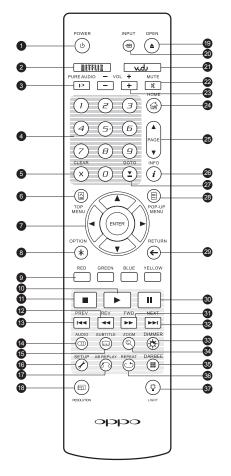
- イーサネットLANポート
 背面HDMI入力
 診断用ビデオ出力

- 4. 同軸デジタルオーディオ出力
- 5. 光デジタルオーディオ出力
- 6. HDMI 2出力 (3D対応)
- 7. HDMI 1出力 (3D対応)
- USB 2.0入力 8.
- USB 2.0入力 9.
- 10. IR (赤外線) 信号入力
- 11. RS-232Cシリアル制御ポート
- 12. 7.1CH / 5.1CH / ステレオアナログ オーディオ出力

上記のコネクター以外にも、背面にはAC電源入力コネクターがあります。このコネクターはIEC60-320 C14とい う種類のものです。付属の電源コードあるいはIEC60-320 C14のプラグを持つ定格を満たしたコード以外は使用 しないでください。

リモートコントロール

リモコンのボタン



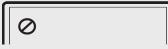
- POWER: 電源のオンとスタンバイを切り替えます
- 2. **NETFLIX**: Netflixにアクセスする ためのボタンです

- 3. **PURE AUDIO**: ビデオをオン / オフします
- **4. 数字**ボタン: 数字の入力に使用 します
- 5. **CLEAR**: 数字入力をクリアします
- 6. **TOP MENU**: BDのトップメニューやDVDのタイトルメニューを表示します
- 矢印、ENTERボタン: メニューの 選択に使用します
- **8. OPTION**: 表示画面の状況に応じたメニューを表示します
- 9. **カラー**ボタン: 状況に応じて割 り当て機能が変化します
- 10. 再生: 再生を開始します
- 11. 停止: 再生を中止します
- 12. **REV**: 早戻し再生します
- 13. **PREV**: 前のチャプター / トラックに戻ります
- **14. AUDIO**: オーディオの言語、チャンネルを切り替えます
- 15. **SUBTITLE**: 字幕の言語を切り替 えます
- **16. SETUP**: プレーヤーの設定メニューを表示します
- 17. A-B REPLAY: 選択した部分を繰り返し再生します
- 18. **RESOLUTION**: 出力解像度を切り 替えます
- 19. **OPEN**: ディスクトレイを開閉します
- 20. INPUT: 入力ソースを選択します

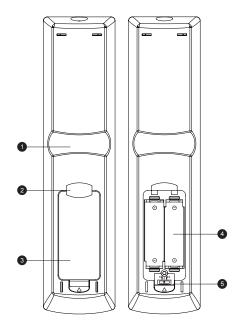
- **21. VUDU**: VUDUにアクセスするためのボタンです
- 22. MUTE: オーディオを消音します
- 23. **VOLUME** +/-: 音量を調節します
- 24. HOME: ホームメニューを表示して再生メディアのソースを選択します
- 25. PAGE UP/DOWN: ページを前後 に移動します
- **26. INFO**: オンスクリーン表示、非表示を切り替えます
- **27. GOTO**: 指定した場所から再生します
- **28. POP-UP MENU**: BDポップアップ メニュー、DVDメニューを表示し ます
- 29. **RETURN**: 一つ前のメニューやモードに戻ります
- **30. 一時停止**: 再生を一時停止します
- 31. FWD: 早送り再生します
- 32. **NEXT**: 次のチャプター / トラックに進みます
- **33. DIMMER**: 前面表示窓の明るさを 調節します
- 34. **ZOOM**: 拡大/縮小やアスペクト 比の調節を行います
- **35. DARBEE**: Darbeeのセットアップ メニューを表示します (59ページ)
- 36. REPEAT: 繰り返し再生します
- **37. LIGHT**: リモコンのバックライト を点灯します

注

ボタンが押されたときに、機能が無効であったり使用できないような場合には、下図のような円に斜め線の入ったシンボルが TV 画面に表示されます:



背面

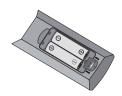


- 1. **人差し指用くぼみ1**: このくぼみに人差し指をかけてリモコンを持つと、親指での(矢印、ENTER、TOP MENU、POP-UPの)ナビボタンの操作がしやすくなります。
- 2. **人差し指用くぼみ2**: このくぼみに人差し指をかけてリモコンを持つと、親指での (STOP、PLAY、PAUSE、PREV、NEXT、REV、FWDの) 再生制御ボタンの操作がしやすくなります。
- 3. 電池カバー: 電池交換やリモートコードの設定をする時に外します。
- 4. 電池: 単3電池を使用します。
- 5. **リモートコードスイッチ**: リモコンが指定したリモートコードを使用するようにスイッチの設定位置を調節します (10ページ)。

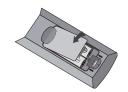
電池の取り付け



1. 電池収納部のふたを開けます



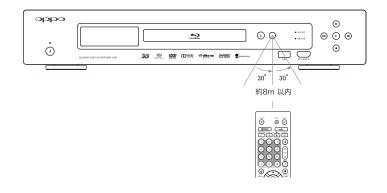
2. 電池を入れます



3. 電池収納部のふたを閉めます

リモコンの使用

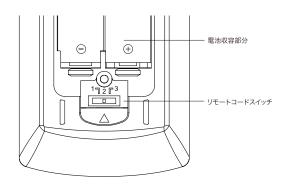
リモコンは、プレーヤーから8m以内の位置かつリモコン先頭の窓部分をプレーヤー前面の赤外センサーから±30度以内の角度に向けて使用するようにします。



リモートコードの変更

リモコンには3種類のOPPOリモートコードが搭載されており、デフォルトの設定は「Code 1」になっています。 BDP-103Dのそばで別のOPPO製品を使う場合には、BDP-103Dのリモコンで誤動作することがないようにリモートコードを変更することができます。

別のリモートコードを選択するには、リモコン電池収納部分のふたを開けて、ボールペンの先を使って「1」、「2」、「3」と印の付いたスイッチを変更してから、電池収納部分のふたを閉めます。 BDP-103Dプレーヤーの電源がオンでディスクが挿入されていないことを確認し、リモコンをプレーヤーに向けたままENTERボタンを5秒間押し続けます。この操作でプレーヤーの使用するリモートコードが変更されます。



バックライト照明の変更

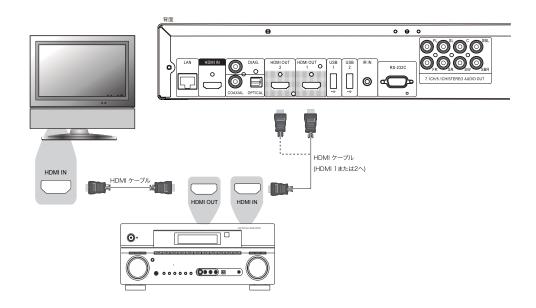
リモコンには2種類のバックライト照明方法があります。デフォルト設定では、LIGHTボタンを押すとバックライトが点灯し、10秒以内に別のボタンを押すと点灯したままとなります。もう一つのモードでは、任意のボタンを押すとバックライトが10秒間点灯し、その間に別のボタンを押すと点灯したままとなります。LIGHTボタンを5秒間押したままにすると、この2つのモードを切り替えることができます。

注意

- リモコンを落としたり濡らしたりしないでください。
- 前面の赤外センサーを直射日光やその他の強い光にあてないでください。
- 電池が弱くなるとリモコンの動作が不安定になることがあります。操作がうまくいかなくなったら電池を交換してください。
- リモコンを長期間使用しない場合には、電池を取り外してください。
- 液漏れや腐食を防ぐため電池は正しく使用してください。電池を直射日光や高温の環境に長時間放置しないでください。また、電池を加熱したり火の中に入れたりしないでください。異なる種類の電池は混ぜて使用しないでください。乾電池は充電しないでください。
- 電池が液漏れをおこしたら、液に直接手を触れないでください。電池収納部分の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

一般的な接続方法

HDMIケーブルを使ったA/Vレシーバーへの接続



- HDMIオーディオがサポートされたレシーバーをお持ちの場合は、プレーヤーとレシーバーをHDMIケーブルで接続して、レシーバーのオーディオをHDMIモードに設定してください (詳しくはレシーバーの取扱説明書をご覧ください)。通常はレシーバーのHDMI出力をTVに接続してビデオ信号を送ることができます。
- BDP-103D背面のHDMI出力端子 (HDMI 1 OUT、HDMI 2 OUT) のいずれからでもレシーバーに接続することができます。ただし、ビデオ接続には卓越した性能を誇るDarbee Visual PresenceやSilicon Image VRS ClearViewビデオプロセッサーを使用したHDMI 1の出力を使用することをお薦めします。

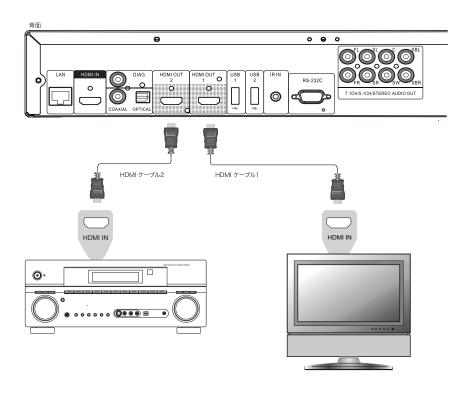
注

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)では、プレーヤーからディスプレイにケーブル1本でオーディオとビデオ信号を送ることができます。ただし、HDMI は発展中の規格であるため、互換性の問題が発生することがあります。上記の接続では HDMI 経由のオーディオ入力をサポートするレシーバーを使用する必要がありますが、レシーバーの中にはビデオ切り替え専用の HDMI ポートしか持たないものがあります。このようなオーディオ入力機能を持たないレシーバーを使用して接続する場合には、これ以降の説明をご覧ください。

すべての規格のマルチチャンネルオーディオを再生するには、レシーバーが HDMI v1.1 以降に対応している必要があります。また、ブルーレイディスクの再生には、Dolby TrueHD や DTS-HD Master Audio のデコード機能を持つ HDMI v1.4 対応のレシーバーをお薦めします。お持ちのレシーバーの仕様をご覧になって、これらの条件を満たしているかどうか確認してください。

BDP-103D の HDMI 出力は HDMI v1.4 で、HDMI v1.3 以前のバージョンと互換性を持ちます。

デュアルHDMIを使ったテレビとA/Vレシーバーへの接続

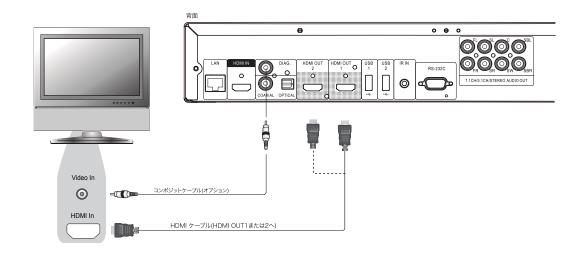


- BDP-103Dではハイビットレートのオーディオコンテンツに加えて最高の品質と解像度をお楽しみいただけるよう、「デュアルHDMI」の接続に対応しています。**Setup Menu**の**Dual HDMI Output**オプションを**Split A/V** (53ページ)に設定して、添付のケーブルでHDMI 1出力をお使いのHDTVと接続し、別のHDMIケーブル (同梱されていません) でHDMI 2出力とお使いのレシーバーを接続することができます。この方法では、HDMI 1出力で利用可能な専用ビデオプロセッサーを活用し、HDMI 1.4入力を持たないレシーバーでもデジタルオーディオ信号の損失なしで再生をすることができます。
- お使いのディスプレイが3D対応で、レシーバーが3Dに対応していないときに、この構成をお薦めします。 この構成によって、ビデオ信号 (この場合は3D) を直接テレビに伝送し、オーディオ信号は通常通りレシー バーからスピーカーに分配させることができます。

注

- 11 ページの HDMI の接続に関する説明を参照してください。
- お使いのレシーバーが HDMI オーディオ入力に対応していない場合には、16 17 ページに説明がある 代替接続方法を試してみてください。

HDMIを使ったテレビへの接続

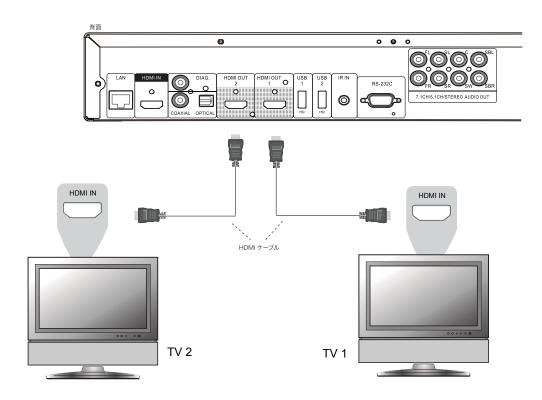


- お使いのテレビにHDMI入力がある場合には、同梱のHDMIケーブルでプレーヤーとテレビを直接接続する ことができます。この接続方法では、1本のケーブルでビデオとオーディオの両方がデジタルで伝送されま す。プレーヤーのHDMI出力は最高のビデオ品質とオーディオ解像度を提供します。
- BDP-103D背面には2つのHDMI出力 (HDMI 1 OUTとHDMI 2 OUT) があり、お使いのテレビと接続することができます。専用のDarbee Visual PresenceやSilicon Image VRS ClearViewビデオプロセッサーが利用できる、HDMI 1出力の使用をお薦めします。
- HDMIビデオに問題が発生したら、HDMIケーブルを外して、DIAG (診断) 出力を通常のコンポジットビデオケーブル (同梱されていません) で、テレビにつなげることができます。この接続を使用すると、テレビにはSetup Menuしか表示されなくなります。DIAG接続は問題解決専用です。

注

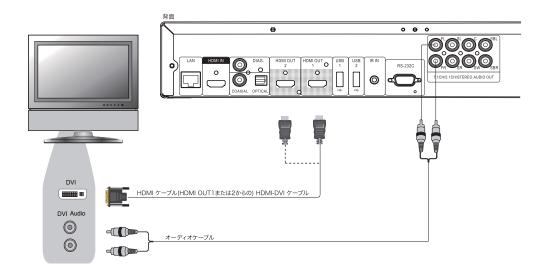
- この接続では、音声がテレビのスピーカーから出力されます。最適な音声品質を得るには、 BDP-103D からスピーカーの接続された A/V レシーバーにオーディオを伝送することをお薦めします。
- お使いのレシーバーが HDMI オーディオ入力に対応していない場合や、HDMI 入力がまったくない場合には、16 17 ページに説明がある代替接続によるレシーバーへのオーディオ出力方法を試してみてください。

HDMIによる2台のテレビへの接続



- BDP-103D背面には2つのHDMI出力 (HDMI 1 OUTとHDMI 2 OUT) があり、2台のテレビを同時に接続してそれぞれにデジタルビデオとオーディオ信号の両方を伝送することができます。
- 専用のビデオプロセッサーが利用できるHDMI 1出力にメインのテレビを接続することをお薦めします。
 また、Setup MenuのDual HDMI Output オプションをDual Displayに設定して、HDMI 2出力からもオーディオとビデオの両方の信号が送信されるようにします (53ページ)。
- 問題解決のために、DIAG (診断) 出力をどちらかのテレビに接続することができます。詳細は13ページを参照してください。

DVIによるテレビへの接続



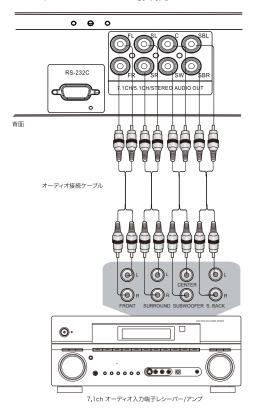
- お使いのテレビにHDCP対応のDVI入力がある場合、HDMI-DVIケーブルを購入してプレーヤーとテレビを接続することができます。この接続方法では、信号劣化なしでデジタルビデオがテレビに伝送されます。専用ビデオプロセッサーの恩恵を受けられるため、HDMI 1 OUTの使用をお薦めします。
- 赤白のオーディオケーブル (同梱されていません) を使用して、プレーヤーのFL (フロント左) とFR (フロント右) の端子をテレビに接続してください。その際に、オーディオケーブルはテレビのDVI入力と同じ入力端子グループに接続してください。入力端子は通常「DVIオーディオ」や「PCオーディオ」と記されています。テレビによってはオーディオ接続にRCA 3.5mm ミニジャックアダプターケーブルが必要になることもあります。
- 問題解決のために、DIAG (診断) 出力をテレビに接続することができます。詳細は13ページを参照してください。

注

HDCP は High-bandwidth Digital Content Protection の略です。BDP-103D の HDMI 出力は、HDCP を使用してデジタルオーディオとビデオのコンテンツを暗号化しています。復号してコンテンツを正常に表示するためには、テレビが HDCP に対応している必要があります。

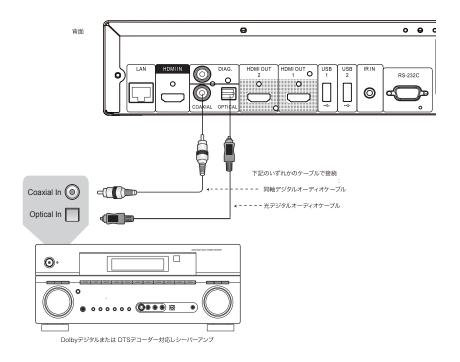
オーディオの代替接続法

アナログ出力によるA/Vレシーバー、アンプへの接続



- 8本までのRCAタイプのオーディオ接続ケーブル (同梱されていません)を使って、BDP-103Dのアナログ出力端子のFL (フロント左)、FR (フロント右)、SL (サラウンド左)、SR (サラウンド右)、C (センター)、SW (サブウーファー)、SBL (サラウンド リア左)、SBR (サラウンド リア右)を、A/Vレシーバー、アンプの対応するマルチチャンネルアナログオーディオ入力ジャックに接続します。
- A/Vレシーバー、アンプに5.1ch オーディオ入力しかない場合には、SBL (サラウンド リア左) とSBR (サラウンド リア右) 端子は接続しないでおき、Setup Menuの**Down Mix**オプションを5.1に設定して7.1 チャンネルの信号がすべて5.1 チャンネルに変換されるようにします (69ページのDown Mix Mode)。
- お使いのオーディオシステムがステレオのオーディオ入力にしか対応していない場合や、すでにHDMIや S/PDIF出力と接続されているサラウンドのオーディオシステムとは別にステレオ専用システムと接続した い場合には、プレーヤーのFL (フロント左)とFR (フロント右)端子に接続します。
- ステレオ出力で、接続するオーディオシステムにサラウンドスピーカーがない場合、**Setup MenuのDown Mix**オプションを**Stereo**に設定します。オーディオシステムにサラウンドスピーカーがあり、Dolby Pro Logicその他のサラウンドオーディオのデコード機能がある場合、ダウンミックスモードは「LT/RT」に設定します(69ページのDown Mix Mode)。

S/PDIF (同軸 / 光) によるA/Vレシーバー、アンプへの接続

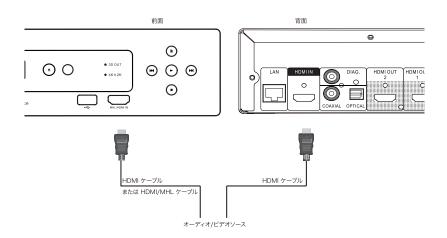


• RCA型の75オーム同軸デジタルオーディオケーブルまたはS/PDIF光デジタルオーディオケーブルで、デジタルオーディオ出力をお使いのA/Vレシーバーの対応する端子に接続します。同軸/光信号の詳細な設定方法は、64ページを参照してください。

注

- バンド幅の制限により、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution、DTS-HD Master Audio のような高解像度オーディオフォーマットは、同軸や光デジタルオーディオ出力で送信することができません。同じオーディオトラックの低解像度版が代わりに出力されます。高解像度オーディオフォーマットを最高の音質で楽しむには、お使いのレシーバーが HDMI オーディオ(11 ページ)対応の場合には HDMI 接続を使うようにしてください。HDMI に対応していない場合には、マルチチャンネルアナログ出力を使用します(16 ページ)。
- 著作権の制約により、SACD オーディオは同軸や光デジタルオーディオ出力で送信できません。SACD を聴くためには、HDMI かアナログ接続を使うようにしてください。
- 著作権の制約とバンド幅の制限により、DVD オーディオディスクからのフル解像度オーディオは同軸や 光デジタルオーディオ出力で送信できません。フル解像度で DVD オーディオを聴くためには、HDMI かアナログ接続を使用してください。

BDP-103DへのHDMI / MHL入力



- BDP-103Dには、前面と背面に1つずつ1080pまでのハイビジョンとデジタルオーディオに対応したHDMI入力ポートがあります。添付のHDMIケーブルで、テレビボックス、携帯電話、カムコーダーのようなソース機器をHDMI INポートに接続することができます。OPPOリモコンのINPUTボタンでInput Source Menuを立ち上げて、対応するHDMI INを選んでください。
- 前面のHDMI INポートはMHL (Mobile High-definition Link) 互換ですので、MHLケーブルやアダプター (いずれもプレーヤーには付属していません) で (スマートフォンのような) MHL対応機器に接続されると、高解像度のデジタル信号を受け取ることができるだけでなく、接続した機器を同時に充電することができます。

インターネットへの接続

BDP-103Dでは、前のモデルに比較してインターネットのストリーミング機能が大きく改善されています。DLNA とSMB/CIFSクライアントの接続機能を持つMy Networkによる家庭内のメディア共有に加え、現時点でNetflixと VUDUの両方に対応しています(日本では未対応)。ファームウェアの将来のアップデートでこれ以外のオンラインストリーミングアプリケーションに対応する可能性があります。

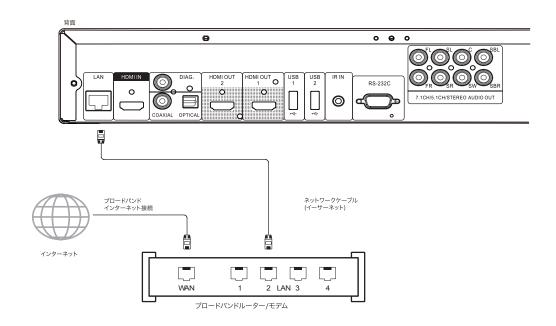
BDP-103Dは、一部のブルーレイディスクタイトルで提供されているBD-Live機能にも対応しています。BD-Liveでは、追加のコンテンツをダウンロードしたり、オンラインのプログラムで楽しんだりすることができます。BD-Liveのコンテンツはディスクや発売元により異なりますが、追加の字幕、同時解説、予告編、ゲーム、オンラインチャット等が含まれます。

プレーヤーをインターネットに接続すると、ファームウェアのアップデートを受けることができるようになります (4ページ、74ページ)。

BD-Liveの特別機能を使ったりインターネット経由でファームウェアをアップデートしたりするには、プレーヤーがブロードバンドでインターネット接続されている必要があります。ネットワークストリーミングやBD-Liveの機能を使ったりオンラインでのファームウェアアップデートをしたりする予定がなければ、インターネットに接続する必要はありません。

BDP-103Dでは、イーサネットケーブル経由と、プレーヤーに付属の無線アダプター経由による2種類のネットワーク接続方法に対応しています。接続の速度と安定性のために、できるだけイーサネットケーブルを使用した接続を使うことをお薦めします。

イーサネットケーブルを使用したインターネット接続

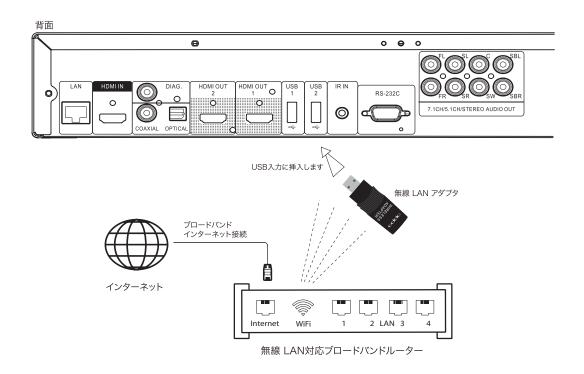


- ネットワークケーブル (カテゴリー5/5Eのストレートイーサネットケーブル) の片方の端をBDP-103D背面 にあるLANポートに接続してください。
- もう一方の端はブロードバンドルーターまたはモデムのLANポートに接続します。
- プレーヤーとブロードバンドインターネットとの物理的な接続が終わったら、ネットワークの構成が必要になります。 詳細は78ページのNetwork Setupの部分を参照してください。
- ルーターやモデムの設定に関する疑問や質問は、ブロードバンドルーターやモデムの操作説明書を参照するか、インターネットサービスプロバイダーに問い合わせるようにしてください。

注

- 10BASE-T または 100BASE-TX をサポートしているイーサネットのポートとのみプレーヤーの LAN ポートを接続するようにしてください。電話のジャックのような他のポートやジャックに接続すると、プレーヤーを破損してしまうことがあります。
- Netflix や VUDU のようなストリーミングのサービスを受けるには、メンバーとなる必要がある場合があります。 またサービスは米国のみに限定されている場合があります。

無線LANアダプタを使用したインターネット接続

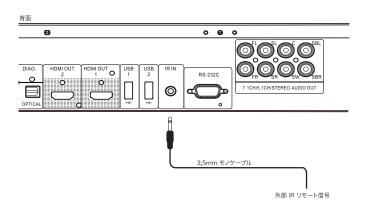


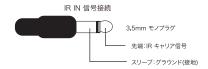
- 製品に同梱されている無線LANアダプタはあらかじめ、本製品にて正常に動作するように設定が行われています。また、本アダプタは無線LANの規格である802.11B,G,N(2.4GHz)のいずれかに対応しています。
- ご利用になる環境において、本製品を除く無線LANでのインターネット接続が可能なことを確認し、製品に同梱されている無線LANアダプタを、本製品背面のUSBポートに挿入してください。
- プレーヤーとブロードバンドインターネットとの物理的な接続が終わったら、ネットワークの構成が必要になります。 詳細は78ページのNetwork Setupの部分を参照してください。
- USB延長ケーブルが本製品には同梱されています。必要に応じて、無線LANアダプタと本製品のUSBポート の間に使用してください。

カスタムな設置

外部IR (赤外線リモート) 取り付け

BDP-103Dには背面にIR IN (赤外線リモート入力) ポートがあります。プレーヤーが装置キャビネットに設置されてリモコンの視界外にある場合には、別売のIRリモートセンサーを購入して このIR INポートに接続します。センサーが問題なく動作するように、リモコンから直接見える場所に設置するようにしてください。





注

- 外部 IR センサーが接続されると、前面の IR センサーは無効に設定されます。
- BDP-103D の IR ポートは旧モデルの BDP-83 で使われる IR リモートセンサー (IR-ES1) と互換性がありません。
- この IR IN ポートと OPPO 以外のメーカー製機器との互換性は保証されません。互換性のない機器を IR IN ポートに接続すると、接続された機器やプレーヤー本体が破損することがあります。
- IR リピーターシステムへのプレーヤー組み込みを検討されている場合には、OPPO のカスタマーサポートまでご連絡ください。制御信号の適切な接続方法を提案させていただきます。

RS232制御

BDP-103DのRS232制御ポートは、ほとんどのカスタムホームシアター制御システムに組み込むことができます。RS-232プロトコルの最新資料が必要な場合には、設置業者にRS232制御プロトコルに関してOPPOに連絡するよう依頼するか、OPPO Digital社ウェブサイト(www.oppodigital.jp)をご覧ください。

クイックスタートガイド

電源の投入と再生

BDP-103Dは、ほとんどのホームシアターで最適な再生ができるようにあらかじめ設定されており、以下の手順に従えば、追加調整をしなくてもお持ちのオーディオ/ビデオシステムで使い始めることができます。

- 1. OPPOプレーヤーをお持ちのシステムに接続してください。
- 2. お使いのテレビやレシーバー/アンプの電源を投入した後でプレーヤーの電源を投入します。
- 3. テレビやレシーバーの入力を切り替えて、プレーヤーからの信号が表示されるようにします。

数秒後に、プレーヤーは工場出荷時のデフォルト設定を読み込んで、OPPOロゴのHomeメニュー を表示します。これでプレーヤーは使用可能になります。OPPOブルーレイディスクプレーヤーで存分にお楽しみください。

ユーザーマニュアルのこれから先の部分は、基本操作および高度な設定についての説明となります。

最適な出力解像度の選択

BDP-103Dの最大の特長の一つに、ハイビジョン画質のブルーレイビデオ再生機能とDVDディスクの標準画質のハイビジョンへのアップコンバート機能があります。内蔵の高性能ビデオプロセッサーは、最高レベルの色再現性、精細画像、なめらかな動きを保証します。プレーヤーは何種類かの標準画質とハイビジョンの出力解像度に対応しています。最善の画質を得るには、テレビやディスプレイに一番適合する出力解像度を選択することが重要となります。

出力解像度を選択する際の大まかな指針は、お使いのテレビやディスプレイの「ネイティブな解像度」にできるだけ適合させるということです。「ネイティブな解像度」は、プラズマパネル、LCDパネル、DLP™チップのような実際のディスプレイ部品の解像度のことです。テレビはネイティブな解像度より低い解像度も高い解像度の入力信号にも対応しているかも知れませんが、このような場合にはテレビの電子回路がビデオをアップスケールあるいはダウンスケールして表示部品に合わせているだけです。残念ながら、市販のテレビのほとんどはビデオの拡大縮小で平均レベルの処理しか行っていません。その一方で、BDP-103Dの出力解像度をテレビのネイティブな解像度に適合するように設定すると、ほとんどの場合すばらしい画像を得ることができます。

市販のディスプレイのほとんどで最適な出力解像度は1080pとなります。初期の「1080p」ディスプレイの中には1080p 信号非対応のものがあります。このようなディスプレイの最適解像度は1080iとなります。小さな画面のデジタルテレビでは720pが最適となる場合が多く、さらにそれ以前のブラウン管やリアプロジェクションテレビでは1080i、EDTV ディスプレイ (HDMIやDVI対応は非常にまれですが)では480p (NTSC) か576p (PAL) となります。以上はほとんどの場合にあてはまる一般的な推奨ですが、例外もあります。

BDP-103Dは、HDMI出力で特殊なSource Directモードに対応しています。この解像度設定は、外部ビデオプロセッサーかハイエンドのテレビとの使用向けです。Source Directモードではプレーヤーは「トランスポート」として動作し、ディスクからのビデオをデコードして、追加処理なしでネイティブな解像度とフォーマットのロービデオを、外部ビデオプロセッサーあるいはテレビに送信します。実際の出力解像度はコンテンツに依存します:

コンテンツ	Source Direct出力解像度
NTSC DVD	480i
PAL DVD	576i
ブルーレイムービーのほとんど (フィルムソース)	1080p 23.976Hzまたは1080p 24Hz
ブルーレイテレビショー、コンサート (ビデオソース)	1080i
SACD、DVDオーディオ	1080p

HDMI出力の両方とも次の解像度に対応しています: **4Kx2K、Auto、1080p、1080i、720p、480p/576p、480i/576i、Source Direct**。**Auto**が選択されると、プレーヤーはテレビが表示可能な最善信号解像度に基づいて出力解像度を決定します。

出力解像度を変更するには、リモコンのRESOLUTIONボタンを押してResolution Menuを立ち上げ、**上下矢印**ボタンで希望の解像度をハイライト表示し、ENTERボタンで確定して戻ります。選択した解像度にテレビが対応していない場合には、画面に何も表示されなくなったりエラーメッセージが表示されたりします。そのような場合にはテレビが対応可能な別の解像度に設定してください。

表示の横縦比決定





ワイドスクリーン(16:9)テレビ

TV Aspect Ratioはテレビ画面の幅と高さの比率です。古いテレビの横縦比は一般的には4:3で、幅が高さの4/3 (1.33) 倍になります。新しいワイドスクリーンのテレビは16:9の横縦比を持ち、幅は高さの16/9 (1.78) 倍となります。最適な表示を得るにはプレーヤーのビデオ出力はお使いのテレビ画面の横縦比と同じになる必要があります。ブルーレイディスクのほとんどと、多数のDVDディスクはワイドスクリーンのフォーマットで発売されていますので、BDP-103Dもワイドスクリーンのテレビとお使いになることを薦めます。

Aspect Ratioの選択は**16:9 Wide**と**16:9 Wide/Auto**で、その設定とディスクに記録されたビデオのフォーマットによって、テレビ画面に表示される画像は次のいずれかとなります:

	テレビ	 の表示
元のコンテンツ	16	:9
	Wide	Wide/Auto
4:3		
15460		1000
16:9	100	100
(1049)	1000	110400

ワイドスクリーン (16:9) ディスプレイをお使いの場合には、次の中から選択します:

- **16:9 Wide** 16:9 (ワイドスクリーン) のソースはネイティブ横縦比で表示され、4:3のソースは水平方向に拡大されたようになります。
- **16:9 Wide/Auto** 16:9 (ワイドスクリーン) も4:3のソースと同様ネイティブな横縦比で表示されます。この モードでは、4:3のソースは4:3の横縦比を維持するために、左右に黒いブロックを使用して表示されます

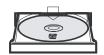
基本操作

ディスクの再生



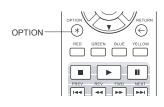
BD DVD DVD-A SACD CD

- 1. POWERボタンを押してプレーヤーの電源を入れます。
- 2. **OPEN**ボタンを押してディスクトレイを開けます。
- 3. ラベルが上側、記録面が下側になるようにディスクをトレイに置きます。



- 4. 再度OPENボタンを押してトレイを閉めます。
- 5. プレーヤーがディスク情報を読み込んで、再生を開始します.
- 6. ディスクの内容によっては、メニューや案内スクリーンが表示されることがあります。移動用の**矢印やENTER**ボタンを使用して、再生する内容を選びます。
- 7. 再生を中止するには**停止**ボタンを押します。
- 8. プレーヤーの電源を切るにはPOWERボタンを押します。

OPTIONメニュー



BD DVD DVD-A SACD CD

- 1. メディアファイルの選択時や再生中にリモコンの**OPTION**ボタンを押すと **OPTION**メニューが表示されて、各種設定や再生機能の選択を簡単に行う ことができます。
- 2. **OPTION**メニューが表示されたら、**左右矢印**ボタンで設定したい項目に移動し、**ENTER**ボタンを押して確定します。

コンテンツの種類によって**OPTION**メニューに表示される選択肢は異なります。選択肢の概要と機能は以下の説明の通りです:

ディスク (CD、DVD、BD) の再生中:

• Disk info: Gracenoteのオンラインデータベースを検索して、ディスク情報を表示します (プレーヤーがインターネット に接続している必要があります)。

音楽ファイルの再生中:

- Music info: 「Disc info」同様 Gracenoteのオンラインデータベースを検索して、音楽の情報を表示します。
- Shuffle/Random: シャッフルやランダムモードに切り替えます(35ページ)。
- Repeat: 再生中の曲、またはすべての曲を繰り返し再生します (34ページ)。
- Add to playlist: ハイライト表示された音楽ファイルをプレイリストに追加します。外部USBストレージにアクセスしているときのみ表示されます。
- Goto playlist: プレイリストに追加された音楽ファイルにアクセスします。
- Song location: MUSICインターフェイスに戻り、再生中の音楽ファイルをハイライト表示します。
- Program play: オーディオトラックを好みの順番で再生します (CD再生時のみ)。
- ギャップレス再生: ギャップレス再生モードを有効に設定します。試験的な機能で、外部USBストレージのAPEとWAVファイルにのみ対応しています。

ビデオディスク (DVD, BD) やビデオファイルの再生中:

- Subtitle Adjustment: 字幕の表示オプションを設定します。
 - o Color: 字幕テキストの表示色を設定します (外部字幕ファイル使用時のみ)
 - o Outline color: 字幕テキストの輪郭表示色を設定します (外部字幕ファイル使用時のみ)
 - 。 Size: 字幕テキストのサイズを設定します (外部字幕ファイル使用時のみ)
 - o Position: 字幕テキストの表示位置を設定します。
 - o Defaults: 字幕オプションの設定を出荷時の状態に戻します。
- 3D: 2D->3D変換を実施したり3D調節メニューを表示します(54ページ)。
- Zoom: イメージのズーム倍率メニューを開きます (32ページ)。
- ANGLE: 表示アングルを切り替えます。この機能は、DVD/BDに複数アングルからの映像が記録されているときのみ有効です。

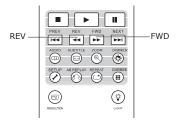
写真ファイルの再生中:

- Zoom: 異なる拡大率でイメージを表示します。
- Rotate Left / Right / Mirror / Flip: スクリーン上のイメージを回転します。
- 2D->3D変換を有効にするか、3D調節メニューをオープンします。詳細は54ページ参照。

HDMI INPUT入力の再生中:

3D: 2D->3D変換を実施したり3D調節メニューを表示します(54ページ)。

早送り再生





再生中には早送りや早戻しができます。

1. リモコンのFWDボタンを押すと早送り再生を開始します。FWDボタンを押すたびに、次の順序で再生速度が変わります:

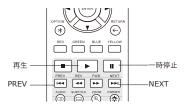
▶ ■1 ■1 ▶ 1 ■1 ▶ 1 ■1 ▶ 1 ■1 ♦ 1 ■1 ♦ 1 ■1 ♦ 1 ■1 ♦ 1 ■1 ♦ 1 ■ 1 ■1 ■ 1 ■

2. リモコンのREVボタンを押すと早戻し再生を開始します。REVボタンを押すたびに、次の順序で再生速度が変わります:

注

BD-Java 技術を使ったブルーレイディスクには独自の早送り、早戻しをするものがあり、実際の再生速度がディスクにより異なったり、独自の再生位置表示を行ったりすることがあります。

一時停止とコマ送り/戻し

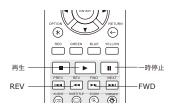




- 1. 再生中に**一時停止**ボタンを押すとプログラムが一時停止して、一時停止の アイコンがテレビに表示されます。
- 2. DVDやブルーレイの一時停止中にPREVやNEXTボタンを押すと、ビデオのコマ戻しやコマ送りをすることができます。
- 3. 再生ボタンを押すと通常の再生が再開されます。

スロー再生





以下の手順でビデオをスロー再生することができます:

- 1. リモコンの一時停止ボタンを押して再生を一時停止します。
- 2. **FWD**ボタンを押すとスロー再生の早さを切り替えることができます。 **FWD**ボタンを押すたびに以下の順序で再生速度が切り替わります:



3. **REV**ボタンを押すと逆方向スロー再生の早さを切り替えることができます。**REV**ボタンを押すたびに以下の順序で再生速度が切り替わります:



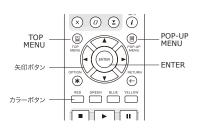
4. 再生ボタンを押すと、スロー再生モードから通常の再生に戻ります

注

BD-Java 技術を使ったブルーレイディスクにはスロー再生に対応していないものがあります。

ブルーレイディスクメニュー再生

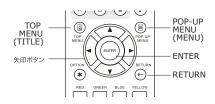




- 1. 通常のブルーレイディスクは、**トップメニューやポップアップメニュー**に対応しています。**トップメニュー**は再生開始時に、予告編や著作権のメッセージに引き続いて表示されます。また、**ポップアップメニュー**は映画の途中で再生を中断することなく表示されます。
- 2. 再生中にPOP-UP MENUボタンを押すとポップアップメニューが表示され、 TOP MENUボタンを押すとトップメニューが表示されます。
- 3. 矢印ボタンを使ってメニューを移動し、ENTERボタンで選択します。
- 4. メニューの中には**カラー**ボタンを利用するものがあります。その時は、リモコンの対応する**カラー**ボタンを押すことでメニュー機能の選択が行えます。

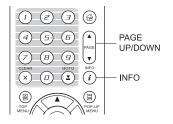
DVDメニュー再生





- DVDの中にはタイトルメニューやチャプターメニュー機能に対応したものがあります。
- 2. 再生中にTOP MENUボタンを押すと、ディスクのタイトルメニューが、 POP-UP MENUボタンを押すと、チャプターメニューが表示されます。また、ディスクによってはどちらか一方あるいは両方の機能にも対応していないものもあります。
- 3. **矢印**ボタンを使ってメニューを移動し、ENTERボタンで選択します。
- 4. **RETURN**ボタンを押すと直前のメニューに戻りますが、戻り先のメニューはディスクにより異なります。

オンスクリーン表示



BD DVD DVD-A SACD CD

- 1. DVDやブルーレイディスクの再生中にリモコンの**INFO**ボタンを押すと現在の再生状態が表示されます。CDやSACDでは再生情報は自動的に表示されます。
- 2. 再生情報が表示されているときに**PAGE上下**ボタンで表示フォーマットを変更することができます。プレーヤー前面に表示される再生時間情報とオンスクリーン表示の両方がともに変わります。
- 3. もう一度**INFO**ボタンを押すと、オンスクリーン表示を消すことができますが、プレーヤー前面の再生時間表示は選択されたフォーマットがそのまま使われます。

以下の表示フォーマットから選ぶことができます:

DVD、ブルーレイディスク:

- **■** - タイトルの残り時間 - チャプターの残り時間

CD_\SACD:

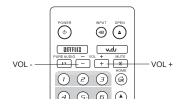
■ -トラシクの経過時間 ● - ディスクの経過時間

- □ -トラシクの残り時間- ディスクの残り時間

オンスクリーン表示は、再生時間以外にも再生中のコンテンツに関する以下の情報を含むことがあります:

- 再生状態: 再生、一時停止、早送り/早戻しを表すアイコン。
- ビットレートのメーター: オーディオやビデオストリームのビットレート表示。
- 再生中のチャプターとチャプター数。(DVD、ブルーレイディスク)
- 再生中のタイトルとタイトル数。(DVD、ブルーレイディスク)
- 再生中のトラックとトラック数。(CD、SACD)
- オーディオ情報: 再生中のオーディオトラックとトラック数、言語、フォーマット、チャンネル数。
- 字幕情報: 再生中の字幕、字幕言語数と字幕言語。
- ビデオフォーマット情報: エンコードの種類、フレームレート、オリジナルの横縦比。
- HDMI出力情報:接続状態、ビデオ解像度、フレームレート、色空間、オーディオフォーマットおよびチャンネル。

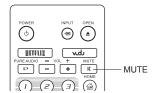
音量調節





- 1. BDP-103Dの音量調節はアナログオーディオ出力専用で、(HDMI、同軸、 オプティカルの) デジタルオーディ出力にはロービットストリーム、 LPCMのいずれであっても何の影響もありません。
- 2. リモコンの**VOL +/-**ボタンは、テレビやテレビのリモコンによる音量調節 の代用です。テレビ番組やVCRなどのプレーヤー以外の入力からの音量と 同じになるように調節してください。
 - **VOL** -ボタンを押すと音が小さくなります。
 - VOL +ボタンを押すと音が大きくなります。

消音



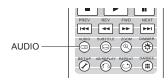
BD DVD DVD-A SACD CD

- コンテンツの再生中にリモコンのMUTEボタンを押すと、オーディオ出力が消音されてテレビ画面には消音のアイコンが表示されます。また、プレーヤー前面の消音インジケーターも点灯します。
- 2. もう一度MUTEボタンを押すと消音が解除されます。

注

オーディオが出力されない場合には前面の MUTE インジケーターを確認してください。また、MUTE ボタンを押して消音の 状態を確認してください。

オーディオ言語/トラックの選択

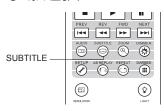


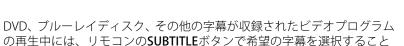
- 1. オーディオ言語、トラック言語、トラックを選択するには、再生中にリモコンの**AUDIO**ボタンを押します。
- 2. **AUDIO**ボタンを繰り返し押すか、**上下矢印**ボタンを使って、希望の言語やオーディオトラックを選択します。

注

収録されている言語やオーディオのチャンネルはディスクにより異なります。DVD オーディオディスクの中には AUDIO ボタンでオーディオのトラック選択ができるものもありますが、ディスクのオーディオ選択メニューを使わなければならないものもあります。SACD マルチチャンネルとステレオの両方のコンテンツを収録した SACD 再生中に AUDIO ボタンを押すとこの二つが交互に切り替わります。

字幕選択





ができます。 2. **SUBTITLE**ボタンを繰り返して押すか、**上下矢印**ボタンを使って、収録さ

れている字幕の中から選択します。 3. 字幕表示を中止するには、リストで**Off**を選択します。

BD DAD

SACD

HDMI / MHL INPUTの選択

	入力
	BLU-RAY PLAYER
•	HDMI/MHL IN-FRONT
	HDMI IN-BACK
	ARC: HDMI OUT 1
	ARC: HDMI OUT 2

- 1. BDP-103D 前面と背面にあるHDMI INポートから外部メディアのソース を入力する場合には、リモコンのINPUTボタンを押して「Input Source」 メニューを表示します。
- 2. **上下矢印**ボタンを使って必要なHDMIの入力ポートを選択します。
- 3. **BLU-RAY PLAYER**を選択すると、いつでもOPPOのホームメニューに戻ることができます。

注

前面の HDMI IN ポートは MHL (Mobile High-definition Link) 対応です (18ページと**エラー! ブックマークが定義されていません。**ページ) が、専用の MHL ケーブルとアダプター (同梱されていません) が必要になります。また、モバイル機器の設定が必要となることがあります。

オーディオリターンチャンネル (ARC) 選択

	入力
	BLU-RAY PLAYER
	HDMI/MHL IN-FRONT
	HDMI IN-BACK
•	ARC: HDMI OUT 1
	ARC: HDMI OUT 2

- 1. HDMI接続を使ってテレビからのデジタルオーディオ信号をBDP-103Dに戻すには、リモコンのINPUTボタンを押してInput Sourceメニューを表示します。
- 2. **上下矢印**ボタンを使い必要なARCチャンネルを選択します。
- 3. **BLU-RAY PLAYER**を選択すると、いつでもOPPOのホームメニューに戻ることができます。

注

- オーディオリターンチャンネル (ARC) は、HDMI v1.4 で導入された、テレビのデジタルオーディオ信号をプレーヤーやレシーバーに戻すための機能です。ARC では、テレビのスピーカーではなく、ホームシアターのオーディオシステムでのオーディオ処理、再生が可能になります。
- 接続には (同梱の) HDMI 1.4 ケーブルが必要となります。また、テレビの HDMI 入力ポートが ARC 機能をサポート していることを確認してください。通常はテレビ側で ARC を有効に設定する必要があります。

BD-Live



BDLIVE ブルーレイディスクにはBD-Live機能を持つものがあります。BD-Liveでは、追加のコンテンツをダウンロードしたり、オンラインのプログラムで楽しんだりすることができます。BD-Liveのコンテンツはディスクや発売元により異なりますが、追加の字幕、同時解説、予告編、ゲーム、オンラインチャット等が含まれます。BD-Liveを楽しむにはブロードバンドのインターネット接続が必要となります(19°)。

ブルーレイディスクを再生する場合、発売元によっては、BD- Liveのコンテンツをダウンロードし始めたり、メインメニューにBD-Liveの選択を表示したり、ダウンロードを開始するかどうかを確認したり、メンバー登録を求めたりするものがあります。BD-Liveのコンテンツを楽しむには、表示される指示に従ってください。

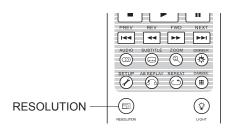
インターネットの接続スピードとBD-Liveコンテンツサーバーの容量により、BD-Liveのコンテンツのダウンロードにかかる時間は左右されます。ダウンロードが遅かったり、または再生が途切れ途切れになる場合には、BD-Live機能は使わずにディスクの内容を再生するか、しばらくたってからやり直すようにしてください。

BD-Live機能を使用すると、プレーヤーやディスクのID、IP (Internet Protocol) アドレスがコンテンツのプロバイダーに送信されることがあります。通常は個人を特定するような情報は送信されませんが、IPアドレスで地域やインターネットのプロバイダーを特定することが技術的に可能であるため、インターネットプロバイダーは誰がそのIPアドレスを使用しているかを把握しています。また、BD-Liveのコンテンツプロバイダーがメンバーアカウントでのログインを要求した場合、プロバイダーはメンバーやアカウント情報へのアクセスが可能となります。個人情報の取り扱いに関しては、インターネットのプロバイダーやBD-Liveのコンテンツプロバイダーに問い合わせてください。

Setupメニュー (78ページ) のBD-Live Network AccessでBD-Liveのネットワークへのアクセスを制限することもできます。

高度な操作

出力解像度



BDP-103Dは複数の出力解像度に対応しています。最適な出力解像度の選択に関する説明は、最適な出力解像度の選択 (22ページ) を参照してください。

出力解像度を変更するには、リモコンのRESOLUTIONボタンを押します。

- 1. HDMIケーブルがきちんと接続されているか確認してください。
- 2. テレビの電源を入れて、テレビがHDMI入力ポートを使用するように設定します。
- 3. プレーヤーの電源が入っていることを確認します。ディスクの再生中にも出力解像度の変更はできますが、念のために 再生を中止してディスクを取り出してから変更することをお薦めします。RESOLUTIONボタンを押すとテレビに Resolution Menuが表示されます。現在設定されている解像度にテレビが対応していなくてResolution Menuが表示されない場合には、プレーヤー前面の表示で解像度を確認してください。
- 4. **上下矢印**ボタンを使って出力解像度を選択します。**RESOLUTION**ボタンを繰り返し押すことによっても、出力解像度を順番に切り替えることができます。
- 5. **ENTER**ボタンを押して選択した出力解像度を適用します。出力解像度を変更したくない場合には、**RETURN**ボタンで操作を終了して戻ります。

次の解像度が選択可能です:

NTSC出力:

 $4Kx2K \rightarrow Auto \rightarrow 1080p(60Hz/24Hz) \rightarrow 1080i 60Hz \rightarrow 720p 60Hz \rightarrow 480p \rightarrow 480i \rightarrow Source Direct$

PAL出力:

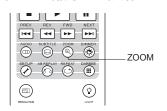
 $4Kx2K \rightarrow Auto \rightarrow 1080p(50Hz/24Hz) \rightarrow 1080i 50Hz \rightarrow 720p 50Hz \rightarrow 576p \rightarrow 576i \rightarrow Source Direct$

注

- テレビによってはすべての出力解像度に対応していない場合があります。非対応の出力解像度が選択されると、テレビに何も映らなくなったりエラーメッセージが表示されたりします。このような場合には、テレビが対応している出力解像度に選択しなおすようにしてください。
- HDMI を使うと何も表示されない場合には、HDMI ケーブルを取り外し、 コンポジットビデオケーブルを使ってプレーヤーの DIAG (診断) 出力をテレビに繋ぎ、**Setup Menu** でプレーヤーの設定を調節してください。
- 「アナログ放送終了」に伴い、2011 年 1 月 1 日以降に製造、販売されるすべてのブルーレイディスクプレーヤーは ハイビジョンビデオ (720p、1080i、1080p) をコンポーネントビデオ出力で送信することができなくなりました。 このため、BDP-103D では故障診断用の標準画質 DIAG ビデオ出力を除き、コンポーネント、コンポジットのビデオ出力が廃止されました。

拡大/縮小、横縦比の制御





この機能では表示されたこまの拡大や縮小、横縦比 (イメージの幅と高さの比) の変更を行うことができます。

拡大/縮小倍率を変更するには、リモコンのZOOMボタンを押します。ZOOMボタンを押すたびに倍率が順次切り替わります。

HDMI出力の拡大率

SetupメニューのTV Aspect Ratio設定やBD/DVDディスクがエンコードされた横縦比により選択可能な拡大率が変わります:

1:1 (No zoom)、Stretch/Compress、Full Screen、Under Scan、1.2X、1.3X、1.5X、2X、1/2X

ディスクを取り出すかプレーヤーの電源を切ると拡大倍率は1:1に戻ります。

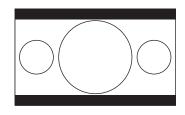
特定の状況で次の拡大倍率が便利な場合があります:

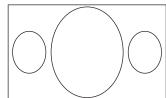
- 1) TV Aspect Ratioが16:9 Wideか16:9 Wide/Autoに設定され、16:9のBDやDVDを再生する場合
- Stretch イメージが縦方向に1.33倍拡大されます。この倍率によって、横縦比が2.35:1の映画でイメージ上下の黒いブロック部分をなくすことができます。アナモルフィックレンズのプロジェクターで、このモードが有用な場合があります。

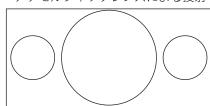
元の2.35:1ワイドスクリーン画像



ワイドスクリーン画像の アナモルフィックレンズによる投射

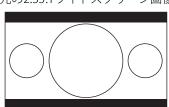






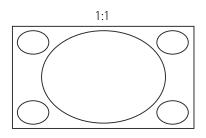
• Full Screen - イメージは横縦方向ともに1.33倍に拡大されます。 横縦比が2.35:1の映画で、横縦比を保ったままイメージ上下の黒いブロック部分をなくすことができます。ただし、イメージの左右が少し切り取られてしまいます。

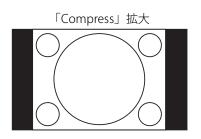
元の2.35:1ワイドスクリーン画像

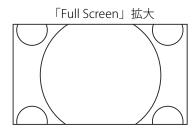


「Full Screen」拡大

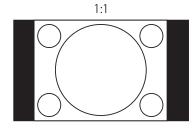
- 2) TV Aspect Ratioが16:9 Wideに設定され、4:3のBDやDVDを再生する場合
- **1:1** イメージは16:9のスクリーン全体に表示されますが、横方向に伸張されます。このため、像は縦に短く横に広がって見えます。
- Compress 正確な4:3の横縦比を保ったまま、イメージの左右両側に黒いブロック部分を表示します。
- Full Screen この倍率では正しい横縦比が保たれますが、4:3のイメージを16:9のスクリーンに合わせるため、上下が わずかに切り取られます。

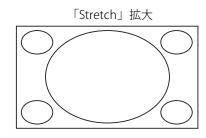


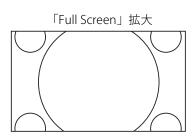




- 3) TV Aspect Ratioが16:9 Wide/Autoに設定され、4:3のBDやDVDを再生する場合
 - 1:1 正確な4:3の横縦比を保ったまま、イメージの左右両側に黒いブロック部分を表示します。
 - **Stretch** イメージは水平方向に1.33倍伸張されます。 イメージは16:9のスクリーン全体に表示されますが、像は縦に短く横に広がって見えます。
 - Full Screen この拡大率では正しい横縦比が保たれますが、4:3のイメージを16:9のスクリーンに合わせるため、 上下がわずかに切り取られます。







「Under Scan」の倍率はイメージを5%縮小します。この倍率は、テレビのオーバースキャンを補正してイメージ領域全体を切り取らずに表示するために使われます。この他の倍率はそれぞれの値が示すとおりです。

- (1997年から 2000年代初めまでに発売された)初期の DVD タイトルの中には、4:3の非アナモルフィックワイドスクリーン横縦比を使用しているものがありますが、16:9のディスプレイでは上下左右を黒いブロックで囲まれた小さな領域でコンテンツが表示されます。上下のブロックはビデオにエンコードされたものですが、左右のブロックは正しい横縦比を保つためにプレーヤーが付け加えたものです。このような種類のディスクでは、Full Screen 拡大モードを使用してブロック部分を除去することができます。
- 制作者の意図により DVD やブルーレイディスクの中には ZOOM 機能を使えないものがあります。

字幕の上下移動



以下の手順で字幕の位置を移動させることができます:

♡

字幕が記録されたDVD、ブルーレイディスク、その他のビデオプログラムの再生中に、ディスクメニューやリモコンを 使って希望の字幕を選択します (28ページ)。

置を上下に移動させることができます。

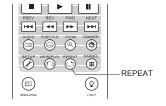
- リモコンのSUBTITLEボタンをShift Subtitle Positionプロンプトが表示されるまで押し続けます。
- スクリーンに字幕が表示されたら、**上下矢印**ボタンを使って字幕を希望の位置まで移動します。
- ENTERボタンを押して字幕の表示位置を確定します。

字幕の上下移動位置が設定されると、その位置はプレーヤーのVideo Setup > Display Options > Subtitle Shift設定メニュー オプションに記録され、それ以降に再生されるDVD、ブルーレイディスクのすべての字幕に適用されることになります。こ の設定メニューで直接値を変更することもできます。詳細は53ページ以降のVideo Setupの部分を参照してください。

繰り返し再生



DVD



特定のチャプター、タイトル、トラック、ディスクを繰り返して再生するには、 リモコンのREPEATボタンを押します。

REPEATボタンを押すたびに繰り返しモードは次の順序で切り替わります。

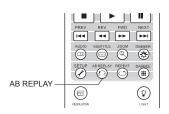
Repeat Chapter ⇒ Repeat Title ⇒ Repeat All ⇒ Repeat Off ■ DVD、DVD オーディオ: Repeat Chapter Repeat Title Repeat Off ブルーレイディスク: Repeat One Repeat All Repeat Off CD\SACD:

注

ブルーレイディスクには繰り返し再生のできないものがあります。

指定箇所の繰り返し再生





特定の箇所を繰り返し再生するには、以下の手順に従います:

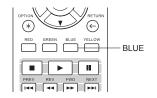
- 1. 通常の再生中に、繰り返し再生を始める箇所 (箇所A) でリモコンのAB REPLAYボタンを押します。テレビ画面に「A-」と表示されます。
- 2. 繰り返し再生を終了する箇所 (箇所B) で再びAB REPLAYボタンを押します。プレーヤーが指定した箇所 (A-B) の繰り返し再生を開始して、テレビ画面には「A-B」と表示されます。
- 3. もう一度AB REPLAYボタンを押すと通常の再生に戻ります。

注

ディスクフォーマットやコンテンツによっては対応していないものがあります。ブルーレイディスクの中には繰り返し再生ができないものがあります。

シャッフル、ランダム再生





CDやSACDの再生中にリモコンのBLUEボタンを押して、シャッフルとランダムモードを起動します。BLUEボタンを押すたびに以下の順序で再生モードが切り替わります:

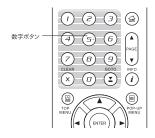


通常の再生モードでは、トラックは順番に従って再生されます。**ランダム**再生は、名前が表すように再生トラックがランダムに選択されます。**シャッフル**モードもトラックの再生順序はランダムとなりますが、各トラックは一度しか再生されません。

繰り返しモードで再生中に**シャッフル**や**ランダム**モードを選択すると、繰り返しモードはキャンセルされてしまいます。同様に繰り返しモードを選択すると、**シャッフル**や**ランダム**モードが使われていてもキャンセルされます。

チャプター、トラック番号を指定して再生





ディスクの再生中にリモコンの**数字**ボタンを押して、指定されたチャプターやトラックに直接ジャンプすることができます。たとえば:

• 7番目のトラックを選択するには[7]のボタンを押します。



• 16番目のトラックは[1]と[6]を続けて押します。

(1) + (E)

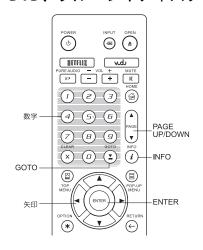
注

• DVD オーディオ・ブルーレイディスクの中にはチャプターを直接選べないものがあります。

特定箇所からの再生

BD DVD DVD-A SACD CD

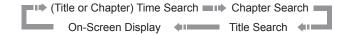
DVD、ブルーレイディスク



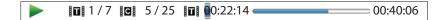
DVD、ブルーレイディスク再生中にタイトル、チャプターや時間を直接指定して再生を開始することができます。**GOTO**ボタンを押すと下のオンスクリーン表示が立ち上がります。

1 1 / 7 **2** 5 / 25 **1** 00:22:14 **0** 00:40:06

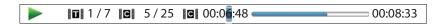
ビデオスクリーン上のオンスクリーン表示には、(左から順に)次の情報が含まれます:再生状態、タイトル、チャプター、時間表示、再生位置表示バー、タイトル全体の再生時間。最初にGOTOボタンを押すと、カーソルが経過時間に移動し、時間検索モードになります。さらにGOTOボタンを押すと、以下の順序で検索モードが切り替わります:



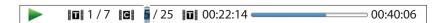
- 1. Title time search: 再生中のタイトルで指定した時間に移動します。
 - **GOTO**ボタンを押してオンスクリーン表示を立ち上げます。カーソルが時間表示に移動しますので、**数字**、または **矢印**ボタンを押して、希望の時間、分、秒を入力したら**ENTER**ボタンを押します。



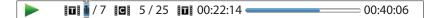
- 2. Chapter time search: 再生中のチャプターで指定した時間に移動します。
 - INFOボタンを押してオンスクリーン表示を立ち上げます。PAGE UPやPAGE DOWNボタンを使ってチャプター時間 の表示モードに切り替えます (時間表示の左側にあるアイコンがタイトルからチャプターに変わります)。GOTOボタンを押して時間表示にカーソルを移動し、数字または矢印ボタンを押して、希望の時間、分、秒を入力したらENTER ボタンを押します。



- 3. Chapter search: 指定したチャプターに移動します。
 - カーソルがチャプター表示に移動するまで**GOTO**ボタンを繰り返して押します。**数字**または**矢印**ボタンを押して、 希望のチャプターを選択したら**ENTER**ボタンを押します。



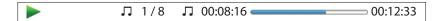
- 4. Title search: 指定したタイトルに移動します。
 - カーソルがタイトル表示に移動するまで**GOTO**ボタンを繰り返し押します。**数字**または**矢印**ボタンを押して、希望のタイトルを選択したら**ENTER**ボタンを押します。



- ディスクによっては検索操作ができないものがあります。このような場合、検索箇所を選択できなかったり、検索 箇所を指定すると「無効な操作」のアイコンが表示されたりします。
- また、独自の検索機能を持つブルーレイディスクもあります。このようなディスクでは、オンスクリーン表示される指示に従って検索機能を使うようにしてください。

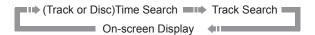
CD、SACDディスク

ディスクやトラックの再生経過時間、あるいはトラック番号で再生開始箇所を直接指定したい場合があります。CDやSACDの再生中には、テレビ画面には以下のような情報が自動的にオンスクリーン表示されます:

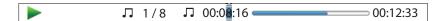


オンスクリーン表示には、(左から順に)次の情報が含まれます:再生状態、トラック番号、時間情報、再生位置表示バー、トラック全体の再生時間。

以下の検索モードを使用して指定した箇所から再生を開始するには、GOTOボタンを押します。GOTOボタンを押すたびに以下の順序で検索モードが切り替わります:



- 1. Track time search:再生中のトラックで指定した時間に移動します。
 - **GOTO**ボタンを押してカーソルをトラックの時間表示に移動します。**数字**または**矢印**ボタンを押して、希望の時間、 分、秒を入力したら**ENTER**ボタンを押します。



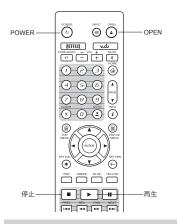
- 2. Disc time search:指定した時間に移動します。
 - オンスクリーン情報が表示されている時に、PAGE UPやPAGE DOWNボタンを使ってディスク時間の表示モードに切り替えます。**数字**または**矢印**ボタンを押して、希望の時間、分、秒を入力したらENTERボタンを押します。



- 3. Select a track: 指定したトラックに移動します。
 - カーソルがトラック番号表示に移動するまで**GOTO**ボタンを繰り返し押します。**数字**または**矢印**ボタンを押して、 希望のトラックを選択したら**ENTER**ボタンを押します。



メモリー、自動続き再生



BD DVD DVD-A SACD CD

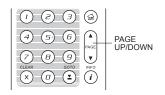
- 1. **STOP、OPEN、POWER**操作で再生が中断されると、プレーヤーは自動的 にその箇所を記録します。
- 2. 電源が切られたりディスクが交換されたりしても、記録された箇所の情報 は保持されます。
- 3. 中断箇所が記録されたディスクがセットされると、プレーヤーはその箇所からの再生を開始します。自動続き再生を中止して最初から再生を開始したい場合には、その旨入力が求められたときに**STOP**ボタンを押します。
- 4. プレーヤーは最大5枚までの再生箇所を記録します。6枚目の中断箇所が記録されると、1枚目の箇所記録は消去されます。

注

ブルーレイディスクの中には続き再生に対応せず、常に最初から再生開始するものもあります。

DVDオーディオディスクの画像表示





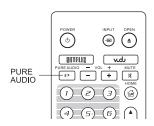
DVD-オーディオディスクの中には、バンドの写真やアルバムの解説といった静止画を収録したものがあります。DVDオーディオのトラック再生中にPAGE UPボタンを使って映像を先送りしたり、PAGE DOWNボタンで戻したりすることができます。

注

静止画を収録していない DVD オーディオディスクもあります。

Pure Audio モード





ビデオ処理と出力を止めることでより高音質のオーディオを楽しむことができます。このピュアオーディオモードはビデオ、オーディオ信号間の干渉を軽減します。

- 1. リモコンのPURE AUDIOボタンを押すと、ビデオ出力を中止してPure Audioモードに切り替わります。ビデオ出力を停止し、電源ライトが暗くなり、前面表示窓も表示されなくなります。
- 2. もう一度PURE AUDIOボタンを押すと、ビデオ出力が再開されてPure Audioを終了します。

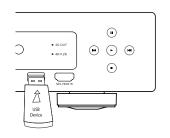
高度な操作

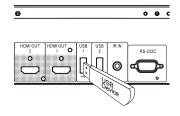
- プレーヤーの電源を切ったり再生を停止したりすると、Pure Audio モードは自動的に停止します。
- HDMIでは、オーディオとビデオの両方の信号が伝送されますので、HDMIのビデオ信号を完全に停止することはできません。代わりに黒い画面が送信されて、信号間の干渉リスクを最小にします。

メディアファイルの再生

ブルーレイ、DVD、CD、SACD等の標準ディスクフォーマット以外にも、BDP-103Dはメディアファイルが再生可能で、(記録用CD、DVD、ブルーレイといった)データディスクや外付けのUSBドライブに記録されたデジタル音楽、ムービー、写真を楽しむことができます。使用されるメディア、エンコード用ソフトウェアや技術の多様性から、すべてのユーザーファイルやダウンロードファイルの再生は保証できません。これらのコンテンツのサポートはベストエフォートとご理解ください。

USBフラッシュドライブからの再生



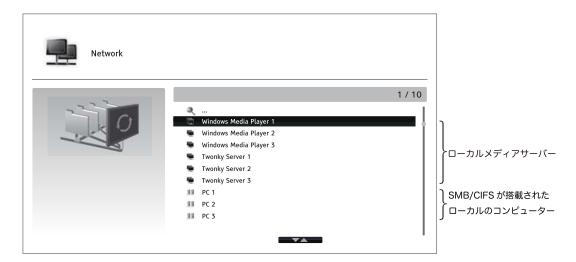


BDP-103Dは前面に1つ、背面に2つのUSBポートがあり、このポートにUSBドライブを接続することができます。

USBポートは最大5Vで1000mAの電力をUSBドライブに供給することができます。この電力はUSBフラッシュドライブやメモリーカードには十分ですが、USBハードディスクには不十分な場合があります。ドライブのメーカーに連絡したり、マニュアルを見て必要な電力を確認するか、外付け電源を使用するようにしてください。

- このプレーヤーは「USB Mass Storage Class Bulk-Only Transport (USBマスストレージクラスかつバルクオンリー転送対応)」のデバイスのみをサポートします。ほとんどのフラッシュドライブやポータブルディスクはこのクラスに準拠していますが、MP3プレーヤー、デジカメ、携帯電話の中には準拠していないものもあります。
- ・ サポートされているUSBドライブは、FAT (File Allocation Table)、FAT32、NTFS (New Technology File System) のファイルシステムとしてフォーマットが可能です。
- 互換性のないUSBデバイスを使用すると、プレーヤーの応答がなくなってしまうことがあります。このような場合には、プレーヤーの電源を切ってUSBデバイスを取り外してから、再度プレーヤーの電源を入れるようにしてください。
- メディアファイル閲覧中の反応を向上させるために、プレーヤーがUSBドライブにキャッシュファイルを作成することがあります(76ページ)。プレーヤーがUSBドライブに情報を書き込まないようにするには、Setup Menuの「Cache Media Info」オプションをOffに設定しますが、特に問題がなければこのオプションを有効に設定してキャッシュされたメディアのデータを削除しないようにすることをお薦めします。

家庭内ネットワークのメディア共有



BDP-103Dは、同じホームネットワークに接続しているメディアデバイスに保存された音楽、写真、ビデオのファイルをリモート再生することができます。この機能を利用するには、PCやNAS (Network Attached Storage) を準備して、DLNAやSMB/CIFS (ネットワーク共有プロトコル) クライアントと同等機能を持つソフトウェアをインストール、設定する必要があります。Setupメニュー(78ページ)で My NetworkをOnに設定し、リモコンのHOMEボタンを押してHomeメニューを立ち上げ、Networkのアイコンを選択してENTERボタンを押すと、利用可能なサーバーのリストが表示されます。BDP-103Dからサーバーが見えるようにするため、ファイアウォールを無効に設定する必要がある場合があります。

BDP-103Dは次の3種類のいずれかの方法でネットワーク共有を実行します:

- デジタルメディアプレーヤー (DMP) として: プレーヤーは、DLNA 同等の機能を持つローカルのメディアサーバーからコンテンツを検索、アクセス、引き出す (プルする) ことができます。
- デジタルメディアレンダラー (DMR) として: プレーヤーはデジタルメディアコントローラー (DMC) から受け取った (「プッシュされた」) コンテンツを再生します。DMC機能を持つメディアサーバーが必要です。設定および操作方法は、サーバーのユーザーマニュアルを参照してください。
- SMB/CIFSクライアントへのアクセスによって:外部USBハードディスクを使用しているときのように、 SMB/CIFSクライアントを通してプレーヤーはネットワークで直接共有ファイルにアクセスすることができます。 ほとんどのWindowsがインストールされたPCではすでにSMBクライアントが組み込まれています。SMB/CIFSの 共有ファイル/フォルダーの設定方法はOSのマニュアルを参照してください。

- NASはファイルベースのデータストレージサービスを提供するネットワーク機器で、製品として購入することができます。
- SMB (Server Message Block)やCIFS (Common Internet File System) は、一般的にはMicrosoftのWindowsネットワーク として知られており、メディアサーバーを別途準備する必要はありません。また、メディアフォーマット間のトランスコードの必要もないため、処理負荷を軽減したり元のコンテンツの品質を保持したりすることができます。
- NAS機器やメディアサーバーの性能差や設定の違いにより、ローカルネットワーク共有用ハードウェア/ソフトウェアの互換性はベストエフォートとご理解ください。

HOMEメニューのインターネットストリーミング

BDP-103DのHomeメニューは、光ディスク、USBフラッシュドライブ、外部ハードディスク、共有ホームネットワーク、インターネットストリーミングでメディアファイルを検索、再生するための機能を提供します。メディアファイルにアクセスするためのスタートポイントとして**Home**メニューをご利用ください。



リモコンのHOMEボタンでHomeメニューを立ち上げます。次の17種類の選択が可能です:

- **Disc**を選択すると、セットされた光ディスクの再生を開始します。
- Music、Movie、Photoは接続されたUSBドライブまたはセットされたデータディスクから、音楽、ムービー、写真のメディアファイルにアクセスします。
- **Network**はホームネットワーク上のメディアサーバーからオーディオ、ビデオ、写真をストリーム再生します。対応ハードウェアやソフトウェアが必要になる場合があります。
- Setupは、リモコンのSETUPボタンを押した時と同じくプレーヤーのSetupメニューを立ち上げます。
- Netflixは、ご使用のNetflixアカウントに接続してオンラインのムービーストリーミング機能を提供します。
- VUDUは、ご使用のVUDU HDムービーアカウントに接続してオンラインのムービーやテレビ番組のレンタル、購入、ストリーミング機能を提供します。
- CinemaNowは、で使用のCinemaNowムービーアカウントに接続してオンラインのムービーやテレビ 番組のレンタル、購入、ストリーミング機能を提供します。
- Film Freshは、で使用のアカウントに接続してオンラインのムービーやテレビ番組のレンタル、購入、 ストリーミング機能を提供します。
- YouTubeは、YouTubeから通常のテレビ視聴と同等のスムーズなHDビデオストリーミングを提供します。
- **Pandora**は、ご使用のPandoraアカウントに接続してカスタマイズされたインターネットラジオのサービス機能を提供します。
- **Rhapsody**は、ご使用のRhapsodyアカウントに接続してカスタマイズされたインターネット音楽のサービス機能を提供します。
- **Picasa**は、で使用のPicasaアカウントに接続してオンラインの写真表示と共有機能を提供します。

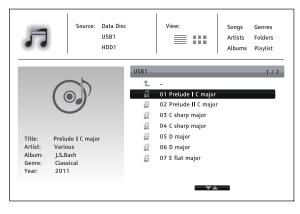
- ハードウェアとソフトウェア設定の多様性により、**Network**機能は正式サポートの対象ではありません。 このため、OPPOではこの機能に関しての電子メールや電話での技術サポートを提供していません。The wiki.oppodigital.comにあるOPPOのWikiは、この機能の情報を得るために有用です。
- インターネットストリーミングのアプリケーションにより BDP-103Dリモコンのボタンに割り当てられる機能が異なっている場合があります。NetflixやYoutubeを終了するにはHOMEボタンを押しますが、VUDU、Film Fresh、Picasaを終了するにはHOMEボタンを押すかHomeメニューが表示されるまでRETURNボタンを繰り返し押します。また、Pandoraを終了するにはHOMEボタンを押すかPandoraのメニュー選択でExit Pandoraを選びます。CinemaNowを終了するには、HOMEボタンを押すかCinemaNowのメニューでExitを選択します。サポートが必要な場合には、OPPOのカスタマーサポートまでご連絡ください。

音楽ファイルの再生



光ディスクやUSBドライブに記録されたデジタル音楽を 再生するには、HomeメニューでMusicを選択します。表 示されるファイルブラウザーでファイルやフォルダーを 検索することができます。

まず最初に音楽ファイルが収録されたデータディスクや USBデバイスを選択します。プレーヤーはメディアを読み込んで、数秒後にフォルダーと音楽ファイルを一覧表示します。



音楽のブラウザーでは次の操作を実行することができます:

- 上下矢印やPAGE **UP/DOWN**ボタンによるカーソル 移動と音楽ファイルの選択。
- **OPTION**ボタンによる音楽情報や曲順へのアクセス 機能 (24ページ)。
- TOP MENUボタンで、画面一番上のカテゴリーメニューに移動します。このメニューでは次の選択が可能です:
 - **o Source** 接続されている別のストレージデバイスに切り替えることができます。
 - O View 一覧とフォルダーのビューを切り替えることができます。
 - Sort 音楽ファイル/フォルダーを、曲名、アーティスト、アルバム、ジャンル等のカテゴリーにした がって一覧表示します。
- 音楽ファイルがカーソルでハイライト表示されているときにENTERやPLAYボタンを押すと再生が開始します

• データディスクやUSBドライブがセットされると、プレーヤーは自動的にファイルのインデックス作成によるデータベースの構築をバックグラウンド処理で開始します。ファイルの数やサイズによってはこの処理に数分を要することがあります。データベースの構築後にカテゴリーのリスト(アーティスト、アルバム、ジャンル)へのアクセスが可能となります。構築中にカテゴリーリストにアクセスしようとすると、警告メッセージが表示されます。

音楽ファイルの再生が開始されてからその他の操作を行わない場合、数秒後にNow Playingの表示に切り替わります。OPTIONボタンを押してNow Playingを選択することによってもこの表示に切り替えることが可能です。この画面には以下の情報が表示されます:

- 再生状態表示: 再生、停止、一時停止、トラック、時間情報。
- 再生モードの表示と変更: シャッフル/ランダム、再生中のファイルの繰り返し/すべてのファイルの繰り返し。
- 音楽情報: ファイルに記録されているか、Gracenoteオンラインデータベースによるアルバムアートやタグ 等の情報。



Now Playing画面の表示中には次の操作を実行することができます:

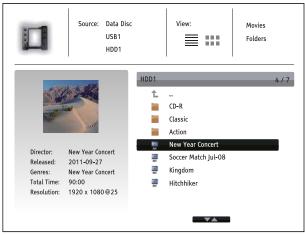
- 標準の再生コントロール: PLAY、STOP、PAUSE、 PREV/NEXT、REV、FWD
- 特別な再生モード: REPEAT、シャッフル/ランダム (BLUEボタン)
- OPTIONボタンを押すとOptionメニューが表示されます (24ページ)。
- 音楽再生を中止しないでブラウザーに戻る: RETURN
- 再生を中止してブラウザーに戻る: STOP

ムービーファイルの再生



光ディスクやUSBドライブに記録されたデジタル音楽を再生するには、HomeメニューでMovieを選択します。表示されるファイルブラウザーでファイルやフォルダーを検索することができます。

まず最初にムービーファイルが収録されたデータディスクやUSBデバイスを選択します。プレーヤーはメディアを読み込んで、数秒後にフォルダーとムービーファイルを一覧表示します。



ムービーのブラウザーでは次の操作を実行することができます:

- **上下矢印**やPAGE UP/DOWNボタンによるカーソル移動 とムービーファイルの選択。
- OPTIONボタンによるビデオ情報等へのアクセス機能 (24ページ)。
- TOP MENUボタンで、画面一番上のカテゴリーメニュー に移動します。このメニューの機能は音楽ファイルの再 生 (43ページ) の説明と同じです。

• ムービーファイルがカーソルでハイライト表示されているときにENTERや再生ボタンを押すと再生が開始します。

ムービーファイルの再生が開始されると、通常の再生コントロールを使用することができるようになります:

- ムービーの再生を中止してファイルブラウザーに戻るにはSTOPボタンを押します。また、HOMEボタンを押すといつでも再生を中止してHomeメニューに戻ることができます。
- OPTIONボタンを押すと、ビデオ情報、字幕移動、3D調整、映像拡大等の情報にアクセスができます (24ページ)。

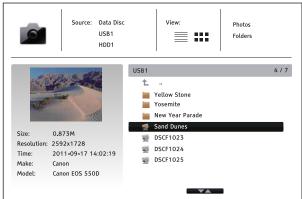
写真ファイルの再生



光ディスクやUSBドライブに記録されたデジタルの写真ファイルを再生するには、HomeメニューでPhotoを選択します。表示されるファイルブラウザーでファイルやフォルダーを検索することができます。

まず最初に写真ファイルが収録されたデータディスクや USBデバイスを選択します。プレーヤーはメディアを読み込んで、数秒後にフォルダーと写真ファイルを一覧表示します。

写真のブラウザーでは次の操作を実行することができます:



- **上下矢印やPAGE UP/DOWN**ボタンによるカーソル移動 と写真ファイルの選択。
- **TOP MENU**ボタンで、画面一番上のカテゴリーメニュー に移動します。
- 写真ファイルがカーソルでハイライト表示されている ときにENTERやPLAYボタンを押すと、フルスクリーン のスライドショーで写真の再生が開始されます。

写真のスライドショー再牛中には次の操作を実行することができます:

- ヘルプスクリーンの表示: INFO
- 標準の再生コントロール: PLAY、STOP、PAUSE、PREV/NEXT
- スライドショーの速度調節: REV、FWD
- 拡大: **ZOOM**。拡大表示後は**矢印**ボタンを使用して写真をパン移動することができます。
- 反映 (写真を水平方向に反転して倒置します): **上矢印**
- 鏡映 (写真を垂直方向に反転して鏡像にします): **下矢印**
- 左方向回転 (反時計回り): 左矢印
- 右方向回転 (時計回り): 右矢印
- 繰り返し: REPEAT
- 概要モードの写真表示: REDボタン。概要モードでは、画面に写真のサムネールが表示されて写真間の移動、 選択をかんたんに実行することができます。
- EXIF情報の表示: **GREEN**ボタン。
- ランダムな順序での再生: BLUEボタン。
- スライドショーの画面転換効果の変更: YELLOWボタン。
- OPTIONボタンを押すと、イメージの拡大、回転等の機能にアクセスすることができます (24ページ)。

バックグラウンドミュージックの再生

写真のスライドショーでバックグラウンドミュージックを再生することができます。このためにデジタルの音楽ファイルを準備します。この音楽ファイルの保存先は写真と同じディスクでも別のUSBでも構いません。最初にHomeメニューでMusicを選択して音楽の再生を開始し、続いてPhotoを選択してスライドショーを開始します。

SETUPメニューのオプション

BDP-103Dの**Setupメニュー**には多様な設定、構成オプションがありますが、出荷時の設定で十分で変更の必要がない場合かほとんどです。もしホームシアターの設定やお好みの視聴環境に完璧に合うようにプレーヤーを調整する必要がある場合には、この後の説明で詳細を参照してください。

Setupメニューシステムの使用

このユーザーガイドの他の項目でも説明されているように、プレーヤーの**Setupメニュー**では特定のオーディオ/ビデオの構成に合致するように調節を実行することができます。メニューを使って調節を行うとき、目的の機能へ到達するためのメニュー手順を示すために以下のような表記を使用します:

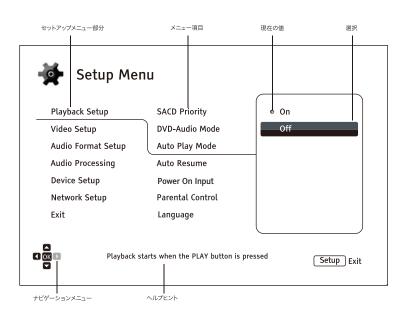
Setupメニュー部分 > メニュー項目 > 選択

Setupメニュー部分は、**Setupメニュー**階層最上位のレベルです。BDP-103Dでは**Setupメニュー**は次の6つの部分に分割されています: **Playback Setup、Video Setup、Audio Format Setup、Audio Processing、Device Setup、Network Setup。**

メニュー項目はSetupメニュー中央の列に表示される調節パラメーターです。Setupメニュー部分で選択した部分に進むと、メニュー項目のリストと現在の設定値が枠に囲まれて一覧表示されます。

選択が、選択されたパラメーターに加えられようとしている実際の値や内容を表し、対応する**メニュー項目**の右側に表示されます。

メニュー項目や選択が画面に収まりきらない場合は、**スクロールマーク**がメニューの上や下に表示されます。**上下矢印**ボタンで表示をスクロールして、表示外の項目にアクセスすることができます。

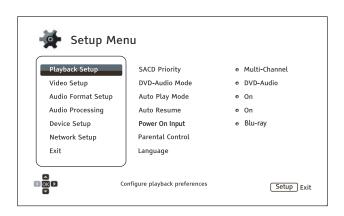


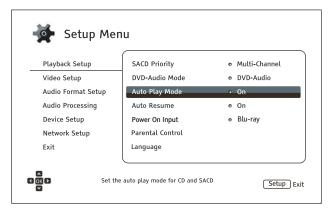
上の図には、これまで説明してきたメニュー要素とその関係がわかりやすく示されています。この画面を例に取れば、Playback Setup部分のAuto Play ModeのパラメーターをOffに設定する方法が示されています。どのようにしてこの項目にアクセスしたかを示すために次のような表記を行います: Playback Setup > Auto Play Mode > Off。

一部の設定項目が灰色表示されてアクセスできないことがありますが、再生中のディスクや相互関連する項目の変更に起因している場合があります。このようなときには設定項目を変更する前に再生を中止してディスクを取り出してみてください。それでも設定項目にアクセスできない場合には、構成に矛盾がないか確認してください。たとえば、Video Setup > 3D OutputがOffに設定されていると、3D Settingのメニューは灰色表示になってしまいますが、Setting 3D Outputを強制 (または自動) に設定すると 3D Settingメニューにアクセスできるようになります。

プレーヤーの**Setupメニュー**にアクセスするには、リモコンの**SETUP**ボタンを押します。ディスクの再生中は **Setupメニュー**オプションの一部がアクセスできなくなることがありますので、再生が完全に停止した状態か、プレーヤーにディスクがセットされていない状態で、**Setupメニュー**の操作を行うようにしてください。

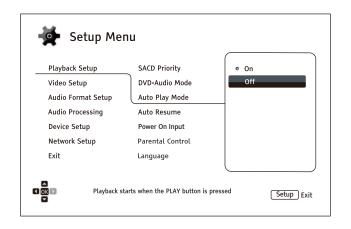
1. リモコンのSETUPボタンを押して、テレビ画面に次のメニューを表示します:





- 2. **上下矢印**ボタンで希望の部分を選択し、**ENTER**ボタンか**右矢印**ボタンで選択した部分に進みます。
- 3. 上下矢印ボタンで変更する設定項目を選択したら、ENTERか右矢印ボタンで設定を変更します。Setupメニューの上下部分にスクロールアイコンが表示された場合には、上下矢印ボタンでスクロールすることによってアクセスが可能な表示されている以外のメニュー項目があることを表します。

たとえば、Playback Setup部分で上下矢印ボタンを使ってAuto Play Mode設定項目を選択し、ENTERボタンを押してAuto Play Modeの設定を変更します。



4. 設定可能な値をリストから選択するには、上 下矢印ボタンで値を選択してからENTERボタ ンで確定します。

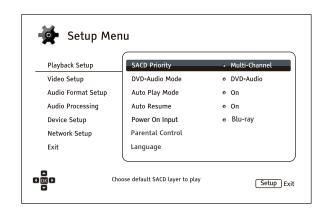
たとえば、Auto Play ModeにOffを選択するには、上下矢印ボタンを使ってOffをハイライト表示して、ENTERボタンを押します。

5. リモコンのSETUPボタンを押すかSetup Menu部分でExitを選択すると、いつでも Setup Menuを終了することができます。

プレーヤー前面またはリモコンの電源ボタンでプレーヤーの電源が切られると、設定が記録されますが、プレーヤーがスタンバイモードになる前にAC電源が切断されてしまうと、設定は保存されません。設定がきちんと保存されるようにするには、Setup Menuのオプションに大きな変更を加えた後にいったんプレーヤーの電源を落としてから再度電源を投入するようにします。

Playback Setup

Playback Setup部分では再生の設定を行いますが、次の項目を設定することができます:



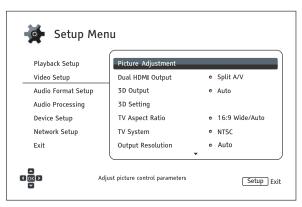
- 1. **SACD Priority**: SACD (スーパーオーディオCD) でどのオーディオレイヤーを再生するか選択します。
 - Multi-Channel 高解像度のマルチチャンネルサラウンドオーディオレイヤーを再生します。
 - Stereo 高解像度の2チャンネルステレオオーディオレイヤーを再生します。
 - CD Mode ハイブリッドSACDディスクのCDレイヤーを再生します。
- 2. **DVD-Audio Mode**: DVDオーディオのどの部分を再生するか選択します。
 - **DVD-Audio** 高解像度オーディオディスクのDVDオーディオ部分を再生します。
 - **DVD-Video** Dolbyデジタル、DTSオーディオディスクのDVDビデオ部分を再生します。
- 3. Auto Play Mode: プレーヤーがCD、SACD、DVD、Blu-rayを自動再生開始するかどうかを選択します。
 - On ディスクがプレーヤーにセットされると、自動的に再生を開始します。
 - Off ユーザーがPLAYボタンで再生開始するのを待ちます。
- 4. **Auto Resume**: 記憶させた箇所から再生を再開するかどうかを選択します。この設定は、CD、SACD、DVD、および一部のブルーレイディスクに適用されます。
 - On 記憶させた箇所から再生を自動的に再開します。
 - **Off** ディスクの最初から再生を開始します。
- 5. **Power On Input** (電源投入時の入力): 電源投入時に選択される入力ソースを設定することができます。特定のプレーヤーを専用のプロセッサーあるいはプリアンプとして使う場合にのみこのオプションを設定するようにしてください。
 - **Blu-Ray** (出荷時設定) 起動時に通常のBlu-Rayのホームメニューが表示されます。通常の使用にはこの設定をお薦めします。
 - Last Input (最後の入力) 起動時に直前に使用していた入力が選択されます。入力機器の状態によっては何も表示されなかったり、「No signal (無信号)」の警告メッセージが表示されたりするかも知れません。
- 6. **Parental Control**: 若年者が不適切なコンテンツを見ないように視聴制限レベルを設定することができます。この機能を利用するには、ディスクが適切な制限年齢を使用してエンコードされている必要があります。
 - ENTERボタンで制限年齢の選択メニューを立ち上げます。
 - 視聴制限用のパスワードを入力してから、視聴制限設定を調節します。視聴制限用のパスワードが未設定の場合、工場出荷時のパスワード「0000」を使用してください。
 - Parental Control Menuでは以下の項目が設定できます:

- **BD Ratings 上下矢印**ボタンでブルーレイディスクの年齢制限を設定します。**Off**に設定すると、年齢制限が解除されてすべてのディスクが再生可能になります。1から21までの数字は制限年齢に対応します。設定した年齢以下の制限年齢でディスクがエンコードされていれば再生が可能になりますが、ディスクが設定された年齢を超える年齢制限を持つ場合には再生することはできなくなります。
- **DVD Ratings 上下矢印**ボタンでDVDの年齢制限を設定します。Kid、G、PG、PG-13、PGR、R、NC-17、Adult、Offの中から選択が可能です。設定された年齢以下のディスクは再生可能になりますが、設定年齢を超えるディスクの再生はブロックされます。**Off**に設定するとすべてのディスクが再生可能になります。
- Area Code ブルーレイディスクの中には、地域ごとに異なる視聴制限のレベルが設定されているものがありますが、現時点でこのプレーヤーは米国での視聴制限レベルのみに対応しています。
- Change Password 視聴制限用のパスワードを変更します。4桁の数字を入力して新しいパスワードを設定してください。確認のため同じパスワードを再入力します。パスワードに間違いがないことが確認されると、視聴制限用の新しいパスワードが有効となります。
- 7. Language: 優先言語を設定します。以下の項目が設定可能です:
 - Player Language Setup Menuやオンスクリーン表示で使用される言語を選択します。現時点では10 種類の言語に対応しています。
 - **Disc Menu Language** DVDやブルーレイのディスクメニュー表示で使用する優先言語が選択できます。指定した言語のディスクメニューが収録されている場合には、デフォルトのディスクメニューではなく、指定した言語でメニューが表示されます。
 - Audio Language DVD、ブルーレイディスクで、優先言語を選択します。選択された言語のオーディ オトラックがディスクに存在する場合には、その言語でオーディオが再生されます。
 - Subtitle Language DVDの優先字幕言語を選択します。指定した言語の字幕が存在する場合には、その言語が字幕に使用されます。Autoが指定されると、字幕表示はディスクの設定により決定されます。

優先指定したい言語がオーディオ、字幕、ディスクメニューのオプションの言語一覧に存在しない場合には、「Other」を選択して85ページの言語コードを直接入力してください。

Video Setup

Setup MenuのVideo Setup部分ではビデオ出力オプションの設定をすることができます。



- 1. **Picture Adjustment**: 映像の制御設定を調節することができます。BDP-103Dでは、広範囲の映像制御が可能です。個々の制御の詳細は**Picture Adjustment**の部分 (57ページ) を参照してください。
- 2. **Dual HDMI Output**: HDMI Output ポートが両方とも使用されている場合の出力モードを選択します。HDMI ポートが1つしか使用されていない場合には、ここでの設定は適用されません。
 - Split A/V (推奨設定) HDMI 1 OUTをビデオ専用出力ポート、HDMI 2 OUTをオーディオ専用出力ポートとして使用します。この設定では、最高画質の映像と最高のオーディオ解像度を得ることができます。
 - **Dual Display** デジタルのオーディオとビデオ信号を両方のHDMI出力に同時送信します。この設定では、サラウンドサウンドのオーディオがステレオにダウンミックスされて元のオーディオ品質が失われてしまう可能性があるため、本当に2つのHDMI表示が必要な場合以外にはお薦めできません。

- 接続されたテレビとレシーバーが対応している必要がありますが、このプレーヤーにはデジタルオーディ オとビデオ信号の解像度を自動調整する機能があります。
- Source Directを選択してDarbeeやSilicon Imageのビデオプロセッサーをバイパスしない場合には、HDMI 1 OUT専用のDarbee Visual PresenceおよびSilicon Image VRSClearViewビデオプロセッサーが使用されます。
- **Split A/V**モードでは、HDMI 1 OUTにオーディオのないビデオのみが出力されますが、HDMI 2 OUTにはオーディオに加えてビデオが出力されることがあります。これは、HDMIではオーディオがビデオデータに組み込まれるためで、オーディオを送信するために、空白画面でも構いませんが、ビデオ信号が必要となるからです。
- 3. **3D Output**: 3Dコンテンツのビデオ出力モードを選択します。
 - Auto ディスクコンテンツとディスプレイの両方が対応している場合に3D出力します。プレーヤーは、ディスクの3Dコンテンツの有無とテレビやプロジェクターの3D互換性を自動的に確認し、両方の確認が取れた場合にHDMI出力端子から3Dビデオを送信します。これ以外の場合には2Dビデオが出力されます。3Dムービーを鑑賞するには、3Dメガネ (OPPOからは販売されていません) が必要になります。
 - **Off** ディスクに3Dのコンテンツがあっても、常に2Dビデオフォーマットで出力します。ご使用のテレビが3D対応でない場合や3Dメガネがない場合等のビデオ品質が保証されます。
 - **Forced** 3Dのブルーレイディスクで常に3Dのビデオフォーマット出力を行います。お使いのテレビ が3D対応でない場合には、(ビデを出力のない) 黒い画面が表示されることがあります。
- 4. **3D Setting**: 3Dの視聴品質を向上するために再生の設定を調節します。

- **Blank HDMI 2** (Yes/No) HDMI1 OUTで3Dビデオの出力時に、HDMI 2 OUTが2Dのブランクスクリーンを出力するように強制的に設定することができます。3Dムービー再生時にHDMI 1が3Dディスプレイに接続され、HDMI 2が同じ3Dディスプレイに非対応のレシーバー経由で接続されていると、レシーバーからオーディオが出力されないことがありますが、この設定を「**Yes**」に設定することで問題を解決することができます。
- **2D->3D Depth** 2Dから3Dへの変換 (「Simulated 3D」とも呼ばれます) を実行する場合の3D奥行き 感覚を調節します。出荷時の設定値は8です。
- **3D TV Size** 3D HDTVの対角画面サイズを入力します。この設定は3Dモードのみに適用されます。リモコンの数字ボタンを使用してテレビ画面の対角サイズを入力し、**ENTER**ボタンで確定します。出荷時の設定は46インチです。
- 5. TV Aspect Ratio: プレーヤー出力画像の横縦比を設定します。
 - **16:9 Wide** ディスプレイが16:9のワイドスクリーンのときに選択します。16:9のソースはそのままネイティブな横縦比で表示され、4:3のソースは水平方向に拡大表示されます。
 - **16:9 Wide/Auto** ディスプレイが16:9のワイドスクリーンのときに選択します。 16:9のソースはそのままネイティブな横縦比で表示され、4:3のソースは左右両端に黒いブロックが表示されて元の横縦比を維持します。

適切なテレビの横縦比を選択するには、本マニュアルの表示の横縦比決定 (23ページ) を参照してください。

- 6. **TV System**: テレビの種類と一致するように出力ビデオシステムや放送フォーマット (PAL/NTSC) を選択します。
 - NTSC (出荷時設定) NTSCでエンコードされたディスクの再生時にはシステムの変換は実行されません。PALでエンコードされたコンテンツはNTSC出力に変換されます。また、24Hzのフレームレートでエンコードされたブルーレイディスクは、出力解像度で1080p24もSource Directも設定されていない場合には60Hzに変換されます。
 - PAL PALでエンコードされたディスクの再生時にはシステムの変換は実行されません。NTSCでエンコードされたコンテンツはPAL出力に変更されます。また、24Hzのフレームレートでエンコードされたブルーレイディスクは、出力解像度で1080p24もSource Directも設定されていない場合には50Hzに変換されます。
 - Multi-system システムの変換は実行されません。出力ビデオのシステムはディスクがエンコードされたシステムとなります。24Hzのフレームレートでエンコードされたブルーレイディスクは、出力解像度で1080p24もSource Directも設定されていない場合には60Hzに変換されます。NTSC、PAL両方のシステムに対応したテレビが必要となります。

注

お持ちのテレビがNTSCとPALの両方に対応していない場合には、**Multi-system**は選択しないでください。テレビがサポートしていないシステムでエンコードされたディスクをセットすると、テレビ画面に何も表示されなくなってしまうことがあります。このような場合には、**OPEN**ボタンを押してディスクを取り出し、Setup Menuで正しく**TV System**を設定し直してください。

- 7. **Output Resolution**: お使いのテレビのネイティブな解像度に一番適合する出力解像度を選択します。適切な出力解像度の選択方法に関する詳しい説明は、本マニュアルの**最適な出力解像度の選択** (22ページ) を参照してください。
- 8. **1080p24 Output**: 1080p 24Hzの出力オプションを設定します。このオプションは1080p解像度のHDMI出力にのみ適用されます。劇場映画のブルーレイディスクの多くは、元のフィルムと同じく24Hzのフレームレートでエンコードされています。テレビが1080p 24Hzに適切に対応している場合には、**1080p24 Output**を有効に設定することで、これらのディスクでより滑らかな動きを得ることができます。

- **Auto** (出荷時設定) 24Hzのフレームレートでエンコードされたビデオは、テレビが1080p24信号に対応しているとプレーヤーが認識した場合、1080p 24Hzで出力されます。
- **Forced** 24Hzのフレームレートでエンコードされたビデオは、テレビが1080p24信号に対応しているかどうかに関わらず、1080p 24Hzで出力されます。この設定はテレビが実際は1080p24に対応しているも関わらず、プレーヤーに認識させることができない場合に有用です。テレビが1080p24対応でなにい場合、このオプションを選択すると何も表示されなくなってしまいます。
- **Off** 24Hzのフレームレートでエンコードされたビデオは、60Hz (NTSC) か50Hz (PAL) に変更されます。
- 9. **DVD 24p Conversion**: DVDで24Hzのフレームレート変換を有効にします。**1080p24 Output**が(**Auto**または**On**に)設定された場合にのみこのオプションが有効になります。劇場映画から作られたDVDの多くは「3:2 テレシネ」という方法で毎秒24フレームから60Hzのビデオ信号に変換されてエンコードされます。プレーヤーは60Hz ビデオ信号を毎秒24フレームのフィルムに逆変換し、1080P/24Hzとして出力することができます。このオプションを設定すると、テレビとDVDディスクの両方が上記の変換条件を満たしている場合には、より滑らかな動きを得ることができます。設定可能なオプションは次の通りです:
 - **On** 可能な場合にはDVDを24Hzのフレームレートに変換します。DVDがこの変換に適していない場合には、エラーが発生する場合があります。
 - **Off** (出荷時設定) DVDを24Hzのフレームレートに変換しません。
- 10. **4kx2k Output**: 4kx2k解像度の出力オプションを設定します。このオプションは4kx2k解像度のHDMI出力にのみ適用となります。
 - **Auto** (default) ディスプレイで4kx2k解像度がサポートされている場合、コンテンツは4Kアップスケーリング出力されます。プレーヤーはTVやプロジェクターの4K互換性を自動的に確認します。24Hz(または23.976Hz)フレームレートのコンテンツを再生し、ディスプレイに互換性がある場合はHDMI出力から4kx2k映像が出力されます。それ以外では、ディスプレイの能力にも依りますが1080p以下の解像度でHDMI映像が出力されます。
 - **Forced** TVやプロジェクターでサポートされているかどうかに関わらず常に4kx2k映像フォーマットを出力します。再生コンテンツは4kアップスケーリングされます。ディスプレイに4k互換性がない場合、黒い画面が表示される、あるいはビデオ信号が無いという状態になります。コンテンツが50Hzまたは60Hz(59.95Hz)フレームレートの場合、4kx2kでは25Hzまたは30Hz(29.97Hz)で出力され、フレームレート変換が行われることによりビデオ品質が最適ではなくなる場合があります。
- 11. **HDMI Options**: HDMI出力にのみ適用されるビデオオプションを設定します。選択すると、各種オプションを設定するサブメニューが表示されます。各オプションの詳細はHDMI Options(ページ61) を参照してください。
- 12. **Display Options** オンスクリーン情報を表示するためのオプションを設定します。
 - Subtitle Shift 字幕の表示位置を設定します。

Subtitle Shiftが0 (出荷時設定) に設定されると、ディスクに指定されている位置に字幕が表示されます。 1から10の間の値が指定されると、字幕は上方向に移動します。また、-1から-10の間に設定されると、字幕は下方向に移動します。この機能は、2.35:1の「Constant Image Height」ビデオ投影システムを使用している場合に有用で、字幕が欠けて表示されないように、アクティブなビデオ領域内に上下移動させることができます。SUBTITLE ボタンを3秒間長押しすることによってもこの設定を行うことができます。

• **OSD Position** – オンスクリーン表示 (OSD) の位置を設定します。

OSD Positionの設定が0の場合、OSDはビデオ画面の上端と下端に表示されます。 1から5の間の値に設定されると、OSDはビデオ画面の中央方向に移動します。

上記の字幕移動設定と同様に、**OSD Position**機能は2.35:1の「Constant Image Height」ビデオ投影システムを使用している場合に有用です。

- OSD Mode (PAUSE、STOP、SKIP等) のような 再生操作アイコン等のオンスクリーン表示 (OSD) 情報をどのくらいの時間テレビ画面に表示しておくかを選択します。
 - ▶ Normal ユーザーがキャンセルするまでOSD情報はテレビ画面に表示されます。
 - ➤ Minimal OSD情報は数秒間だけテレビ画面に表示された後消去されます。前面表示窓には選択された表示情報が保持されます。
 - ➤ Remaining OSD情報はユーザーがキャンセルするまでテレビ画面に表示されますが、経過時間ではなく残り時間が表示されます。
 - ▶ **Off** INFOボタンを押さない限りOSD情報はテレビ画面に表示されません。通常の使用ではこの設定はお薦めしません。
- Angle Mark (On/Off) 複数アングルの映像が記録されているDVD、ブルーレイディスクでアングルの アイコン表示有無を切り替えます。アングルマークを非表示にすると映画視聴に集中できるようになり ます。
- Screen Saver スクリーンセーバー機能の使用/非使用を切り替えます。スクリーンセーバーは、プラズマやブラウン管ディスプレイ機器が焼き付く危険性を軽減するためのものです。
 - ➤ **On** (推奨設定) 3分程度何も操作しないと、黒い背景でOPPOのロゴが動き回るスクリーンセーバーが表示されます。画面の大半が休止状態となると同時に画面全体が均等に更新されるようになります。
 - ➤ **Off** スクリーンセーバーは使われません。テレビが焼き付く心配がない場合にのみこの設定を使用します。
 - ➤ Energy Saver 何も操作しないと3分後にビデオ出力を中止します。プロジェクターや液晶テレビ の多くは、スタンバイやスリープモードになり投影ランプやバックライトを消灯し、エネルギーの 削減やライト寿命の延長に努めます。OPPOリモコンやプレーヤー前面のボタンのどれかを押すと、スクリーンセーバーが終了してビデオ出力が再開されます。テレビがスタンバイやスリープモード になっている場合には、テレビのリモコンを操作して復帰させる必要があるかも知れません

Picture Adjustment

Picture AdjustmentはVideo Setupメニュー中の特別な部分で、映像品質を最適化するために各種映像制御パラメーターを微調整することができます。Picture Adjustmentメニューを使用するには、リモコンのSETUPボタンを押してSetup Menuを立ち上げ、Video Setup > Picture Adjustmentで調節するビデオ出力を選択します:



左右矢印でビデオ出力を選択し、ENTERボタンでPicture Adjustmentメニューを立ち上げます。選択されたビデオ出力によってPicture Adjustmentメニューの内容は少し異なります:

HDMI 1					
	Picture Mode	4		Mode 1	•
•	Brightness	0	-16 💂	ļ	+16
	Contrast	0	-16 =		+16
	Hue	0	-16 =		+16
	Saturation	0	-16 =		+16
	Noise Reduction	0	0 _		+3
DARBEE VIEW PRESENCE.	Darbee Mode	◀		Off	>
	Darbee Level	0%	0 =		120%
	Demo Mode	4		Off	•
VRSClearView	Detail Enhancement	0	-16 =		+16
	Edge Enhancement	0	-16 =	ļ	+16
	Video Smoothing	0	0 .		+4
	Demo Mode	◀		Off	•
Exit					

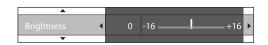
HDMI 1のPicture Adjustmentメニュー

HDMI 2					
Picture Mode	4	Mode 1			
Brightness	0	-16	+16		
Contrast	0	-16	+16		
Hue	0	-16	+16		
Saturation	0	-16	+16		
Sharpness	0	0	+2		
Noise Reduction	0	0	+3		
Exit					

HDMI 2のPicture Adjustmentメニュー

Picture Adjustmentのパラメーターを変更するには、**上下矢印**ボタンを使用してパラメーターを選択し、さらに**左右矢印**ボタンで値を変更します。

映像制御パラメーターの調節を容易にするため、**左右矢印**ボタンを押すとPicture Adjustmentのメニューは調節中のパラメーターのみを表示するようになります(ただし、**Picture Mode**は例外で、モード名をMode 1、2、3と切り替えると、その他のパラメーターは自動的に保存されている値に調節されます)。縮小メニューは画面下部に表示されます。



左右矢印ボタンで選択したパラメーターの調節を続けることができます。他のパラメーターを選択するには、**上下矢印**ボタンを使用します。また、ENTERボタンを押すとPicture Adjustmentメインメニューに戻ります。

Picture Adjustmentメニューを終了してSetup Menuに戻るには、このメニューでExitを選択してやるかRETURN ボタンを押します。

HDMI 1、2ともに、次の映像調節制御を行うことができます:

- 1. **Picture Mode**: ユーザーが保存したカスタムな映像モードを選択します。BDP-103Dでは最大3つのカスタムモードが保存できます。**左右矢印**ボタンでモードを切り替えると、すべてのパラメーターは保存された値に自動的に調節されます。このメニューで変更されたパラメーターの値は、**Picture Ad-iustment**画面を終了したときか別の**Picture Mode**に切り替えたときに自動的に保存されます。
- 2. **Brightness**: ビデオ出力の明るさ (黒レベル) を調節します。
- 3. **Contrast**: ビデオ出力のコントラスト (白レベル) を調節します。

注

高品質のビデオ出力には、適切な明るさとコントラストの設定が必要です。黒および白のレベルが適正でないと、映像が色落ちしたようになったり暗いシーンで細部が不明瞭になったりすることがあります。テレビでもブライトネス(黒レベル)やコントラスト(白レベル)の制御が可能ですが、最適な結果を得るにはプレーヤーとテレビの両方の調節が必要になる場合があります。 Spears & Munsil™社のHigh Definition Benchmark Blu-ray Editionや Digital Video Essentials HD Basicsのような較正用のディスクを調整用の補助として使うことをお薦めします。 まず、テレビの映像が最適になるように調整してから、さらに良い結果が得られるようにプレーヤーの設定を調節するようにしてください。

- 4. Hue: ビデオ出力の色相 (色合い) を調節します。
- 5. Saturation: ビデオ出力の彩度 (色明度レベル、色の濃さ) を調節します
- 6. Noise Reduction: プレーヤーでビデオノイズ軽減処理を適用するかどうかを選択します。出荷時設定はレベル0で、ノイズ軽減処理は行われません。レベルを0から増やすと、プレーヤーがビデオノイズ軽減処理を実行して画質を調節します。高いレベルでは、より強力なノイズ軽減機能が使われますが、細部情報が失われてしまうことがあります。このため、適切なエンコードや圧縮が行われていなくて、明らかに人工的なノイズが見られるビデオに対してのみノイズ軽減機能を使うことをお薦めします。

以下の画像調節機能はHDMI 1ビデオ出力でのみ設定可能です:

- 7. **Darbee Mode**: 適切なDarbee Visual Presence Viewing Modeを設定することができます。ビデオのコンテンツに応じて次のオプションが選択可能です:
 - Hi-Def Blu-rayをはじめとする (720p、1080i、1080pの).高画質ビデオソース用です。元のビデオ の雰囲気を保ったまま驚くほどの明瞭さと深みを付加するため、エレガントで洗練された感じの リアリズムに改善されます。
 - Gaming ビデオゲームや映画その他の高画質ビデオソース用コンピューター生成画像 (CGI) 用で、ビデオゲームファンが歓迎するような強い深み、分離、明瞭度を追加します。ビデオゲーム機器をプレーヤーのHDMI入力経由で接続する場合に使用をお薦めします。
 - Full Pop 低解像度や低品質のビデオに有効で、最高度の深みとリアリズムを付加しますが、テキスト表示が不自然になることがあります。
 - Off (出荷時設定) Darbee Visual Presenceは完全にバイパスされ、入力ビデオには何の処理も行われません。 このモードではDarbee LevelとDemo Mode (Darbee) は調節できません。
- 8. **Darbee Level**: お好みに応じて、お使いのテレビや視聴環境に最適なレベルにDarbee Visual Presence 処理のレベルを調節することができます。リモコンの**左右矢印**ボタンを使って、0から120%の範囲のレベルを1%刻みで調節します。0に設定すると処理がバイパスされ、Darbee Modeを「**Off**」に設定するのと同じことになります。
- 9. **Demo Mode (Darbee Visual Presence)**: Darbee Visual Presenceビデオ処理技術デモ用の特別な分割画面モードですが、Darbee Modeや Darbee Levelの調節用として利用することもできます。通常のビデオ視聴には使用しないでください。次のオプションが設定可能です:
 - Split Screen ビデオ表示が半分に分割され、左側はDarbee Visual Presenceビデオ処理結果、右側はDarbee Visual Presence処理を行わないビデオ画面となります。
 - Swipe Screen このモードは、Split Screenモードと同様ですが、分割画面が左から右に連続的に 移動して、ビデオ画面のどの部分が処理されているかが分かるようになっています。
 - Off (出荷時設定) 標準の表示モードです。

- リモコンのDARBEEボタンを押すことでダイレクトにDarbee Adjustment Menuへアクセスすることができます。メニュー上では、矢印ボタンを上下することでDarbeeモードを選択することができ、矢印ボタンの左右でDarbeeレベルを調節することができます。また、カラーボタン(RED、GREEN、BLUE)でDarbeeデモモードを変更することができます。
- 10. **Detail Enhancement**: (General Sharpningとも呼ばれる) ビデオ出力のシャープネスレベルを設定します。改善レベルは-16から+16の間で設定が可能ですが、出荷時の設定は輪郭強調機能を使わない0になっています。負の値を設定するとビデオの過剰な輪郭強調を軽減することができますが、映像がソフトに見えてしまうかも知れません。正の大きな値になるほど輪郭強調が強くなりますが、シャープネスを強調しすぎると周りの輪郭が白いエッチング線のように見えてしまうことがあります。 Detail EnhancementとEdge Enhancementを併用して、最適な結果を得ることができます。
- 11. **Edge Enhancement**: (Edge-Qualified Sharpeningとも呼ばれ) ビデオの輪郭線のシャープネスを設定することができます。改善レベルは-16から+16の間で設定が可能ですが、出荷時の設定は輪郭強調機能を使わない0になっています。負の値を設定するとビデオの過剰な輪郭強調の軽減、正の値では輪郭線の強調をすることができます。Edge EnhancementとDetail Enhancementを併用して、最適な結果を得ることができます。

- Detail EnhancementとEdge Enhancementは似たような効果を持ちますが微妙な差があります。 Detail Enhancementは、「クリーン」でノイズのないソースで最高の性能を発揮しますが、Edge Enhancementはそれほどクリーンではないソースでも良好な結果を得ることができ、ノイズを目立たせることなく輪郭を強調することができます。
- Detail EnhancementとEdge Enhancementは組み合わせることができ、両方の輪郭強調効果は重ね合わされます。使用例としては、General Sharpningを実行して画像全体の細部を強調し、輪郭が強調されすぎた場合に負のEdge-Qualified Sharpeningを使って輪郭の過剰な強調を緩和したり、ノイズの多い画像にGeneral Sharpningを実行てノイズの増大が気になるような場合に、正のEdge-Qualified Sharpeningを使ってノイズレベルを上げずに輪郭を強調するようなケースがあります。
- ソースのコンテンツが適正に再生されている場合には、これらの設定は0で使用するようにお薦め します。
- 12. **Video Smoothing**: スクリーン上の斜め線等に見られる階段状の表示(「stair step効果」と呼ばれます)のような画像のギザギザな輪郭を除去することができます。VRS ClearViewビデプロセッサーによるこの平滑化技術では、画像全体の輪郭を弱めることなく高解像度画像効果を得ることができます。ビデオ平滑化レベルは0と+4の間で設定することができ、出荷時設定はビデオ平滑化を実行しないレベル0となっています。
- 13. **Demo Mode (VRS ClearView)**: VRS ClearViewビデオ処理技術デモ用の特別な分割画面モードですが、 Detail Enhancement、Edge Enhancement、Video Smoothing、Noise Reductionの画像調節用として利用することもできます。通常のビデオ視聴には使用しないでください。次のオプションが設定可能です:
 - On ビデオ表示が半分に分割され、左側はVRS Clear Viewビデオ処理結果、右側はVRS Clear View 処理を行わないビデオ画面となります。
 - **Off** (出荷時設定) 通常の視聴モードです。

次の画像調節機能はHDMI 2ポートでのみ設定が可能です:

14. Sharpness: ビデオ出力のシャープネスレベルを設定します。シャープネスは、画像の輪郭を制御するビデオ処理機能ですが、望ましくない副次効果が現れることもあります。HDMI 2出力では、シャープネスのレベルは0と+2の間で設定が可能です。出荷時の設定は0です。高い値に設定するほどビデオの細部ははっきりしますが、あまり高く設定しすぎると物体の周りにハローのような効果が現れてしまうことがあります。

HDMI Options

HDMI OptionsはVideo Setupメニューのサブメニューで、HDMI出力固有のビデオの設定を行うことができます。 このサブメニューを立ち上げるには、Video SetupメニューでHDMI Optionsを選択します。RETURNボタンか**左** 矢印キーを押すとこのサブメニューを終了します。次のHDMIオプションが設定可能です:

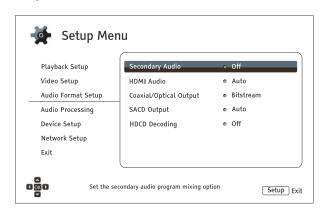
- 1. Color Space (HDMI 1) HDMI 1出力の色空間を選択します。設定可能なオプションは次の通りです:
 - Auto (推奨) プレーヤーが表示デバイスをチェックして自動的に使用する色空間を決定します。 表示デバイスがYCbCr 4:4:4に対応している場合には、余計な色空間変換が不要になるよう、YCbCr 4:4:4が使用されます。
 - **RGB Video Level** HDMI出力は、ビデオ表示に適切なRGBの色空間と通常の信号範囲を使用します。
 - RGB PC Level HDMIはRGB色空間を使用して信号範囲を拡大します。拡大信号範囲はパソコン (PC) の表示に適しています。テレビの中にはPCモニターとしての使用を前提としたものがあり、 DVI入力が選択されたときには拡張RGB範囲の信号に対応しています。このようなディスプレイでは、ビデオ信号が通常のRGB範囲の場合には白黒のコントラストが下げられてしまいます。プレーヤーでRGB PC Levelの出力を使用するよう設定すれば、適切なコントラストを使うようにすることができます。
 - YCbCr 4:4:4 HDMI出力がYCbCr 4:4:4の色空間を使用します。
 - YCbCr 4:2:2 HDMI出力がYCbCr 4:2:2の色空間を使用します。ディスクでエンコードされている 色空間に最も近い設定です。(すべてのディスクはYCbCr 4:2:0色空間でエンコードされ、ビデオ デコーダーがYCbCr 4:2:2に戻します。)
- 2. **Color Space (HDMI 2)** HDMI 1出力の色空間を選択します。設定可能なオプションはColor Space (HDMI 1) と同じです。
- 3. **Deep Color (HDMI 1)** HDMI 1出力にDeep Colorモードを選択します。Deep Colorは、HDMI v1.3以降の入力に対応する一部のテレビやプロジェクターのためのオプションです。ビデオ映像の各ピクセルは、通常 (R、G、BあるいはY、Cb、Crのチャンネルごとに8ビットの) 24ビットデータを使用して伝送されますが、Deep Colorに対応している場合には、ビデオ映像の各ピクセルは30ビット (各チャンネル10ビット) あるいは36ビット (各チャンネル12ビット) データを使用した伝送が可能になります。ビット深度の拡大で色遷移がよりスムーズになりグラデーションもきれいに表現されます。
 - **36 Bits** ピクセルあたり36ビットのDeep Colorモードを使用。
 - **30 Bits (Dithered)** ディザリング技術を併用したピクセルあたり30ビットのDeep Colorモードを使用。
 - **30 Bits** ピクセルあたり30ビットのDeep Colorモードを使用。
 - Off (Dithered) Deep Colorを使用せずにディザリング技術のみ使用。
 - Off (出荷時設定) Deep Colorを使用しない。
- 4. **Deep Color (HDMI 2)** HDMI 2出力にDeep Colorモードを選択します。設定可能なオプションは**HDMI Deep Color (HDMI 1)** と同じです。

- Deep Color機能はオプションであり対応していないテレビもあります。この機能に対応していないテレビに対してDeep Colorを設定すると、効果が何もなかったりビデオが映らなくなったりすることがあります。
- 現時点ではDeep Colorでエンコードされているディスクはありません。このため、Deep Colorを有効に設定しても色再現が劇的に向上することはありませんが、ビデオ処理や画像調整の結果を最大限忠実に再生するために有用です。
- ディザリングとは限られた色階調での映像の色深度を改善するための技術です。

- 5. **De-interlacing Mode** DVDやBlu-rayディスクのインターレースビデオをプログレッシブ出力に変換するときにプレーヤーが使用するアルゴリズムを選択することができます。適切なデインターレースモードを選択することによって、デインターレースによる副次効果を発生させずに出力ビデオを元のコンテンツと一致させることができます。次のオプションが選択可能です:
 - Auto (出荷時設定) ビデオの種類に応じて自動的にデインターレースモードを選択します。各種の信号に対してプレーヤーが最適な処理を実行するため、このデインターレースモードを使用することをお薦めします。
 - **Film** 映画用カメラで撮影されたビデオをデインターレースします。Filmモードの検出がうまくいかないときに使います。
 - **Video** ビデオカメラで撮影されたビデオをデインターレースします。映像が映画用カメラで撮影されていないことが確実な場合にのみこの設定を使用します。

Audio Format Setup

Setup MenuのAudio Format Setupの部分では、オーディを出力フォーマットの選択を設定することができます。



- 1. Secondary Audio: 副音声プログラムのミキシングオプションを設定します。ブルーレイディスクの中には、 監督のコメントのような副音声やビデオプログラムを収録したものがあります。また、ブルーレイディス クにはメニューを選択すると特別な音響効果を使うものもあります。このSetup Menuの項目では、副音声 プログラムやメニューの音響を主音声にミックスするかどうかを選択します。
 - **On** 副音声プログラムやメニュー音響が主音声にミックスされます。この結果、通常は主音声の音量が少し下げられます。
 - **Off (出荷時設定)** 副音声プログラムやメニュー音響が主音声にミックスされません。このため、副音声やメニュー音響を聞くことはできません。主音声のオーディオは最高品質に保たれるため、この設定をお薦めします。
- 2. HDMI Audio: HDMIポートのオーディオ出力フォーマットを選択します。次のオプションが選択可能です:
 - **Auto** (出荷時設定) プレーヤーがHDMI出力先のデバイスをチェックして自動的に使用するオーディオのフォーマットを決定します。
 - LPCM HDMI経由のデジタルオーディオ出力は、マルチチャンネルのリニアPCMフォーマットとなります。このオプションが選択されると、圧縮されたオーディオビットストリームはプレーヤーによってデコードされます。高度なオーディオのデコード機能を持たないテレビやレシーバーにHDMI出力を直接接続している時にこの設定をお薦めします。
 - Bitstream HDMI経由のデジタルオーディオ出力はビットストリームフォーマットになります。
 Dolby TrueHDやDTS-HD Master Audio等の高度なオーディオでコーディングに対応したA/VレシーバーやプロセッサーにHDMI出力が接続されている場合にこのオプションをお薦めします。
 - **Off** HDMI経由でのデジタルオーディオ信号の出力をしません。

注

HDMIを使用してオーディオ出力をHDMI A/Vレシーバーやオーディオプロセッサーに接続している場合には、高解像度のオーディオのコンテンツ (DVDオーディオ、SACD、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio) を再生するときに720p以上のHDMI出力解像度を選択することが重要となります。HDMIの仕様では、オーディオが使用することができるバンド幅はビデオが使用する全体のバンド幅に比例しますので、480p/576pの解像度でHDMIの仕様は(192kHzまでの)高サンプルレートを使用すると2 チャンネルのオーディオ、(48kHzまでの) 標準サンプルレートでは8チャンネルのオーディオしかサポートしていません。このため、高解像度オーディオのコンテンツを480p/576pの解像度で再生すると、オーディオの解像度が下がったり、オーディオチャンネル数が不足したり、オーディオ/ビデオ出力が行えない場合があります。

720p以上の高解像度出力を選択することによって、すべての高サンプルレートのオーディオチャンネルに十分な帯域を確保することができるようになります。

- 3. **Coaxial/Optical Output**: オーディオフォーマットとサンプルレート上限を同軸/光学 (S/PDIF) デジタル出力用に設定します。サンプルレート上限はプレーヤーがオーディオのダウンサンプルを実行するかどうかを決定します (プレーヤーは、オーディオをより高いサンプルレートにアップサンプルしません)。
 - **48k LPCM** 強制的にダウンミックスされた2チャンネルのリニアPCM (LPCM) デジタルオーディオフォーマットを使用して最大サンプルレートを48kHzへ設定します。この設定はほとんどのレシーバー/アンプで対応しています。
 - 96k LPCM 強制的にダウンミックスされた2チャンネルのリニアPCM (LPCM) デジタルオーディオフォーマットを使用して最大サンプルレートを96kHzへ設定します。オーディオ品質が向上しますが、レシーバー/アンプの対応を確認するようにしてください。
 - 192k LPCM 強制的にダウンミックスされた2チャンネルのリニアPCM (LPCM) デジタルオーディ オフォーマットを使用して最大サンプルレートを192kHzへ設定します。オーディオ品質が向上しま すが、レシーバー/アンプの対応を確認するようにしてください。
 - **Bitstream** オーディオ信号を圧縮ビットストリームフォーマットでレシーバー/アンプに伝送します。お使いのレシーバー/アンプにDolby DigitalやDTSのデコード機能がある場合は、この設定を選択してください。

著作権による制約とバンド幅の限界により、SACDのオーディオ信号は同軸/光学オーディオ出力では伝送できません。なお、DVDオーディオやブルーレイディスクの高解像度オーディオ信号は低解像度で伝送されます。詳細は17ページを参照してください。

- 4. **SACD Output**: SACD再生用のオーディオ出力フォーマットを選択します。
 - **PCM** SACDデータは、マルチチャンネルの高解像度PCMデータに変換され、変換されたPCMデータはHDMI経由か、アナログオーディオ出力ポート用の内蔵DAC (デジタル-アナログ変換器) 経由で出力されます。お使いのレシーバーがSACD再生用にHDMI v1.1に対応している場合には、このオプションを設定してください。また、DSD-PCM変換音質の方がお好みの場合にもこのオプションを選択してください。
 - **DSD** SACD Direct Stream Digital (DSD) のデータがHDMI経由で変換されずに出力されます。アナログオーディオ出力は、DSDデータが内蔵DACにより直接アナログ信号に変換されます。お使いのレシーバーがHDMI経由のDSDをサポートするHDMI v1.2aに対応している場合や、DSDから直接アナログに変換した音質がお好みの場合にこのオプションを選択してください。
 - **自動** (出荷時設定): SACD再生で使用するオーディオのフォーマット (DSDまたはPCM)を自動決定するために、プレーヤーがHDMI出力に接続されている機器をチェックします。
- 5. **HDCD Decoding**: HDCD (High Definition Compatible Digital) ディスクのオーディオデコードオプション を設定します。
 - **On** HDCDはプレーヤーでデコードされます。より大きなダイナミックレンジと改善されたオーディオ解像度をお楽しみください。
 - **Off** HDCDが通常のCDとして扱われます。プレーヤーがHDCD対応のA/Vレシーバーとデジタルの 出力リンク (同軸、光、HDMI) で接続されており、A/VレシーバーがHDCDのデコードを行う場合に 有用です。

注

レシーバーにHDCDデコード機能がある場合、HDCDのデコードが2回実行されないように、BDP-103Dの**HDCD Decoding**を**Off**に設定するようお薦めします。HDCDが2度デコードされると、ポップノイズやクラックルノイズが発生する場合があります。

オーディオ信号参照表

ブルーレイディスクには多数のオーディオ信号フォーマットが収録されていることがあり、その中には高解像度のDolby TrueHDやDTS-HD Master Audioといったものもあります。ブルーレイディスクには、副音声プログラムやメニューの効果音など多数のオプションオーディオパーツも記録されています。プレーヤーのAudio Format設定メニューでは、オーディオ出力を特定の好みに応じて設定することができます。次の表は、設定に応じてどのようなオーディオ信号が出力されるかを示したものです。

Secondary AudioがOffに設定されているとき

出力ポート	HDMI 出力		同軸/光出力		7406	
ソース 設定 フォーマット	Bitstream	LPCM	Bitstream	LPCM	マルチチャンネル 出力	
LPCM 2ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	2ch	
LPCM 5.1ch	LPCM 5.1ch	LPCM 5.1ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	5.1ch	
LPCM 7.1ch	LPCM 7.1ch	LPCM 7.1ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	7.1ch	
Dolby Digital	Dolby Digital	LPCM 5.1ch	Dolby Digital	LPCM 2ch	5.1ch	
Dolby Digital Plus	Dolby Digital Plus	7.1ch までの LPCM	Dolby Digital	LPCM 2ch	7.1ch まで	
Dolby TrueHD	Dolby TrueHD	192kHz 24-bit 7.1ch までの LPCM	Dolby Digital	LPCM 2ch	7.1ch まで	
DTS	DTS	7.1ch までの LPCM	DTS	LPCM 2ch	7.1ch まで	
DTS-HD High Reso- lution	DTS-HD High Resolution	7.1ch までの LPCM	DTS (core)	LPCM 2ch	7.1ch まで	
DTS-HD Master Audio	DTS-HD Maste Audio	96kHz 24-bit 7.1 または 192kHz 24-bit 2ch までの LPCM	DTS (core)	LPCM 2ch	7.1c まで	

Secondary AudioがOnに設定されて、副音声トラックやメニューで選択できる音声が収録されたディスクがセットされたとき:

出力ポート	HDMI 出力		同軸/光出力		7+0#	
ソース 設定 フォーマット	Bitstream	LPCM	Bitstream	LPCM	アナログ マルチチャンネル 出力	
LPCM 2ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	2ch	2ch	
LPCM 5.1ch	LPCM 5.1ch	LPCM 5.1ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	5.1ch	
LPCM 7.1ch	LPCM 7.1ch	LPCM 7.1ch	LPCM 2ch	LPCM 2ch	7.1ch	
Dolby Digital	Dolby Digital*	5.1ch までの LPCM	Dolby Digital*	LPCM 2ch	5.1ch	
Dolby Digital Plus	Dolby Digital*	7.1ch までの LPCM	Dolby Digital*	LPCM 2ch	7.1ch まで	
Dolby TrueHD	Dolby Digital*	192kHz 24-bit 7.1ch までの LPCM	Dolby Digital*	LPCM 2ch	7.1ch まで	
DTS	DTS*	7.1ch までの LPCM	DTS*	LPCM 2ch	7.1ch まで	
DTS-HD High Reso- lution	DTS*	7.1ch までの LPCM	DTS*	LPCM 2ch	7.1ch まで	
DTS-HD MasterAudio	DTS*	7.1ch までの LPCM	DTS*	LPCM 2ch	7.1ch まで	

注: すべてのオーディオ出力信号は主音声、副音声、メニュー効果音とミックスされます。「Dolby Digital*」と「DTS*」は、ミックスされたオーディオが元のビットストリームオーディオに再エンコードされることを表します。

推奨のオーディオフォーマットオプション

お使いのオーディオ/ビデオ接続方法に応じて、BDP-103Dのオーディオフォーマットのオプションの調節が必要になる場合があります。本マニュアルの前の部分に説明のあるビデオとオーディオ接続方法やこの後のオーディオ設定指針を参照してください。

テレビへの直接オーディオ接続

プレーヤーがHDMI経由で直接 (13ページ)、またはDVIとアナログL/R オーディオケーブル経由 (15ページ) でテレビに接続されている場合には、次のオーディオフォーマットオプションの使用をお薦めします:

Secondary Audio: On
 HDMI Audio: LPCM
 SACD Output: PCM
 HDCD Decoding: On

o Coaxial/Optical Output: (任意 – 非使用)

HDMI経由でのレシーバーへのマルチチャンネルのデジタルオーディオ

プレーヤーがHDMI入力を持つA/Vレシーバーやプロセッサーに接続されている場合 (11ページ)、使用されているすべてのオーディオフォーマットを純粋なデジタルの形でレシーバーに伝送することができます。HDMI経由で最高音質のオーディオを伝送するには、プレーヤーのAudio Formatの設定メニューで次のオプションを設定します:

• お使いのレシーバーが、Dolby TrueHD and DTS-HD Master Audioのような高解像度のロスレスオーディオフォーマットのデコード機能を有するHDMI v1.3に対応している場合、次のオーディオフォーマットオプションを使用します:

o **Secondary Audio: Off** (副音声が必要な場合のみOn)

HDMI Audio: Bitstream

SACD Output: PCM (レシーバーがHDMI経由のDSD対応時はDSD)
 HDCD Decoding: On (レシーバーがHDCDをデコードできる場合にはOff)

o Coaxial/Optical Output: (任意 – 非使用)

 お使いのレシーバーが HDMI v1.1/1.2のマルチチャンネルPCMオーディオ対応で、Dolby TrueHD and DTS-HD Master Audioのような高解像度のロスレスオーディオフォーマットには未対応の場合、次のオーディオフォーマットオプションを使用します:

o **Secondary Audio: Off** (副音声が必要な場合のみOn)

o HDMI Audio: LPCM

SACD Output: PCM (レシーバーがHDMI経由のDSD対応時はDSD)
 HDCD Decoding: On (レシーバーがHDCDをデコードできる場合にはOff)

o Coaxial/Optical Output: (任意 – 非使用)

レシーバーへのマルチチャンネルアナログオーディオ

プレーヤーが、8本か6本のRCAケーブルで7.1chや5.1chのアナログオーディオジャックからA/Vレシーバーに接続されているとき(16ページ)、お持ちのA/Vレシーバーとサラウンドシステムを使ってすべての対応オーディオフォーマットを再生することができます。 次のオーディオフォーマット設定オプションを推奨します:

o Secondary Audio: Off (副音声が必要な場合のみOn)

o HDMI Audio: Off

o SACD Output: PCMまたはDSD (お好みに応じて)

o HDCD Decoding: On

o Coaxial/Optical Output: (任意 − 非使用)

Audio Processing $\times = 1 - \mathcal{O}$ Speaker Configuration \mathcal{T} :

- Down Mixを7.1Chか5.1Chに設定します。
- スピーカーのサイズとサブウーファーを実際に使用しているオーディオのハードウェアに対応して設定します (70ページ)。
- お使いのレシーバーのマルチチャンネルのアナログ入力を有効にするか選択します。

レシーバーへの同軸、光デジタルオーディオ

同軸/光入力でプレーヤーがA/Vレシーバーに接続されて (17ページ)、A/VレシーバーがDolby DigitalとDTSに対応している場合、次のオーディオフォーマット設定オプションを推奨します:

o **Secondary Audio: Off** (副音声が必要な場合のみOn)

o HDMI Audio: Off

o SACD Output: (任意 - 光/同軸出力ではSACDは利用不可)

o **HDCD Decoding: On** (レシーバーがHDCDをデコードできる場合にはOff)

Coaxial/Optical Output: Bitsream

レシーバーへのステレオアナログオーディオ

おもにステレオのコンテンツを聴くか、レシーバーがステレオのオーディオ接続にしか対応していない場合、アナログのオーディオケーブルを使用して、お使いのレシーバーのFL (フロント左) とFR (フロント右) 端子を接続してください (16ページ)。次のオーディオフォーマットオプションをお薦めします:

o **Secondary Audio: Off** (副音声が必要な場合のみOn)

o HDMI Audio: Off

o SACD Output: PCMまたはDSD (お好みに応じて)

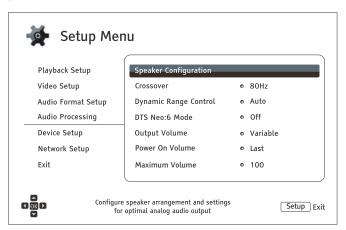
o HDCD Decoding: On

。 **Coaxial/Optical Output:** (任意 – 192k LPCMに設定することで最善のアナログオーデ

ィオ品質を得ることができる場合があります。)

Audio Processing Setup

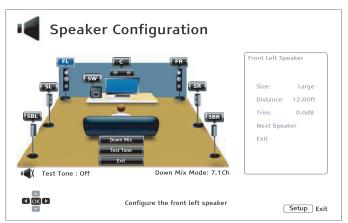
Setup (設定)メニューの**Audio Processing** (オーディオ出力設定)部分で、プレーヤーがオーディオ信号を出力する前に実行する処理を設定することができます。ここでの設定は、以下の「Note(注)」に説明があるものを除きアナログのオーディオ出力にのみ有効となります。



Speaker Configuration

Speaker Configurationメニューでは、ダウンミックスのモード、スピーカー数、スピーカー間の距離、サイズやトリムレベル等のスピーカーの設定を実行します。Speaker Configurationメニューでは、スピーカーの配置がイラスト表示されますので、スピーカーを適切に設定することができます。

このメニューを立ち上げると、カーソルはフロント左のスピーカーに移動しますが、**左右矢印**ボタンでカーソルを移動することができます。**右矢印**ボタンではカーソルが時計回りに移動し、**左矢印**ボタンでは反時計回りに移動します。カーソルが**Down Mix、Test Tone、Exit**の位置に来たら、**上下矢印**ボタンでこれらのオプション中でカーソルを移動させることができます。

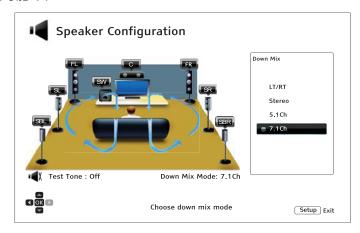


- ダイナミックレンジ制御(DRC)とA/V Sync (同期)はHDMI、同軸、光出力にも影響を及ぼします。
- Speaker Configuration(スピーカー設定)は、主にマルチチャンネルのアナログオーディオ出力に適用されるものですが、Coaxial/Optical Output (同軸/光出力)がリニアPCMに設定されている場合には、マルチチャンネルがダウンミックスされたステレオ音声信号となり、マルチチャンネルのアナログオーディオ出力に送信されます。その結果、同軸や光出力からのリニアPCM信号はSpeaker Configuration (スピーカー設定)での設定の影響を受けるようになります。
- HDMIはSpeaker Configuration (スピーカー設定)での設定の影響を受けませんし、Coaxial/Optical Output (同軸/光出力)がBitstream (ビットストリーム)に設定されている場合には同軸と光出力も影響を受けません。

Down Mix Mode

ダウンミックスはマルチチャンネル オーディオのチャンネル数を減らすための手順で、5.1chのソースをステレオに変換したり、7.1chのソースを5.1chに変換したりするような例が挙げられます。ダウンミックスによって、プレーヤーからのオーディオ出力をホームシアターで使われているスピーカーの数に適切に合わせることができます。

ダウンミックスの現在の設定は、スピーカー配置のイラスト画面の右下部分に表示されます。オーディオのダウンミックス設定を変更するには、カーソルを**Down Mix**オプションに移動して**ENTER**ボタンを押します。次のダウンミックモードが設定可能です:



- LT/RT 左合計/右合計を表し、センターとサラウンドチャンネルは、LT/RT配置に従ってフロントの2 つのチャンネルにミックスされます。Dolby Pro Logic対応のレシーバーは、2チャンネルのオーディオをサラウンドにデコードします。
- Stereo このモードでは、マルチチャンネルオーディオは2チャンネルのステレオにダウンミックスされます。元がステレオのコンテンツは、出力で何も変更されません。元がマルチチャンネルのコンテンツであれば、サラウンドとセンターのチャンネルは左右のフロントチャンネルにミックスされます。テレビセットやステレオのレシーバー/アンプを使用している場合に推奨されるオプションです。
- 5.1Ch このモードでは5.1chにデコードされたオーディオが出力されますが、実際の出力チャンネル 数はディスクにより異なります。ソースコンテンツのチャンネル数の方が多い場合には、サラウンドの リアチャンネルはサラウンドチャンネルにミックスされます。
- **7.1Ch** このモードでは7.1chにデコードされたオーディオが出力されますが、実際の出力チャンネル数はディスクにより異なります。6.1chのコンテンツでは、サラウンドの左と右のリアスピーカーには両方ともサラウンドのリアオーディオ チャンネルが出力されます。

Test Tone

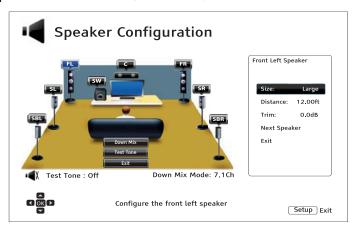
Test tonesはオーディオのスピーカーシステムをテストして結線に問題がないかを確認するための人工音です。 出荷時には**Test Tone**は**Off**に設定されていますが、設定状態は画面左下の部分に表示されます。

テストを開始するには、**矢印**ボタンを使って**Test Tone**(テストトーン)オプションをハイライト表示してテストトーンのステータスを有効に変更します。さらに、**矢印**ボタンでスピーカーを選択するとテスト音が聞こえるようになります。テストを終了するには。**矢印**ボタンで**Test Tone**(テストトーン)オプションをハイライト表示し、**Enter**ボタンを押してステータスを無効に戻します。

テストトーンはマルチチャンネルのアナログオーディオ出力でのみ再生可能で、チャンネルを識別するためにのみ使用するものです。スピーカーの総合的な設定には、プロ用のオーディオ較正ディスクに収録されているような専用のテストトーンを使用するようにしてください。

Speaker Settings

左右矢印ボタンでスピーカーをハイライト表示にしENTERボタンを押して、各スピーカーのサイズ、距離、トリムレベルを設定することができます。画面右側のSpeaker Settingsメニューが設定可能な状態になります。Speaker Settingsで上下矢印ボタンを使ってパラメーターを選択し、ENTERボタンを押して変更します。Speaker Settingsメニューを終了してSpeaker Configurationのイラストに戻るには、左矢印ボタンを押すか、Exitオプションを選択します。Next Speakerオプションを選択すると、続けて次のスピーカーを設定することができます。



次のスピーカーのパラメーターが設定可能です:

- 1. Size: 以下のスピーカーサイズのパラメーターで、スピーカーの低音のフィルタリングを制御します。
 - Large オーディオコンテンツのすべてが伝送されます。
 - Small 低周波数成分を除いたすべてのオーディオコンテンツがスピーカーに伝送されます。低周波成分のフィルタリングは、ひずみの予防のためです。サブウーファーがある場合には、低周波数成分はサブウーファーに伝送されますが、ない場合には破棄されます。低周波数の上限は、Setup MenuのCrossover Frequencyで選択します (72ページ)。
 - Off 対応する場所にスピーカーが存在しないときに指定します。存在しないスピーカーへのオーディオは、 他のスピーカーに振り分けられますが、振り分けが不可能な場合には破棄されます。
 - On (for Subwoofer only) サブウーファーがある場合に指定します。

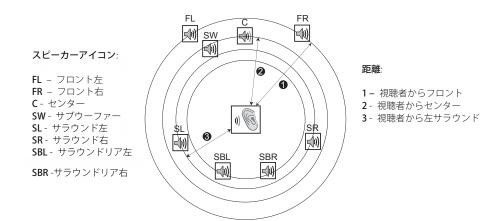
注

フロント、サラウンド、サラウンドリアスピーカーの**Size**は対で設定されます。片側のスピーカーでサイズを変更すると、自動的にもう一方の設定も変更されます。

2. **Distance**: スピーカーへの距離は、対応するオーディオチャンネルの遅延制御に使用されます。遅延は、スピーカーの配置に起因するオーディオ伝搬時間の差を補正するためのものです。

スピーカーの距離による補正は、ANレシーバーがチャンネル遅延を調節してスピーカーへの距離差を補正する機能を持っている場合には不要です。お使いのレシーバーにそのような機能がない場合(マルチチャンネルのアナログ入力に対しての補正機能を持つレシーバーはほとんどありません)、プレーヤー側での調節を行うことができます。スピーカー距離遅延は、マルチチャンネル オーディオのデコード時にのみ適用されます。ビットストリームのオーディオ出力をANレシーバーに使っている場合、ビットストリームオーディオではスピーカー距離遅延の調節は行われません。

典型的な7.1-チャンネルのスピーカーレイアウトと距離は以下のように表示されます:



上の図で、リスニングポジションからフロント右、または左スピーカーまでの距離を (フィート単位で) 測り、 Speaker Configuration メニューでフロントスピーカーの距離 (上図のlacktriangle) を入力します。

次に、センタースピーカー (②) からリスニングポジションまでの距離を (フィート単位で) 測り、Delay Setupのページでカーソルを移動してCenter speakerをハイライト表示し、距離をフィートで (できるだけ正確に) 入力します。これをシステムのすべてのスピーカー (センター、サラウンド左、サラウンド右、サラウンドリア左、サラウンドリア右、サブウーファー) で繰り返します。リスニングポジションにすべてのスピーカーからの音波が同時に到達するように、プレーヤーは適切に信号を遅延させます。

すべてのスピーカーに個別に距離を設定することもできます。その場合、スピーカーへの距離は実際の空間 距離に設定します。

チャンネル遅延設定がお使いのスピーカー構成に合わない場合には、すべての距離を同じに指定して、お持ちのレシーバー/アンプでチャンネル遅延を設定するようにしてください。

3. **Trim**: スピーカーのトリムレベルパラメーターで、個別チャンネルの各々に音量を設定します。ほとんどの A/Vレシーバーでは、チャンネルトリムを調節してスピーカーの感度差を補正する機能を持ちますので、通 常はこのチャンネルトリム機能を使う必要はありませんが、お使いのレシーバーにこのような機能がない場合 (多くのレシーバーはアナログのマルチチャンネル入力に対してのチャンネルトリム機能に対応していません)、プレーヤーの方でチャンネルトリムの調節を行うことができます。正確な結果を得るために、 *Digital Video Essentials HD Basics* のような較正用ディスクのテストトーンとSPL (Sound Pressure Level) メーターの使用をお薦めします。トリムレベルは+/- 10dBの範囲で0.5dB刻みで設定することができます。

注

- 0dBを超えるTrim Levelを使用すると、すでに高いオーディオレベルのソースではひずみが発生してしまう ことがあり、波形がクリップしてひずみが耳に聞こえる状態になってしまいます。このような状況では、 ひずみがなくなるまでTrim Levelを下げる必要があります。スピーカーにTrim Levelを使う場合には、最も 感度の低いスピーカーのTrim Levelを0dBに設定し、その他のスピーカーのTrim Levelには負の値を指定す ることをお薦めします。
- Test Toneをプレーヤーのトリム制御に利用することができます。また、各スピーカーには個別にトリムレベルを設定することができ、対のスピーカーの設定がリンクされているようなこともありません。

その他のオーディオ処理設定

Speaker Configuration以外にも、Crossover FrequencyとDynamic Range Controlのオーディオ処理設定を行うことができます:

- 1. **Crossover**: すべてのスピーカーでベースマネージメントが動作し始める周波数を設定します。スピーカーのサイズがSpeaker Configuration (70ページ)で Smallに設定されていると、ひずみを回避するために設定された周波数以下の低音情報はスピーカーに伝送されません。 サブウーファーがある場合には、低周波数成分はサブウーファーに伝送されます。スピーカーのサイズがすべてLargeに設定されているとベースマネージメントは適用されません。
 - 40Hz / 50Hz / 60Hz / 70Hz / 80Hz / 90Hz / 100Hz / 110Hz / 120Hz / 130Hz / 140Hz / 150Hz / 160Hz / 200Hz / 250Hz 設定が可能なクロスオーバー周波数で、上下矢印ボタンとENTERボタンを押して選択することができます。このオプションは (センター、フロント、サラウンド、サラウンドリアの) すべてのスピーカーに適用されます。クロスオーバー周波数の出荷時設定は80Hzです。
- 2. **Dynamic Range Control**: Dynamic Range Compression (DRC) を設定します。DRCは、ワイドレンジのデジタルオーディオに共通な音圧の山と谷を平滑化します。DRCを設定すると、低音量で再生中の小音量のオーディオが聞き取りやすくなります。DRCの使用を中止すると、元の録音に収録された音のエネルギーに戻ります。
 - **Auto** ディスクで指定されたダイナミックレンジで再生します。DRC指定がDolby TrueHDオーディオトラックにエンコードされた、一部のブルーレイディスクにのみ適用されます。
 - **On** DRCをすべてのDolbyやDTSオーディオフォーマットに適用します。このオプションはすべてのDVDとブルーレイディスクに適用されます。
 - **Off** DRCを無効に設定します。

注

オーディオフォーマットがPCMに設定されると、 Dynamic Range Compressionがアナログオーディオ出力とデジタルオーディオ出力 (HDMI、同軸、光) に適用されます。

- 3. **DTS Neo:6 Mode**: DTS Neo:6のオーディオ処理を有効に設定して、リスニングモードを選択します。DTS Neo:6はデジタルの信号処理で、元のステレオのソースを (L、R、C、L_s、R_s、L_R、R_Rの) 7.0や7.1 (ベースマネージメント付き) 7.1のサラウンドに拡張します。
 - Music ステレオの音楽ソースに対してDTS Neo:6 オーディオ処理を有効に設定します。
 - **Cinema** デジタルのテレビSTBやステレオのムービーソースに対してDTS Neo:6 オーディオ処理を 有効に設定します。
 - Off (出荷時設定) DTS Neo:6を無効に設定して元のオーディオ品質を保持します。
- 4. **Output Volume**: アナログの音量調節 (可変オーディオ) を有効/無効に設定します。指定可能なオプションは:
 - **Variable** アナログの音量調節を有効に設定します。リモコンのVOL-/+ボタンでアナログオーディ オ出力レベルを上げたり、下げたりします (最大は100です)。
 - **Fixed** アナログの音量調節を無効に設定します。リモコンのVOL-/+ ボタンでアナログのオーディオ出力は調節できなくなり、音量レベルは100に固定されます。
- 5. **Power On Input** (電源投入時の入力): 電源投入時の初期オーディオ音量を設定します。このオプションは7.1のオーディオ出力に適用されます。
 - Last (出荷時設定) 前回プレーヤーの電源が落とされた時の音量に設定します。通常はこの設定をお薦めします。
 - **40** (Custom) 電源投入時の音量をお好きなレベルに設定します。リモコンの左右矢印キーを使用して音量レベルを調節します。最初は40に設定されています。

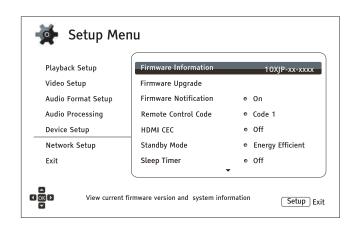
- 6. **Maximum Volume** (最大音量): 最大音量レベルを設定します。このオプションは7.1のオーディオ出力に適用されます。リモコンの左右矢印キーを使用して音量レベルを調節します。最初は100に設定されています。
- 7. **A/V Sync**: ビデオと同期がとれるようにオーディオに微小な遅延を付加します。リモコンの**左右矢印**ボタンを使ってオーディオの遅延を増減します。遅延は-100msから+200msの範囲で10ms単位での調節が可能です。設定された遅延時間は、HDMI 1、2、同軸、光、7.1の出力端子すべてに適用されます。

注

- 各出力でオーディオ処理アルゴリズムや信号路が異なっているため、実際のオーディオ遅延は出力端子ごとに違う場合があります。実際に使用する出力端子でこの設定を調節するようにしてください。
- プレーヤーが自動的に適用するオーディオ遅延を打ち消すために負の調節値を使用します。ビデオのソースやビデオの処理に要する時間に応じて、オーディオとビデオで最適の同期が得られるようにメインのデコーダーチップは自動的にオーディオ遅延を適用します。負の値を設定すると自動のオーディオ遅延が軽減され、正の値では遅延を追加します。プレーヤーの自動遅延を超える負の値を設定すると、自動遅延が完全にキャンセルされてしまいます。たとえば、「A/V Sync」の値が-100msに設定されて、プレーヤーが自動的にビデオソースに適用しているオーディオ遅延が70msの場合、70msのオーディオ遅延はキャンセルされてしまいます。この設定を使用して、オーディオをビデオより先に再生させることはできません。
- HDMI INから入力されるコンテンツには、「A/V Sync」の正の設定値のみが有効となります。

Device Setup

Setup MenuシステムのDevice Setup部分では、その他のハードウェアや制御機能に関するプレーヤーのオプションを設定します。



- 1. **Firmware Information**: 現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
- 2. **Firmware Upgrade**: プレーヤーのファームウェアをアップグレードします。再生が完全に停止しているか、ディスクがセットされていない場合にのみ操作が可能です。ファームウェアは、プレーヤーの機能を制御するシステムソフトウェアです。ブルーレイディスクの仕様は新しく発展中であるため、プレーヤーの製造後に策定されたブルーレイディスク仕様の新機能が使われる可能性があります。最善の視聴環境を保証するためにはプレーヤーのファームウェアを適宜アップデートする必要があります。www.oppodigital.jpで最新のファームウェアアップデートとアップデートのインストール方法を確認するようにしてください。

プレーヤーのファームウェアをアップデートするには次の3種類の方法があります:

- **Via USB** OPPO DigitalのウェブサイトからUSBドライブにファームウェアのファイルをダウンロードして、そのUSBドライブを使用してプレーヤーのアップグレードを行います。ファームウェアダウンロードのウェブページにある指示に従ってください。
- **Via Disc** OPPO Digitalにファームウェアアップデートのディスクを要求することができます。また、ディスクイメージをOPPO Digitalのウェブサイトからダウンロードしてアップグレードディスクを焼くこともできます。アップグレードディスクに添付されている指示に従ってください。
- **Via Network** プレーヤーがインターネットに接続されているとき (19ページ、78ページ)、インターネット経由でプレーヤーをアップグレードすることができます。テレビ画面に表示される指示に従ってください。
- 3. Firmware Notification: プレーヤーがインターネットサーバー上にあるファームウェアを自動的に確認して、新しいファームウェアが見つかった場合に通知するかどうかを設定します。
 - **On** ファームウェアのアップデートを自動的に確認して、新しいファームウェアが見つかった場合に通知します。ネットワーク接続されている必要があります。
 - **Off** ファームウェアのアップデートを自動的に確認しません。
- 4. Remote Control Code: BDP-103Dは4種類のリモコンコードのいずれかに応答することができます。出荷時の設定は「Code 1」です。BDP-103Dの近くで他のOPPO製品を使う場合には、他の製品がBDP-103Dのリモコンに反応してしまう場合があります。このような状況を防ぐために別のリモコンコードを選択することができます。選択可能なコードは次の通りです:

- Code 1 OPPOディスクプレーヤーのリモートコードは1に設定されます。出荷時に設定されているリモートコードです。
- Code 2 OPPOディスクプレーヤーのリモートコードは2に設定されます。BDP-103Dのそばに別の OPPO製品が設置されている場合に使います。
- Code 3 OPPOディスクプレーヤーのリモートコードは3に設定されます。BDP-103Dのそばに別の OPPO製品が設置されている場合に使います。
- Alt. Code 代替リモートコードです。代替のリモコンコードで、テレビ、プロジェクター、A/Vレシーバーに付属のユニバーサルリモコンがOPPOプレーヤーに使えるようにすることができます。ユニバーサルリモコンにDVDプレーヤーの制御機能がある場合、東芝、Philips、Magnavox、Marantz、ZenithのDVDプレーヤーのコードを使用してリモコンをプログラムしてみてください。これらのブランドのリモコンにも数種類のコードがありますので、うまく動作するコードが見つかるまで何回か異なるコードを試さなければならない場合があります。

新しいリモートコードを選択したら、リモコンも同じコードを使用するように変更しなければなりません。詳細は10ページの**リモートコードの変更**をご覧ください。Alt. Code,を選択した場合には、付属のリモコンではプレーヤーを操作することはできなくなってしまいます。代わりに、適切なコードセットが設定されたユニバーサルリモコンを使用するようにしてください。

- 5. **HDMI CEC**: HDMI Consumer Electronics Control (CEC) モードを設定します。CECはHDMIのオプション機能で、HDMI接続を利用して便利なリモコン機能とコンシューマーエレクトロニクス機器の自動設定を提供します。このリモコン機能では、HDMI接続された複数の機器が1種類のリモコンで制御できるようになります。たとえば、テレビのリモコンを使ってブルーレイディスクプレーヤーの再生を制御することができます。また自動設定機能では、ブルーレイプレーヤーがディスクの再生を開始すると、自動的にテレビの電源を入れて適切な入力に切り替えることができます。さらに、プレーヤーの電源を切るとテレビの電源も自動的に切れるようになります。この機能の実装方法と互換性は機器メーカーにより異なり、一部の機能のみを実装したり、独自の機能を追加したりすることがあります。メーカー固有のHDMI CEC機能の実装は、往々にして「…Link」や「…Sync」といった固有名称で呼ばれます。BDP-103Dは、HDMI出力それぞれで3種類のHDMI CEC機能モードに対応しています:
 - **HDMI 1** HDMI CECがHDMI 1出力で有効になります。他の機器がプレーヤーと互換性がある場合に使用します。
 - **HDMI 1** (Limited) HDMI CECがHDMI 1出力で有効になりますが、BDP-103Dは再生コマンドにのみ 反応して、電源のオン/オフや入力選択のコマンドを送信したり反応したりしません。自動設定機能 で機器のオン/オフを行いたくない場合にこのモードを使用します。
 - **HDMI 2** HDMI 1と同様に、HDMI CECがHDMI 2出力で有効になります。
 - **HDMI 2** (Limited) HDMI 1 (Limited)と同様に、HDMI CECがHDMI 2出力で有効になりますが、BDP-103Dは再生コマンドにのみ反応します。
 - **Off** (出荷時設定) HDMI CEC機能は両方のHDMI出力端子で無効に設定されます。プレーヤーは他の機器からのHDMI CECコマンドに反応しません。また、他の機器の自動設定も行いません。
- 6. **Standby Mode**: 2種類のスタンバイモードから選択します。**Energy Efficient**モードでは、プレーヤーの消費電力は最小となりますが、電源投入から操作準備が整うまでの時間がかかるようになります。Quick Start モードでは、プレーヤーの起動は非常に速くなりますが、スタンバイ時の消費電力が増大します。
 - Energy Efficient (出荷時設定) プレーヤーの起動に若干時間がかかるようになりますが、スタンバイモードでの消費電力が少なくなります。通常の使用にはこのモードをお薦めします。
 - Quick Start プレーヤーの起動時間は短くなりますが、スタンバイ時の消費電力が増大します。プレーヤーの使用頻度が高い場合や、プレーヤーのMHLポートに接続している機器にプレーヤーのスタンバイ時にも電力を供給しなければいけない場合にこのモードをお薦めします。

- 7. Sleep Timer: プレーヤーが自動的に消えるまでの時間を指定することができます。
 - **Off** (出荷時設定) プレーヤーは自動的に消えません。
 - **30/45/60/90/120 Min** プレーヤーが消えるまでの時間をこの中から選択します (分単位)。**上下矢 印**で希望の時間を選択し、**ENTER**ボタンで決定します。時間を設定すると、「Sleep Timer」オプションの右側に、自動的に消えるまでの残り時間が表示されます。
- 8. **Front Panel Brightness**: 前面のVFD表示窓や、トレイのOPEN/CLOSEボタンバックライトの表示明度を制御します。ビデオ鑑賞中に表示が邪魔になると感じた場合、表示を暗くしたり消したりすることができます。
 - **Standard** (出荷時設定) VFD表示窓とトレイのOPEN/CLOSEボタンのバックライトは最大輝度となります。
 - Dim VFD表示窓とトレイのOPEN/CLOSEボタンのバックライトが暗くなります。
 - **Off** VFD表示窓とトレイの**OPEN/CLOSE**ボタンのバックライト照明が消灯されます。このモードでは、ユーザーが何か操作をすると、表示とバックライトが一瞬だけ点灯されます。
- 9. **Cache Media Info**: オンラインのメディアファイル情報のキャッシュオプションを設定することができます。このオプションを指定すると、接続したUSBドライブのルートディレクトリーに、「OPPO_Media_Info」フォルダーを作成してメディア情報の一部をキャッシュすることによって、メディアファイル閲覧時の反応を向上させることができます。
 - **On** (推奨) ダウンロードされたメディア情報を、メディアファイルが保存されたUSBハードディスクやスティックメモリー上に記録することによって、閲覧の反応速度を向上させます。
 - **Off** ダウンロードされたメディア情報は保存されません。メディア情報をインターネットから読み込むため、時間がかかったりメディアファイル閲覧の反応速度が遅くなったりすることがあります。
- 10. **Persistent Storage**: BD-Videoコンテンツの常用ストレージを管理します。常用ストレージは、 *BonusView* や *BD-Live*機能の追加コンテンツを収容するためのデータの保存領域です。データはプレーヤーの電源が切断されてもそのまま保存されます。次の常用ストレージ管理機能を設定することができます:
 - Storage Device 常用ストレージとして使用するストレージ機器を選択します。BDP-103Dは内部フラッシュメモリーのうち1GB程度を常用ストレージとして割り当てます。プレーヤーには常用ストレージとして使用可能なUSBドライブを接続することのできるUSBポートが3つ装備されています。次の中から選択します:
 - ▶ Internal Flash 内部フラッシュメモリーを常用ストレージとして使用します。
 - ➤ **USB Drive** USBドライブを常用ストレージとして使用します。BD-Liveの仕様に適合するには、1GB以上のフラッシュドライブが必要です。USBのハードディスクは推奨されません。

注

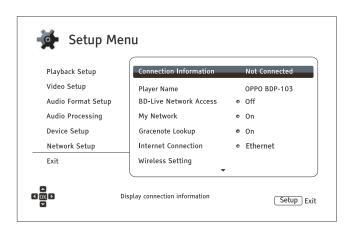
新たに設定したストレージ機器の選択は、プレーヤー再起動されるまで有効になりません。**Storage Device**オプション変更後には、必ずプレーヤーの電源を切ってから再起動するようにしてください。

- Space Used 常用ドライブの使用スペースを表示します。使用スペースが大きくなり使用可能なスペースが非常に少なくなると、ブルーレイディスクの中には正常動作しなくなるものがあります。
- **Erase Persistent Storage** 常用ストレージからBD-Videoデータを消去したり、常用ストレージとして使用するためにUSBドライブを初期化したりします。

- 11. **Netflix**: Netflixアカウントの認証を解除します。
 - **Netflix ESN** プレーヤーのNetflix ESN (Electronic Serial Number、電子シリアル番号) を表示します。
 - **De-activate Netflix** プレーヤーの**Netflix**アカウントで認証を解除します。いったん解除すると、 Netflixをプレーヤーからまたアクセスできるようにするには、**Home**メニューでNetflixを選択して、認 証プロセスを再度実行する必要があります。
- 12. **VUDU**: VUDU HDムービーアカウントの認証を解除します。
- 13. **Settings Management** (設定の管理): プレーヤーの各種設定情報をバックアップしたり、復旧したりすることができます。このオプションの適用範囲はSetup (セットアップ)メニュー関連の項目です。Wi-Fiのパスワード、インターネットアプリケーションのアクティベーションコード、アカウント情報といった個人情報はエキスポートやインポートされません。
 - Backup Settings (設定のバックアップ) プレーヤーの設定を最初に検出されるUSBストレージ機器に バックアップします。プレーヤーは「BDP103D.cfg」のような「[プレーヤーモデル名].cfg」という名 称の構成ファイルを作成しますが、保存されるバイナリー形式の情報はOPPOの技術サポートにしか解 読することができません。
 - Restore Settings (設定のリストア) 外部USBストレージからプレーヤーの設定を復旧します。プレーヤーは最初に検出されるUSBストレージ機器で構成ファイルを検索します。不要な混乱を回避するために、復旧時には関係のない他のUSBストレージ機器を接続しないようにします。
- 14. **自動電源オフ**: プレーヤーが未稼働で30分を経過したとき、電源を自動で切ることが可能になります。これは消費電力の削減とプレーヤー寿命の向上に役立ちます。
 - **オン** 自動電源オフを有効にします。
 - オフ(デフォルト) 自動電源オフを無効にします。
- 15. **Reset Factory Defaults**: 出荷時の設定に戻します。この操作で、**BD-Live Network Access**も**Off** (78ページ) となり、Erase Persistent Storage (76ページ) も実行されてしまいます。ただし、リモコンのコード、視聴制限用パスワードと制限年齢はリセットされません。再生が完全に停止した状態か、ディスクがセットされていない状態でないと、この操作を実行することはできません。
 - Erase Accounts and Settings (出荷時設定) すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、アプリケーションの認証や、Netflix、VUDU等のアカウント情報も削除します。
 - Erase Settings すべての設定を工場出荷時の状態に戻しますが、アプリケーションの認証やアカウント情報は保持されます。

Network Setup

Setup Menuシステムの**Network Setup**部分では、プレーヤーのネットワーク接続設定、接続テスト、BD-Live アクセスの許可/不許可の設定を行うことができます。



- Connection Information: 接続種類、IPアドレス、イーサネットMACアドレス、無線MACアドレス等の、インターネットへの現在の接続情報を表示します。
- 2. **Player Name:** ローカルネットワークを共有する製品に表示されるプレーヤーの識別名を入力、表示します。 名称を変更するにはENTERボタンを押してソフトキーボードを起動します。名称は最大12文字までで、スペースも使用可能です。
- 3. **BD-Live Network Access:** BD-Liveコンテンツへのアクセスを許可、制限します。
 - On BD-Liveへのアクセスは許可されます。
 - Limited BD-Liveへのアクセスは、コンテンツのオーナー証明が有効な場合のみ許可されます。証明がない場合には、BD-Liveコンテンツへのインターネットアクセスは許可されません。このオプションを設定することによって、信頼できるコンテンツにのみアクセスができるようになりますが、マイナーなインディペンデントコンテンツプロバイダーへのアクセスが遮断される可能性があります。
 - **Off** (推奨設定) BD-Liveへのアクセスは禁止されます。
- 4. **My Network:** My Network (家庭内メディア共有)のクライアント設定を行います。My Networkは、オーディオ、ビデオ、写真を家庭内ネットワークにあるメディアサーバーから、プレーヤーがストリーム配信できるようにします。
 - **On** (出荷時設定) ネットワークストリーミングを有効にします。ブロードバンドのインターネット接続 (19ページ) と、ハードウェア/ソフトウェアの特別な設定 (ページの家庭内ネットワークのメディア共有:41ページ) が必要となります。**Home Menu**のNetworkオプション (42ページ) に一覧表示されるメディアサーバーを使用することができます。
 - Off ローカルネットワークのストリーミングを無効に設定します。Networkメニューにメディアサーバーは表示されず、Networkメニューを立ち上げようとすると警告メッセージが表示されます。
- 5. **Gracenote Lookup:** ディスクのタイトル、ジャンル、発売 (制作) 年、アルバムのアーティスト、カバーアート等の追加情報を提供するGracenoteオンラインデータベースへのアクセスを許可します。
 - On (出荷時設定) Gracenoteのサービスを有効に設定してプレーヤーがメディア情報やカバーアートを検索できるようにします。ブロードバンドのインターネット接続が必要です (19ページ)。
 - **Off** Gracenoteのサービスを無効に設定します。

- 6. Internet Connection: インターネット接続の種類を選択します。
 - Ethernet (出荷時設定) イーサネットケーブル経由でインターネットに接続します。19ページの接続方法を参照してください。このオプションを選択すると、Wireless Settingのオプションは灰色表示されて選択ができなくなります。
 - Wireless 日本ではWireless機能は利用できません。
 - **Off** インターネットアクセスが禁止されます。**Network Setup**画面の残りのオプションがすべて灰色表示になり選択することができなくなります。
- 7. Wireless Setting Wireless Setup Assistantを立ち上げます。Wireless Settingオプションの選択や、Internet ConnectionメニューでWirelessを選択することによっても Wireless Setup Assistantを起動することができます。その後の手順は次の通りです:
 - プレーヤーは正常動作した一番最近の無線設定を検索します。検索に成功した場合には、その旨メッセージが表示されます。



• Use Previous – 正常動作した一番最近の無線設定を使用します。SSID (ネットワーク名)、セキュリティーモード、セキュリティーキー (パスワード) 等の以前に使用した無線設定の概要が表示されます。



以前の設定の確認後に、プレーヤーは接続のテストを実行しその結果を表示します。

Start New - 無線接続の構成を新規作成します。BDP-103Dは次の3種類の無線設定方法に対応しています:



◆ Scan - 利用可能な無線ネットワークをスキャンします。利用可能な無線ネットワークを自動的に スキャンして検索結果をウィンドウ表示します。上下矢印ボタンでネットワークをハイライト表示 し、ENTERボタンで選択します。ネットワークが保護されている場合には、リモコンを使用してセ キュリティーキーを入力する必要があります。このあと、プレーヤーは接続テストを実行してその 結果を表示します。

- ♦ Manual 無線ネットワークの情報を手操作で入力します。リモコンを使ってSSIDを入力し、セキュリティーモードを選択してセキュリティーキーを入力します。 このあと、プレーヤーは接続テストを実行してその結果を表示します。
- ◆ **WPS** Wi-Fi Protectedの設定を始めます。BDP-103DはWPSの標準に対応し家庭内ネットワークの安全かつ簡便な構築を行うことができます。次の設定オプションが選択できます:



- ✓ **PIN** Personal Identification Number (PIN) を使用してWPSを構成します。BDP-103DがPINコードを生成しますので、お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントのソフトウェア制御パネルで入力します。オンスクリーンの指示に従ってください。
- ✓ **PBC** プッシュボタン制御でWPSを構築します。無線ルーターまたはアクセスポイントの PBCボタンを押して、無線接続を開始します。オンスクリーンの指示に従ってください。

注

SSIDは、Service Set Identifierの頭文字で、無線ルーターやアクセスポイントの識別子を表し、**network name**とも呼ばれます。

WPSは、Wi-Fi Protected Setup (WPS) の頭文字で、家庭内無線ネットワーク構成のための安全かつ簡便な最新標準で、**Wi-Fi Simple Config**とも呼ばれます。WPSを使用するには、WPSに対応したルーターかアクセスポイントが 必要です。

- 8. IP Setting: プレーヤーのIPアドレス取得方法を決定します。
 - **Auto (DHCP)** プレーヤーは、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用してIPアドレス 情報を自動的に取得します。出荷時の設定ですが、ほとんどの場合にこの自動IP設定をお薦めします。
 - Manual IPアドレスの数字を直接入力します。ルーターがDHCPサーバー機能を持っていない場合や、機能が無効に設定されている場合にのみ、手動でIP構成をするようにしてください。インターネット接続の手動構成方法や設定値に関する詳細は、お使いのブロードバンドルーター/モデムのマニュアルを参照するか、インターネットのプロバイダーに連絡してください。
 - **Internet Connection** Internet Connectionの設定状態により、「Wireless」または「Ethernet」が表示されます。
 - **IP Address**: プレーヤーのInternet Protocolアドレスを指定します。IP SettingがAuto DHCP)に設定されると、DHCPから取得される値が表示されて変更することができなくなります。
 - Subnet Mask: IPアドレスのそれぞれにはサブネットマスクが対応し、ネットワークトラフィック通信をルーター経由で行うか、同じネット上の別の機器プレーヤーに直接アクセスするかを決定するために使われます。IP SettingがAuto (DHCP)に設定されている場合には、DHCPから取得される値が表示されて変更することができなくなります。
 - **Gateway**: ルーターのIPアドレスで、「デフォルトゲートウェイ」または「デフォルトルーター」と も呼ばれます。 IP SettingがAuto DHCP)に設定されている場合には、DHCPから取得される値が表 示されて変更することができなくなります。
 - **DNS 1**: プライマリーDNS (Domain Name System) サーバーのIPアドレスを指定します。DNSは (www.oppodigital.comのような) 人間が認識可能なアドレスを数字のIPアドレスに変換するための

仕組みで、 IP SettingがAuto DHCP)に設定されている場合には、DHCPから取得される値が表示されて変更することができなくなります。

- **DNS 2**: セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスで、 IP SettingがAuto DHCP)に設定されている場合には、DHCPから取得される値が表示されて変更することができなくなります。
- 9. **Proxy Setting**: プロキシサーバーの設定を行います。プロキシサーバーは、クライアント、サーバー間ネットワーク通信の中継を行い、セキュリティー、匿名性、地域制約の回避等のメリットを提供することができます。
 - On インターネットにプロキシサーバー経由でアクセスします。
 - Proxy Host: リモコンを使用してプロキシのホスト名を入力します。
 - Proxy Port: リモコンを使用してプロキシホストの名を入力します。
 - Off (デフォルト) プロキシサーバーを使用しません。

すでに動作中のプロキシのホストがあり、プロキシサーバー経由でないとインターネットにアクセスできない場合を除き、Proxy Settingは**Off**のままで使用することをお薦めします。

10. **Connection Test**: インターネット接続をテストします。初めてプレーヤーをインターネットに繋いだり、Connection Method、 Wireless Setting、IP Settingやその他のネットワークパラメーターを変更したりした場合に、このテストを実行することをお薦めします。

参考情報

ご注意

- プレーヤーの寿命を延ばすために、電源切断後30秒以上待ってから電源を再投入するようにしてください。
- 操作が終了したらディスクを取り出して電源を切ります。
- プレーヤー機能の一部が使用できないディスクもあります。
- プレーヤーは一部ディスクのすべての機能に対応していない場合がありますが、これは故障ではありません。
- プレーヤーが故障した場合には、いったん電源を切って30秒間待ってから再度電源を入れてください。問題が解決しない場合には、以下の問題解決のための手順を試してみるか、または、お買い求めの販売店までご連絡ください。

困ったときには

操作に関する一般的な問題の解決にはこの表を参考にしてください。問題が解決しない場合には、お買い求めの 販売店までご連絡ください。

症状	考えられる原因	解決法	参照ページ
音が出ない	オーディオケーブルがきちんと接続されて いない	オーディオケーブルをチェックして、必要なら接続し直す。	11-17
	ミュート状態になっている	MUTE ボタンを押してミュートをキャンセルする。	28
	音量が低すぎる	VOL +ボタンで音量を 100 まで上げてみる。	27
	SACD再生でオーディオ接続に同軸/光デジタルオーディオが使われている	SACD の著作権制約により非サポート。アナログや HDMI オーディオ出力を使用する。代わりに SACD Priority を CD モードに設定して、プレーヤーが CD レイヤーを再生するようにする。	17、51
	DVD オーディオ再生でオーディオ接続に 同軸/光デジタルオーディオが使われてい る	DVD の著作権制約により非サポート。アナログや HDMI オーディオ出力を使用する。 代わりに DVD ビデオ再生モードに切り替える。	17、51
映像が出力されない	ビデオケーブルがきちんと接続されていな い	ビデオケーブルをチェックして、必要なら接続し直す。	11-15
	テレビ入力がきちんと選択されていない	プレーヤーが接続されている入力を選択する。	
	「ピュアオーディオ」モードになっている	PURE ボタンを押してこのモードを解除する。	38
	ビデオ出力フォーマットにテレビが対応し ていない	テレビが対応している出力解像をと選択する。	31
	テレビがビデオシステムに対応していない	再生が完全に終了したら、Setup Menu で正しい TV System に設定する。	54
色が表示されない	テレビがビデオシステムに対応していない	再生が完全に終了したら、Setup Menu で正しい TV System に設定する。	54
	彩度設定が低すぎる	テレビとプレーヤーの彩度設定を確認する。	58
	ビデオ出力ポートが間違っている	「DIAG.」出力使用時には、ケーブルがコンポーネントビデオジャックに 間違って接続されていないか確認する。	13

色が正しくない	間違った色空間設定	ビデオ出力に HDMI を使用している場合、テレビとプレーヤの色空間設定を確認する。	61
映像が流れたり 割れたりする	テレビがビデオシステムに 対応していない	再生が完全に終了したら、Setup Menu で正しい TV System に設定する。	54
	ディスクがセットされていないか、 非対応のディスクがセットされている	ディスクを取り出して確認する。	24
「No Disc」や 「Unknown	ディスクの記録面が汚れている	ディスクを取り出して、汚れや指紋を拭き取る。	4
Disc」エラーが表 示される	ディスクがきちんとセットされていない	ディスクを取り出して、ラベル側が上向き、 記録面が下向きでセットされていることを確認する。	24
	レーザーのピックアップヘッドが結露している	プレーヤーの電源を入れてディスクを取り出し、 1時間ほど放置する。	2
リモコンが故障 している	リモコンをプレーヤーの受光範囲外で使用して いる	リモコンを受光範囲内で使用する。	9
	電池の残量が少なくなっている	電池を交換する。	9
	リモコンコードが正しくない	ディスクトレイを開けてリモコンをプレーヤに向け、リモコンの ENTER ボタンを 5 秒間押し続けてリモートコードを設定する。	10
一時的な機能障害	傷や破損のあるディスクを使っている	ディスクを交換する。	24
	再生中に使えない機能がある	再生を完全に停止して再度試してみる。	24
	他の機器との干渉	他の機器の電源を切って干渉源を特定し、原因となっている機器の 場所を移動したり交換したりする。	2
Setup Menu の一 部の項目が灰色 表示される	ディスク再生中に変更不可の Setup オプション や、他の Setup オプションと相互排他のものが ある	再生を完全に停止してディスクを取り出し、Setup Menu オプションを再度変更してみる。	49
「Connection Test」に失敗する	インターネットに接続していない。	ルーターがインターネットに接続していることを確認する。モデム とルーターの電源を一旦落として再起動してみる。可能なら直接イ ーサネット接続してみる。	19, 20, 79
「Network」にサ ーバーが表示さ れない	ネットワーク接続されていない。メディアサー バーが適切に構成されていない。間違ったネットワークに接続している	他のネットワーク機能 (YouTube、Netflix 等) が動作しているか確認する。問題が「Network」機能で特定できたら、メディアサーバーの説明書を参照して適切な構成に訂正する。	19、41
インターネット の ストリーミング に失敗する	無線信号が弱い、ネットワーク設定に問題がある	(Setup Menu > Network Setup > Connection Information) でプレーヤーとルーターが通信していることを確認する。DNS サーバーの情報を (Google Public DNS / OpenDNS) に変更してみる。無線接続の場合は接続強度が 50%以上か確認する。低い場合にはイーサネットで接続するか USB 延長ケーブルを使用して Wi-Fi アダプターをルーターの近くに移動してみる。	19、42

仕様

設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

BD ビデオ、ブルーレイ 3D、DVD ビデオ、DVD オーディオ、AVCHD、SACD、CD、HDCD、Kodak ピクチャーCD、CD-R/RW、DVD±R/RW、DVD±R DL、BD-R/RE	
BD-ROM Version 2.5 Profile 5 (Profile 1 Version 1.0 および 1.1 と互換)	
1GB (実際に利用可能な常用ストレージのスペースはシステムの使用状況により変化します)	
Analog オーディオ: 7.1ch、5.1ch、ステレオ。 同軸/光オーディオ: 2ch/192kHz までの PCM、Dolby Digital、DTS. HDMI オーディオ: 7.1ch/192kHz までの PCM、5.1ch までの DSD、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、 DTS、DTS-HD High Resolution および DTS-HD Master Audio。 HDMI ビデオ: 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p/1080p24/4Kx2K、3D フレームパッキング 720p/1080p24。	
HDMI オーディオ: 5.1ch/192kHz までか 7.1ch/96kHz の PCM、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、DTS and AAC。 HDMI ビデオ: 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p/1080p24/1080p25/1080p30、3D フレームパッキング 720p/1080p24。 MHL オーディオ: 5.1ch/192kHz までの PCM、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、DTS。 MHL ビデオ: 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p24/1080p25/1080p30、3D フレームパッキング 720p/1080p24。	
周波数: 20Hz – 20kHz (±0.05dB)、20Hz – 96kHz (-4.5dB ~ +0.05dB) SN 比: >115dB (A ウェイト) THD+N: < 0.006% (1kHz at 0dBFS, 20kHz LPF)	
電源: ~100V – 240V, 50/60Hz AC 消費電力: 35W (スタンバイ時: 0.5W Energy Efficient モード) 寸法: 16.8 x 12.2 x 3.1 インチ (430mm x 311mm x 79mm) 重量: 10.8 lbs (4.9kg)	
41° F-95° F 5° C– 35° C	
15% - 75% 結露なきこと	

^{*} ユーザーがエンコードしたコンテンツやユーザーが作成したディスクとの互換性は、使用されるメディア、ソフトウェア、技術の多様性のため、ベストエフォートでの対応となり保証はされません。

^{**}公称仕様

言語コード一覧

コード	言語名
6565	Afar
6566	Abkhazian
6570	Afrikaans
6577	Amharic
6582	Arabic
6583	Assamese
6588	Aymara
6590	Azerbaijani
6665	Bashkir
6669	Byelorussian
6671	Bulgarian
6672	Bihari
6678	Bengali, Bangla
6679	Tibetan
6682	Breton
6765	Catalan
6779	Corsican
6783	Czech
6789	Welsh
6865	Danish
6869	German
6890	Bhutani
6976	Greek
6978	English
6979	Esperanto
6983	Spanish
6984	Estonian
6985	Basque
7065	Persian
7073 7074	Finnish Fi jian
7074	Faroese
7079	French
7082	Frisian
7165	Irish
7168	Scots Gaelic
7176	Galician
7178	Guarani
7176	Gujarati
7265	Hausa
7273	Hindi
7282	Croatian
1202	Oroditari

コード	言語名
7285	Hungarian
7289	Armenian
7365	Interlingua
7378	Indonesian
7383	Icelandic
7384	Italian
7387	Hebrew
7465	Japanese
7473	Yiddish
7487	Javanese
7565	Georgian
7575	Kazakh
7576	Greenlandic
7577	Cambodian
7578	Kannada
7579	Korean
7583	Kashmiri
7585	Kurdish
7589	Kirghiz
7665	Latin
7678	Lingala
7679	Laothian
7684	Lithuanian
7686	Latvian,Lettish
7771	Malagasy
7773	Maori
7775	Macedonian
7776	Malayalam
7778	Mongolian
7779	Moldavian
7782	Marathi
7783	Malay
7784	Maltese
7789	Burmese
7865	Nauru
7869	Nepali
7876	Dutch
7879	Norwegian
7982	Oriya
8065	Panjabi
8076	Polish
8083	Pashto, Pushto

3		
8185 Quechua 8277 Rhaeto-Romance 8279 Romanian 8285 Russian 8365 Sanskrit 8368 Sindhi 8372 Serbo-Croatian 8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese	コード	言語名
8277 Rhaeto-Romance 8279 Romanian 8285 Russian 8365 Sanskrit 8368 Sindhi 8372 Serbo-Croatian 8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8474 Tagalog 8479 Tonga 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk <	8084	Portuguese
8279 Romanian 8285 Russian 8365 Sanskrit 8368 Sindhi 8372 Serbo-Croatian 8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8474 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk		
8285 Russian 8365 Sanskrit 8368 Sindhi 8372 Serbo-Croatian 8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese	8277	Rhaeto-Romance
8365 Sanskrit 8368 Sindhi 8372 Serbo-Croatian 8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof <		Romanian
8368 Sindhi 8372 Serbo-Croatian 8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa	8285	Russian
8372 Serbo-Croatian 8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba		
8373 Singhalese 8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese	8368	
8375 Slovak 8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8376 Slovenian 8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8377 Samoan 8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8378 Shona 8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8474 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8379 Somali 8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8381 Albanian 8382 Serbian 8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		ooa
8382 Serbian 8385 Sundanese 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8385 Sundanese 8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8386 Swedish 8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese	000-	
8387 Swahili 8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8465 Tamil 8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8469 Telugu 8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		2 2
8471 Tajik 8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8472 Thai 8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8473 Tigrinya 8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8475 Turkmen 8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8476 Tagalog 8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8479 Tonga 8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8482 Turkish 8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8484 Tatar 8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8487 Twi 8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8575 Ukrainian 8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8582 Urdu 8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8590 Uzbek 8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8673 Vietnamese 8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		0.44
8679 Volapuk 8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8779 Wolof 8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		
8872 Xhosa 8979 Yoruba 9072 Chinese		_
8979 Yoruba 9072 Chinese		
9072 Chinese		
9085 Zulu		
	9085	Zuiu

Gracenote Terms of Use

This application or device contains software from Gracenote, Inc. of Emeryville, California ("Gracenote"). The software from Gracenote (the "Gracenote Software") enables this application to do disc or file identification and obtain music-related information, including name, artist, track, and title information ("Gracenote Data") from online servers or embedded databases (collectively, "Gracenote Servers") and to perform other functions. You may use Gracenote Data only by means of the intended End-User functions of this application or device.

This application or device may contain content belonging to Gracenote's providers. If so, all of the restrictions set forth herein with respect to Gracenote Data shall also apply to such content and such content providers shall be entitled to all of the benefits and protections set forth herein that are available to Gracenote.

You agree that you will use Gracenote Data, the Gracenote Software, and Gracenote Servers for your own personal non-commercial use only. You agree not to assign, copy, transfer or transmit the Gracenote Software or any Gracenote Data to any third party. YOU AGREE NOT TO USE OR EXPLOIT GRACENOTE DATA, THE GRACENOTE SOFTWARE, OR GRACENOTE SERVERS, EXCEPT AS EXPRESSLY PERMITTED HEREIN.

You agree that your non-exclusive license to use the Gracenote Data, the Gracenote Software, and Gracenote Servers will terminate if you violate these restrictions. If your license terminates, you agree to cease any and all use of the Gracenote Data, the Gracenote Software, and Gracenote Servers. Gracenote reserves all rights in Gracenote Data, the Gracenote Software, and the Gracenote Servers, including all ownership rights. Under no circumstances will Gracenote become liable for any payment to you for any information that you provide. You agree that Gracenote may enforce its rights under this Agreement against you directly in its own name.

The Gracenote service uses a unique identifier to track queries for statistical purposes. The purpose of a randomly assigned numeric identifier is to allow the Gracenote service to count queries without knowing anything about who you are. For more information, see the web page for the Gracenote Privacy Policy for the Gracenote service.

The Gracenote Software and each item of Gracenote Data are licensed to you "AS IS." Gracenote makes no representations or warranties, express or implied, regarding the accuracy of any Gracenote Data. Gracenote reserves the right to delete data from the Gracenote Servers or to change data categories for any cause that Gracenote deems sufficient. No warranty is made that the Gracenote Software or Gracenote Servers are error-free or that functioning of Gracenote Software or Gracenote Servers will be uninterrupted. Gracenote is not obligated to provide you with new enhanced or additional data types or categories that Gracenote may provide in the future and is free to discontinue its services at any time.

GRACENOTE DISCLAIMS ALL WARRANTIES EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT. GRACENOTE DOES NOT WARRANT THE RESULTS THAT WILL BE OBTAINED BY YOUR USE OF THE GRACENOTE SOFTWARE OR ANY GRACENOTE SERVER. IN NO CASE WILL GRACENOTE BE LIABLE FOR ANY CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES OR FOR ANY LOST PROFITS OR LOST REVENUES.

©2012. Gracenote, Inc. All Reserved

DARBEEVISION, INC. LICENSE AGREEMENT

NOTICE -- READ THIS BEFORE USING THE DEVICE USING THE DEVICE ACCOMPANYING THIS LICENSE INDICATES YOUR ACCEPTANCE OF THESE TERMS AND CONDITIONS. READ ALL OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS LICENSE AGREEMENT PRIOR TO INSTALLING OR USING THE DEVICE. IF YOU DO NOT ACCEPT THESE TERMS, YOU MUST RETURN THE DEVICE TO THE SELLER AND REFRAIN FROM USING IT.

THE DEVICE THAT YOU PURCHASED INCLUDES PROPRIETARY FIRMWARE (HEREINAFTER, THE "PROGRAM") INCORPORATED INTO INTEGRATED CIRCUITS. YOU MAY NOT COPY, MODIFY, REVERSE ENGINEER, CLONE OR TRANSFER THE PROGRAM OR THE PRODUCT'S DOCUMENTATION EXCEPT AS EXPRESSLY PROVIDED IN THIS AGREEMENT.

- 1. <u>License</u>: This Program and the accompanying Documentation are licensed, not sold, to you by Darbeevision, Inc. ("Licensor"). The term "Program" shall also include any updates of the Program licensed to you by Licensor. Subject to the terms of this agreement, you have a non-exclusive and nontransferable right to use the Program and Documentation for (e.g., not for resale or rental or the like), educational, evaluation or personal purposes only. You may use the Program only as incorporated into the integrated circuit that is part of the particular unit of the device that contains it. You agree to use your best efforts to prevent and protect the contents of the Program and Documentation from unauthorized disclosure or use. Licensor and its licensors reserve all rights not expressly granted to you. Licensor's licensees are the intended third party beneficiaries of this agreement and have the express right to rely upon and directly enforce the terms set forth here in.
- 2. Limitation on Use: You may not rent, lease, sell or otherwise transfer or distribute copies of the Program or Documentation to others. You may not modify or translate the Program or the Documentation without the prior written consent of Licensor. You may not reverse assemble. reverse compile or otherwise attempt to create the source code from the Program. You may not use Licensor's name or other trademarks or refer to Licensor or Licensor's products directly or indirectly in any papers, articles, advertisements, sales presentations, news releases or releases to any third party without the prior written approval of Licensor for each such use. You may not release the results of any performance or functional evaluation of any Program to any third party without prior written approval of Licensor for each such release. This product provides the ability to turn off DARBEE Visual Presence (DVP™) processing, because the DVP technology processing feature in this product is not intended for commercial broadcast or theatrical presentation applications. By using this product, you accept that the DVP technology ingredient is intended for personal or small network use and should be switched off if this video processor system is used to process video for commercial broadcast or commercial theatrical viewing applications. An additional commercial license is available from DarbeeVision, Inc. for larger video network, distribution, commercial applications.
- 3. **Copyright**: The Program and related Documentation are copyrighted by Licensor. You may not opy the Program (or this license). You may make one copy of the Documentation and print one copy of any on-line documentation or other materials provided to you in electronic form. Any and all other opies of the Program and any copy of the Documentation made by you are in violation of this license.

- 4. <u>Ownership</u>: You agree that the Program and Documentation belong to Licensor. You agree that you neither own nor hereby acquire any claim or right of ownership to the Program and Documentation or to any related patents, copyrights, trademarks or other intellectual property. Licensor retains all right, title and interest in and to the Documentation and all copies and the Program at all times, regardless of the form or media in or on which the original or other copies may subsequently exist. This license is not a sale of the original or any subsequent copy.
- 5. **Term and Termination**: This license is effective until terminated.
- 6. **DISCLAIMER OF WARRANTY**: LICENSOR PROVIDES THE PROGRAM, THE PROPRIETARY IC AND THE DOCUMENTATION "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND EITHER EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. All risk of quality and performance of the Program, the device into which it is incorporated and the Documentation is with the Licensee. Should any of the foregoing prove defective, you and not Licensor assume the entire cost of any service and repair. This disclaimer of warranty constitutes an essential part of this agreement.
- 7. <u>LIMITATION OF REMEDIES</u>: IN NO EVENT WILL BE LIABLE FOR ANY INDIRECT DAMAGES OR OTHER RELIEF ARISING OUT OF YOUR USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM, THE DEVICE INTO WHICH IT IS INCORPORATED OR THE DOCUMENTATION, INCLUDING, BY WAY OF ILLUSTRATION AND NOT LIMITATION, LOST PROFITS, LOST BUSINESS OR LOST OPPORTUNITY, OR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL OR EXEMPLARY DAMAGES, INCLUDING LEGAL FEES, ARISING OUT OF SUCH USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM, EVEN IF LICENSOR OR AN AUTHORIZED LICENSOR DEALER, DISTRIBUTOR OR SUPPLIER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES, OR FOR ANY CLAIM BY ANY OTHER PARTY.
- 8. <u>Applicable Law; Dispute Resolution</u>: This license will be governed by the laws of the State of California, without reference to conflicts of laws principles. The United Nations Convention on Contracts for the Sale of Goods does not apply to this license. All disputes hereunder shall be settled in the state or federal courts located in Orange County, California.
- 9. Export Controls: The Program and the underlying information and technology may not be downloaded or otherwise exported or reexported (i) into (or to a national or resident of) Cuba, North Korea, Iran, Syria, Sudan or any other country to which the U.S. has embargoed goods; or (ii) to anyone on the U.S. Treasury Department's list of Specially Designated Nationals or the U.S. Commerce Department's Table of Deny Orders. By downloading or using the Program, you are agreeing to the foregoing and you represent and warrant that you are not located in, under the control of, or a national or resident of any such country or on any such list.
- 10. <u>U.S. Government End Users</u>: Every sale, license, or other distribution of any Licensee Product to a customer which is a department, division, or agency of the United States Government shall contain the following provision, or a substantially equivalent provision: U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS LEGEND. Use, duplication, or disclosure of this software by the Government is subject to the conditions set forth in FAR 12.212 and DFARS 227.720 and/or in similar or successor clauses in the FAR or Supplements to it. Any and all use, duplication, transfer for any reason is restricted in accordance with the terms and conditions of the Licensor's standard commercial license agreement which is incorporated herein as though fully set forth. All other use, for any reason, is prohibited. Unpublished rights are reserved under the Copyright Laws of the United States.
- 11. No Other Agreements: This Agreement constitutes the entire agreement between the parties with respect to the Program and the Documentation, and supersedes any other written or oral agreement.

#